

令和2年度ひたちなか市市民意識調査業務報告書

市民意識調査報告書

まちづくり達成度に関する調査編

令和2年 12月

ひたちなか市 企画部 企画調整課

目次

I	調査概要	1
II	調査結果概要	2
1.	まちづくり達成度に関する市民意識調査 結果概要	2
(1)	回答者について	2
(2)	住み心地・暮らしの満足度について	2
(3)	地域活動・住民参加について	2
(4)	ひたちなか市への誇りや愛着について	2
(5)	まちづくり達成度について	3
(6)	ひたちなか市の子育て・教育環境等のイメージについて	3
(7)	図書館の充実等について	3
(8)	全体を通して	3
III	調査結果	4
1.	まちづくりに関する市民意識調査 調査結果	4
(1)	回答者について	4
(2)	住み心地・暮らしの満足度について	12
(3)	地域活動・住民参加について	30
(4)	ひたちなか市への誇りや愛着について	33
(5)	まちづくりの達成度について	39
(6)	ひたちなか市の子育て・教育環境等のイメージについて	54
(7)	図書館の充実等について	62
(7)	緑の基本計画策定のためのアンケート（一部抜粋）	66
IV	参考資料	67
1.	まちづくり達成度等に関するアンケート調査票	67

I 調査概要

1. 調査の目的と趣旨

本調査は、ひたちなか市の施策に対する市民の満足度や市への愛着度等まちづくりに関する意識について把握し、ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画に掲げる各施策の効果検証の資料とするためにアンケート調査を実施した。

2. 調査の対象

令和2年9月1日時点で、ひたちなか市に居住する18歳以上の市民 3,000名

3. 調査方法

配布・回収ともに、郵送により実施

4. 調査期間

令和2年10月2日 ～ 令和2年10月19日

5. 回収結果

回収数：1,655票

回収率：55.2%

Ⅱ 調査結果概要

1. まちづくり達成度に関する市民意識調査 結果概要

(1) 回答者について

- 回答者の性別は男性，女子ともに 5 割程度となっている。
- 回答者の年齢は「75 歳以上」が最も多く全体の約 2 割を占めており，「70～74 歳」，「45～49 歳」が共に約 1 割で続いている。
- 回答者の約 6 割が就労しており，業種としては「製造業」が最も多く 2 割程度となっている。
- ひたちなか市出身者は全体の 4 割を占めており，回答者の本市への居住歴では，約 6 割の方が「30 年以上」と回答している。

(2) 住み心地・暮らしの満足度について

- 回答者の約 2 割がひたちなか市の住み心地について，「とても住みやすい」と回答しており，8 割以上の方が「ずっと今の場所に住み続けたい」，または「できるだけ今の場所に住み続けたい」と回答しており前回調査（R1）とほぼ同じ結果となっている。
- 回答者の約 6 割が生きがいを持って暮らしていることを「とても感じる」，「感じる」と回答している。
- 「消防・救急体制について」，「安全安心な水の安定供給について」，「ごみ処理対策やリサイクルの推進について」への市民の満足度が高く，「河川，雨水幹線の整備（冠水被害対策）について」，「防災対策（防災欲の強化・防災基盤の整備）について」，「道路について」に対して優先して充実すべきとの意見が多く，前回調査（R1）と比べ，「河川，雨水幹線の整備（冠水被害対策）について」に対しての満足度の低下及び充実を希望する意見が増えている。

(3) 地域活動・住民参加について

- 社会活動への参加について，「積極的に参加している」と回答したのは約 1 割程度となっており，前回調査より減少している。
- 地域の市民が主体となって活動が行われていると感じる分野について，約 5 割の回答者が「ごみの減量・リサイクル活動」と回答しており，「交通安全活動」が約 3 割，「防犯活動」が約 3 割で続いている。
- まちづくり市民会議について，約 6 割の回答者が「知らない」と回答している。

(4) ひたちなか市への誇りや愛着について

- ひたちなか市への誇りや愛着について，「とても感じる」，「感じる」と回答した人は全体の約 6 割程度となっており，前回に比べ減少しており，特に 60 歳未満の若年層で減少がみられる。
- 市への愛着を感じている人ほど，ひたちなか市のことを周囲にすすめる傾向が見られ，前回に比べ，市への愛着を持っている人はより強くひたちなか市をお勧めする傾向がある。

(5) まちづくり達成度について

- ひたちなか市は、ライフステージ（年齢に伴い変化する生活）に応じた働く場の選択肢や働き方の多様性が充実していると「とても感じる」、「感じる」との回答は全体の1割程度にとどまっている。
- ひたちなか市は、鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすいまちだと「とても感じる」、「感じる」との回答は全体の約2割となっている。
- ひたちなか市は、障害のある人に対する差別や偏見がない「共生社会」が実現されていると「とても感じる」、「感じる」との回答は全体の約1割となっている。

(6) ひたちなか市の子育て・教育環境等のイメージについて

- 回答者の約3割の方がひたちなか市は「子育てしやすいまち」だと感じており、特に高齢者ほどひたちなか市は「子育てしやすく、住みたいまち」とのイメージを持っている。
- 「子育てしやすく、住みたいまち」に必要な要素の1位には「小児科、休日や夜間の診療などの医療体制の充実」を約2割の方が選択されており、「所得制限のない18歳までの給付など子どもの医療費助成の充実」を約1割の方が選択し続けている。
- ひたちなか市は「教育が充実しているまち」だと感じている方は全体の1割程度にとどまっており、イメージする「教育が充実しており、住みたいまち」として約半数の方が「つくば市」を一位と回答している。
- 「教育が充実しており、住みたいまち」に必要な要素の1位には「教育施設の設備の充実（デジタル教材や運動設備の充実）」を約1割の方が選択されており、「地域で子どもを育てる意識が強い（多世代交流、社会教育など）」も約1割の方が選択している。

(7) 図書館の充実等について

- 回答者の約7割が、電子書籍を読んだことがないと回答しており、その内の4割は読んでみたいと回答している。

(8) 全体を通して

- ひたちなか市の住み心地や定住への意向については、前回調査とほぼ同じ結果となっている。
- 本市のまちづくりに関する取組に対する「満足度」と、今後の5年間の取組に対する「充実希望度」については、「河川、雨水幹線の整備」への要望が前回に比べ高まっている。一方で「自治会等の地域コミュニティの推進」は前回同様に充実希望度が最も低い結果となった。
- 市への誇りや愛着については、「とても感じる」、「感じる」の回答割合が前回に比べ減少しており、60歳未満の若い世代で市への愛着の減少がみられた。一方で、市への誇りや愛着をととても感じている人のNPSは大きく上昇しており、前回調査（R1）に比べ、すべての項目でNPSの数値が増加している。
- まちづくり達成度について、「35歳～54歳」の働き盛りの世代において各種数値が悪くなっている傾向がある。

Ⅲ 調査結果

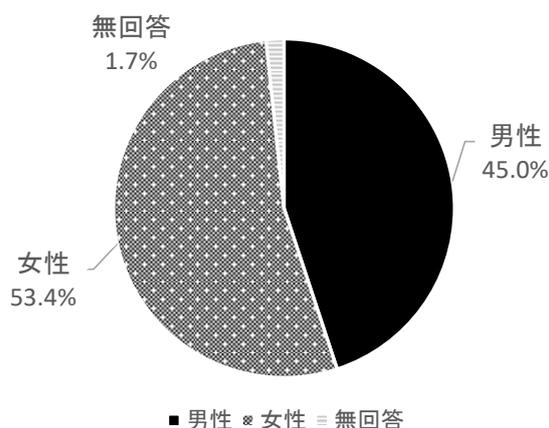
1. まちづくりに関する市民意識調査 調査結果

(1) 回答者について

問1 あなたの性別をお答えください。[1つに〇]

・回答者の性別は「男性」が45.0%、「女性」が53.4%となっている。

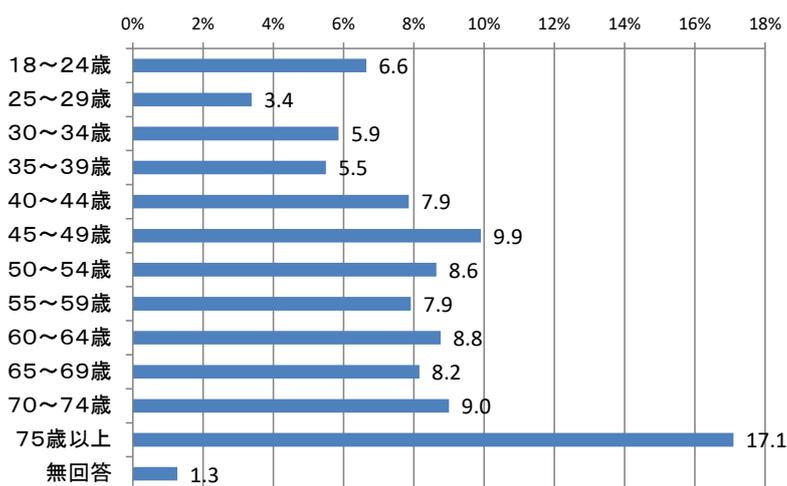
総数	1,655	100.0%
男性	744	45.0%
女性	883	53.4%
無回答	28	1.7%



問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。[1つに〇]

・「75歳以上」が最も多く17.1%、「45～49歳」が9.9%、「70～74歳」が9.0%で続いている。

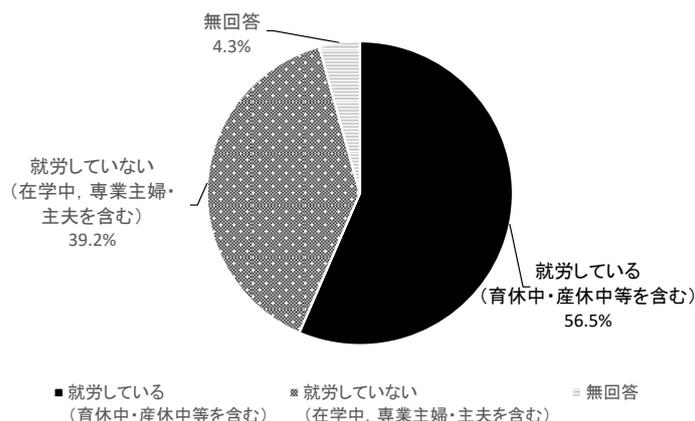
総数	1,655	100.0%
18～24歳	110	6.6%
25～29歳	56	3.4%
30～34歳	97	5.9%
35～39歳	91	5.5%
40～44歳	130	7.9%
45～49歳	164	9.9%
50～54歳	143	8.6%
55～59歳	131	7.9%
60～64歳	145	8.8%
65～69歳	135	8.2%
70～74歳	149	9.0%
75歳以上	283	17.1%
無回答	21	1.3%



問3 あなたは現在、就労していますか。[1つに○]

- ・「就労している（育休中・産休中等を含む）」が56.5%、「就労していない（在学中，専業主婦・主夫を含む）」が39.2%となっている。

総数	1,655	100.0%
就労している(育休中・産休中等を含む)	935	56.5%
就労していない(在学中，専業主婦・主夫を含む)	649	39.2%
無回答	71	4.3%

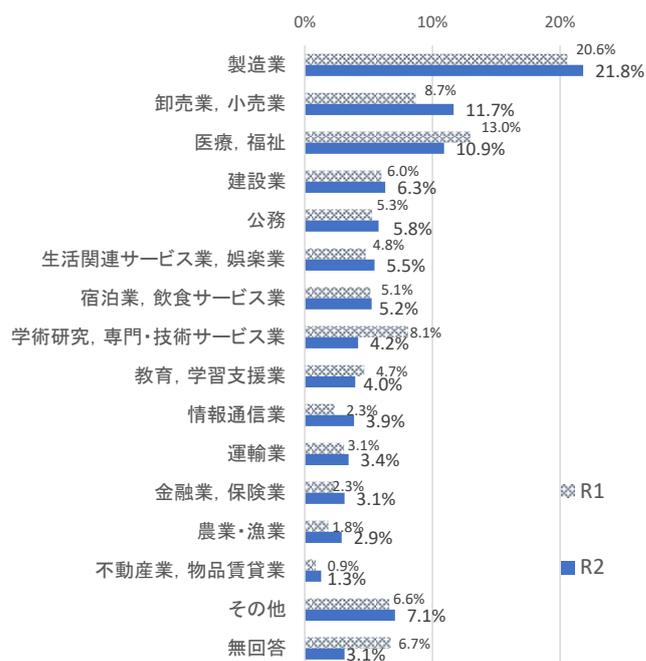


問3で「1. 就労している」と回答した方【総数935】への設問

問3-1 ①あなたのお仕事について、業種をお答えください。[1つに○]

- ・「製造業」が最も多く21.8%、「卸売業，小売業」が11.7%で次点となっている。
- ・「その他」の回答では、「警備業」，「協同組合」等の回答がみられた。

総数	935	100.0%
農業・漁業	27	2.9%
建設業	59	6.3%
製造業	204	21.8%
情報通信業	36	3.9%
運輸業	32	3.4%
卸売業，小売業	109	11.7%
金融業，保険業	29	3.1%
不動産業，物品賃貸業	12	1.3%
学術研究，専門・技術サービス業	39	4.2%
宿泊業，飲食サービス業	49	5.2%
生活関連サービス業，娯楽業	51	5.5%
教育，学習支援業	37	4.0%
医療，福祉	102	10.9%
公務	54	5.8%
その他	66	7.1%
無回答	29	3.1%

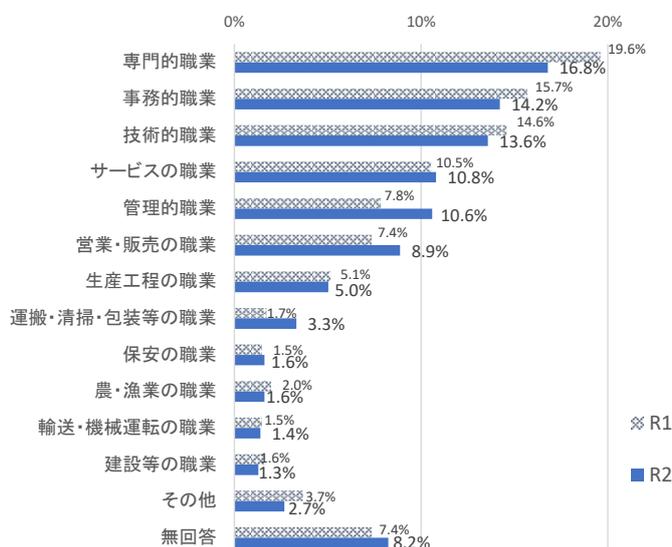


問3で「1. 就労している」と回答した方【総数 935】への設問

問3-1 ②あなたのお仕事について、職種をお答えください。[1つに〇]

- ・「専門的職業」が16.8%で最多、「事務的職業」が14.2%で次点となっている。
- ・「その他」の回答では「支援員」等の回答がみられた。

職種	総数	割合
総数	935	100.0%
管理的職業	99	10.6%
専門的職業	157	16.8%
技術的職業	127	13.6%
事務的職業	133	14.2%
営業・販売の職業	83	8.9%
サービスの職業	101	10.8%
保安の職業	15	1.6%
農・漁業の職業	15	1.6%
生産工程の職業	47	5.0%
輸送・機械運転の職業	13	1.4%
建設等の職業	12	1.3%
運搬・清掃・包装等の職業	31	3.3%
その他	25	2.7%
無回答	77	8.2%

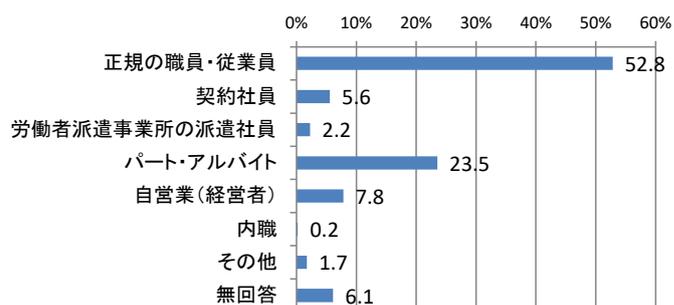


問3で「1. 就労している」と回答した方【総数 935】への設問

問3-1 ③あなたのお仕事について、業種をお答えください。[1つに〇]

- ・「正規の職員・従業員」が52.8%で最多、「パート・アルバイト」が23.5%で次点となっている。
- ・「その他」の回答では「フリーランス」、「会社役員」等の回答がみられた。

業種	総数	割合
総数	935	100.0%
正規の職員・従業員	494	52.8%
契約社員	52	5.6%
労働者派遣事業所の派遣社員	21	2.2%
パート・アルバイト	220	23.5%
自営業(経営者)	73	7.8%
内職	2	0.2%
その他	16	1.7%
無回答	57	6.1%

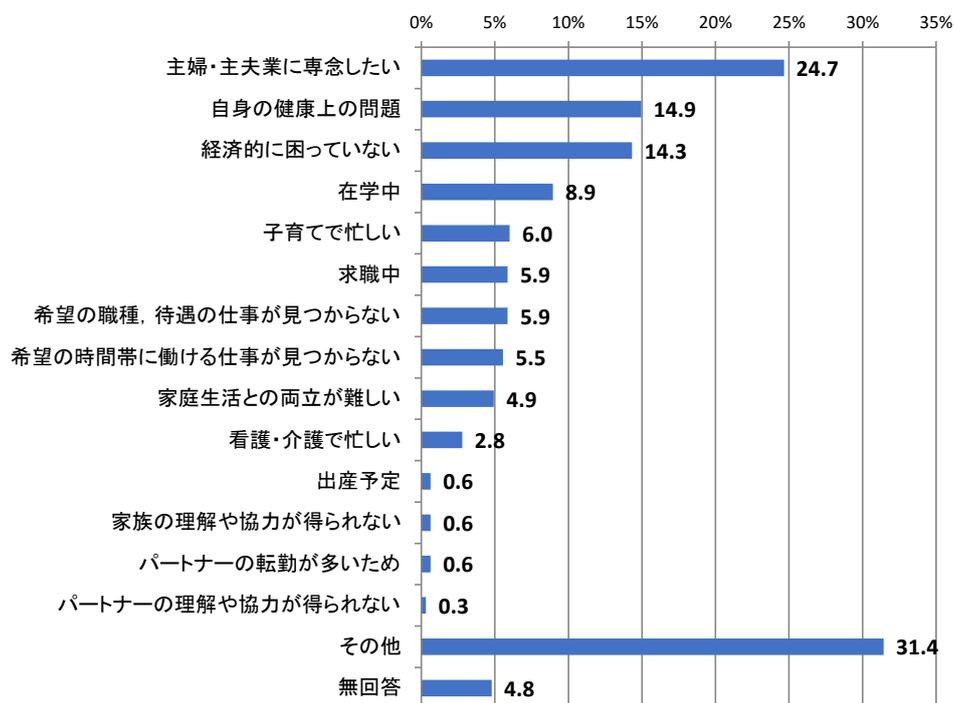


問3で「2. 就労していない」と回答した方【総数 649】への設問

問3-2 あなたが就労していない理由をお答えください。[3つまでに〇]

- ・「その他」が31.4%で最も多く、「主婦・主夫業に専念したい」が24.7%で次点となっている。
- ・「その他」の回答では「高齢のため」、「定年退職後のため」等の回答が多くみられた。

理由	総数	割合
主婦・主夫業に専念したい	160	24.7%
自身の健康上の問題	97	14.9%
経済的に困っていない	93	14.3%
在学中	58	8.9%
子育てで忙しい	39	6.0%
求職中	38	5.9%
希望の職種、待遇の仕事が見つからない	38	5.9%
希望の時間帯に働ける仕事が見つからない	36	5.5%
家庭生活との両立が難しい	32	4.9%
無回答	31	4.8%
看護・介護で忙しい	18	2.8%
出産予定	4	0.6%
家族の理解や協力が得られない	4	0.6%
パートナーの転勤が多いため	4	0.6%
パートナーの理解や協力が得られない	2	0.3%
その他	204	31.4%



※参考：39歳以下の求職者の割合：5.2%（39歳以下の「求職中」/39歳以下の就労者＋求職者数）

39歳以下で「休職中」の回答者数：13人

39歳以下「就労している」の回答者数：236人

【性別、年齢別の就労していない理由（クロス分析）について】

■ 性別の就労していない理由上位5項目について（クロス分析）

項目	男性総数：252人 (回答割合)	女性：392人 (回答割合)
1位	経済的に困っていない(17.9%)	主婦・主夫業に専念したい(36.2%)
2位	自身の健康上の問題(16.3%)	自身の健康上の問題(14.0%)
3位	在学中(11.5%)	経済的に困っていない(12.2%)
4位	希望の職種、待遇の仕事が見つからない (7.9%)	子育てで忙しい(9.9%)
5位	求職中(7.1%)	在学中(7.4%)

※「その他」の回答を除く

- 性別の就労していない理由では、男性では「経済的に困っていない」が17.9%で最も多く、「希望の職種、待遇の仕事が見つからない」が7.9%で4番目に多くなっている。女性では「主婦・主夫業に専念したい」が36.2%で最も多く、「子育てで忙しい」が9.9%となっている。

■ 年齢別の就労していない理由について（クロス分析）

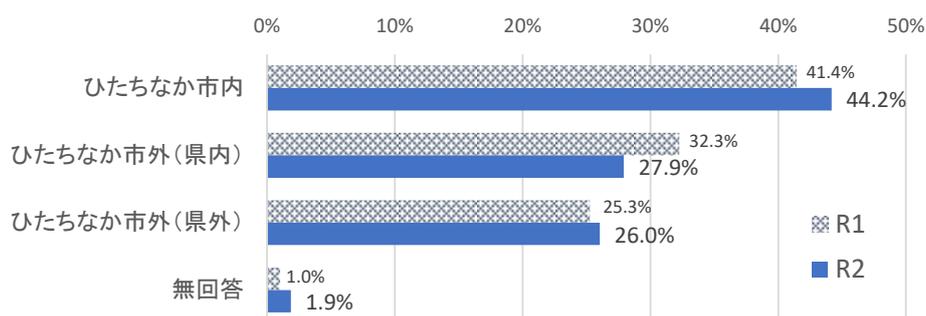
%	在学中	求職中	希望の職種、待遇の仕事が見つからない	希望の時間帯に働ける仕事が見つからない	出産予定	子育てで忙しい	看護・介護で忙しい	自身の健康上の問題	家庭生活との両立が難しい	パートナーの理解や協力が得られない	家族の理解や協力が得られない	パートナーの転勤が多いため	経済的に困っていない	主婦・主夫業に専念したい
総数	8.9%	5.9%	5.9%	5.5%	0.6%	6.0%	2.8%	14.9%	4.9%	0.3%	0.6%	0.6%	14.3%	24.7%
18～24歳	84.6%	3.1%	1.5%	0.0%	1.5%	1.5%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%
25～29歳	11.1%	33.3%	22.2%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
30～34歳	0.0%	27.3%	22.7%	18.2%	9.1%	54.5%	0.0%	13.6%	13.6%	0.0%	0.0%	9.1%	4.5%	18.2%
35～39歳	0.0%	11.1%	11.1%	16.7%	5.6%	50.0%	5.6%	27.8%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	16.7%
40～44歳	0.0%	16.7%	5.6%	16.7%	0.0%	44.4%	0.0%	5.6%	22.2%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	11.1%
45～49歳	0.0%	31.8%	22.7%	27.3%	0.0%	31.8%	9.1%	22.7%	18.2%	0.0%	4.5%	4.5%	9.1%	9.1%
50～54歳	0.0%	14.3%	14.3%	19.0%	0.0%	0.0%	9.5%	14.3%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.8%	42.9%
55～59歳	0.0%	19.2%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	19.2%	15.4%	0.0%	3.8%	0.0%	19.2%	19.2%
60～64歳	0.0%	4.8%	9.5%	9.5%	0.0%	0.0%	9.5%	21.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	42.9%
65～69歳	0.0%	2.7%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	4.0%	26.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	21.3%	49.3%
70～74歳	0.0%	1.9%	2.9%	1.0%	0.0%	0.0%	2.9%	9.7%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	30.1%	35.0%
75歳以上	0.0%	0.4%	2.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	14.6%	1.8%	0.4%	0.4%	0.0%	11.1%	18.6%

- 年齢別の就労していない理由では、30歳～49歳では「子育てで忙しい」が最も多くなっており、全体で回答の多かった「主婦・主夫業に専念したい」や「経済的に困っていない」は50歳以上で多くなっている傾向がある。

問4 あなたのご出身はどちらですか。[1つに〇]

- ・「ひたちなか市内」が最も多く 44.2%、「ひたちなか市外（県内）」が 27.9%、「ひたちなか市外（県外）」が 26.0%となっている。

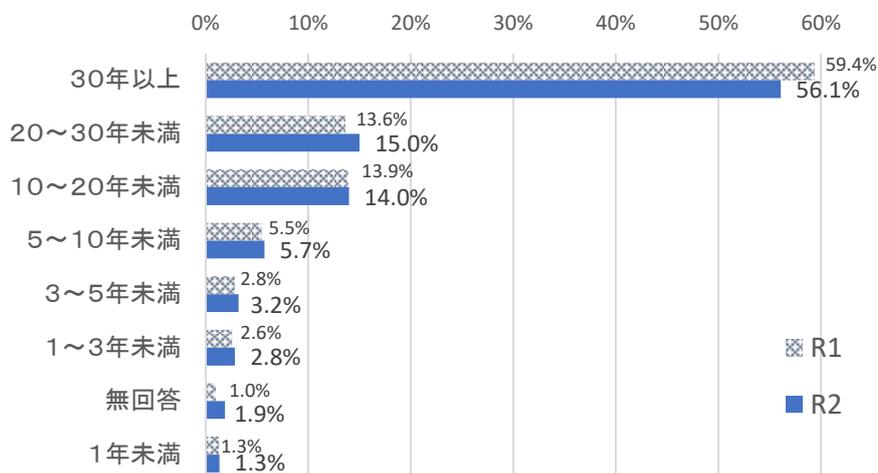
総数	1,655	100.0%
ひたちなか市内	731	44.2%
ひたちなか市外(県内)	462	27.9%
ひたちなか市外(県外)	431	26.0%
無回答	31	1.9%



問5 あなたは、ひたちなか市にお住まいになって何年になりますか。[1つに〇]

- ・回答者の 56.1%がひたちなか市に「30年以上」住んでいると回答している。
- ・「20～30年未満」が 15.0%、「10～20年未満」が 14.0%で続いている。

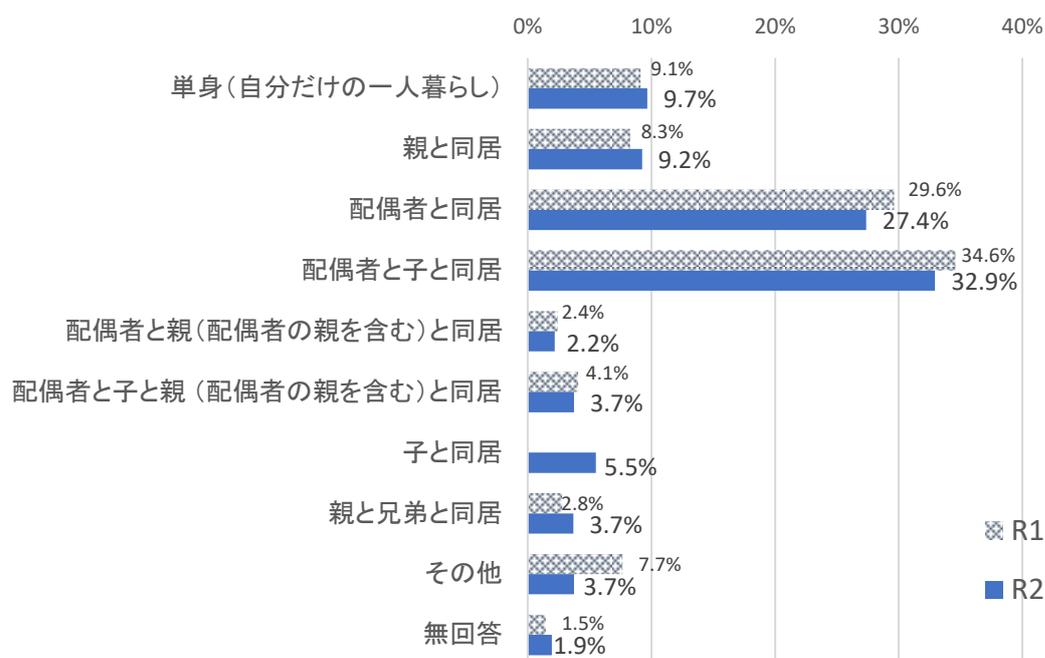
総数	1,655	100.0%
1年未満	22	1.3%
1～3年未満	47	2.8%
3～5年未満	53	3.2%
5～10年未満	95	5.7%
10～20年未満	231	14.0%
20～30年未満	248	15.0%
30年以上	928	56.1%
無回答	31	1.9%



問6 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。[1つに〇]

- 同居家族の構成では、「配偶者と子と同居」が32.9%で最も多く、「配偶者と同居」が27.4%、「单身（自分だけの一人暮らし）」が9.7%が続いている。
- 『その他』の回答では、「婚約者と同居」、「兄弟と同居」等が挙がっていた。

同居家族の構成	人数	割合
総数	1,655	100.0%
单身(自分だけの一人暮らし)	160	9.7%
親と同居	153	9.2%
配偶者と同居	453	27.4%
配偶者と子と同居	545	32.9%
配偶者と親(配偶者の親を含む)と同居	36	2.2%
配偶者と子と親(配偶者の親を含む)と同居	62	3.7%
子と同居	91	5.5%
親と兄弟と同居	61	3.7%
その他	62	3.7%
無回答	32	1.9%

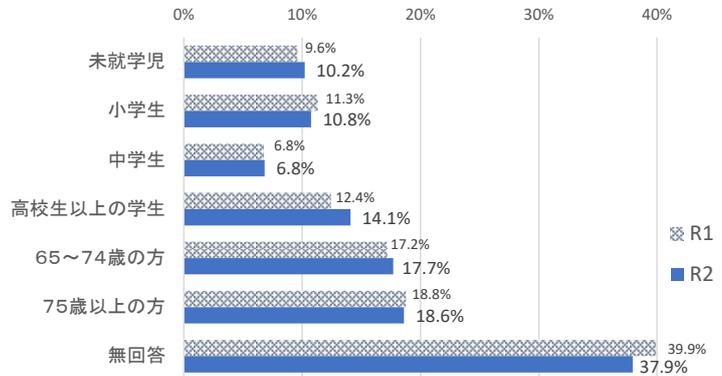


※「子と同居」は前回調査（R1）では選択肢にない

問7 同居家族に次の方はいますか。[該当するものすべてに○をつけてください]

- 全体の18.6%が「75歳以上の方」と同居している。また、「65～74歳の方」も17.7%で続いている。
- 「高校生以上の学生」が14.1%、「小学生」は10.8%、「未就学児」は10.2%となっている。

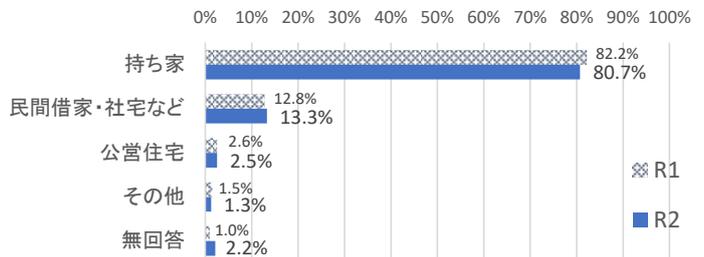
総数	1,655	100.0%
未就学児	169	10.2%
小学生	178	10.8%
中学生	113	6.8%
高校生以上の学生	233	14.1%
65～74歳の方	293	17.7%
75歳以上の方	308	18.6%
無回答	628	37.9%



問8 あなたがお住まいの住宅はどれにあたりますか。[1つに○]

- 「持ち家」が80.7%で最も多く、「民間借家・社宅など」が13.3%で次点となっている。
- 『その他』の回答では、「親の持ち家」等の回答がみられた。

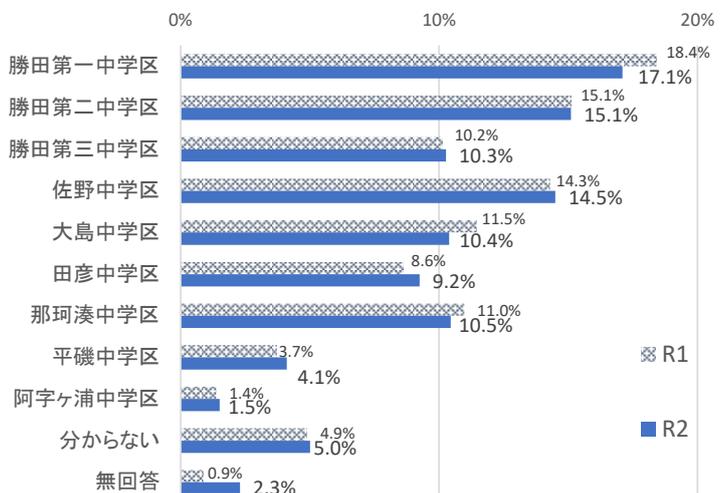
総数	1,655	100.0%
持ち家	1,336	80.7%
民間借家・社宅など	220	13.3%
公営住宅	42	2.5%
その他	21	1.3%
無回答	36	2.2%



問9 あなたのお住まいは中学校区で分類するとどの地区ですか。[1つに○]

- 「勝田第一中学区」が17.1%で最も多く、「勝田第二中学区」が15.1%で続いている。

総数	1,655	100.0%
勝田第一中学区	283	17.1%
勝田第二中学区	250	15.1%
勝田第三中学区	170	10.3%
佐野中学区	240	14.5%
大島中学区	172	10.4%
田彦中学区	153	9.2%
那珂湊中学区	173	10.5%
平磯中学区	68	4.1%
阿字ヶ浦中学区	25	1.5%
分からない	83	5.0%
無回答	38	2.3%

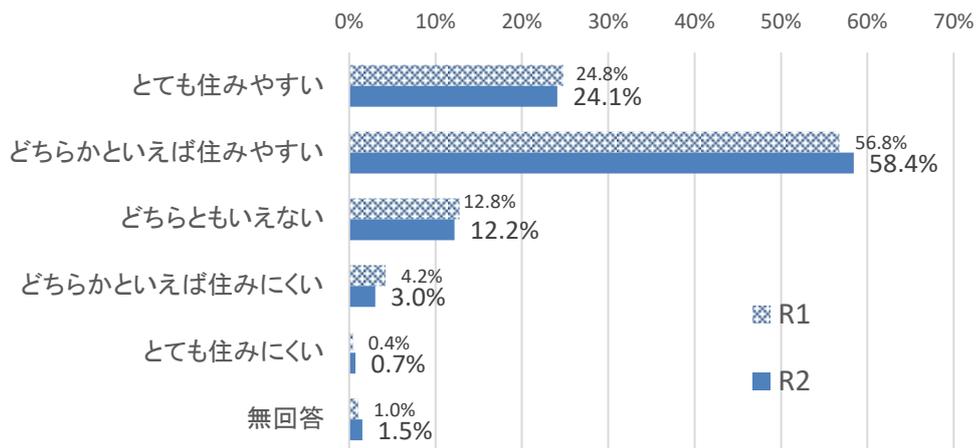


(2) 住み心地・暮らしの満足度について

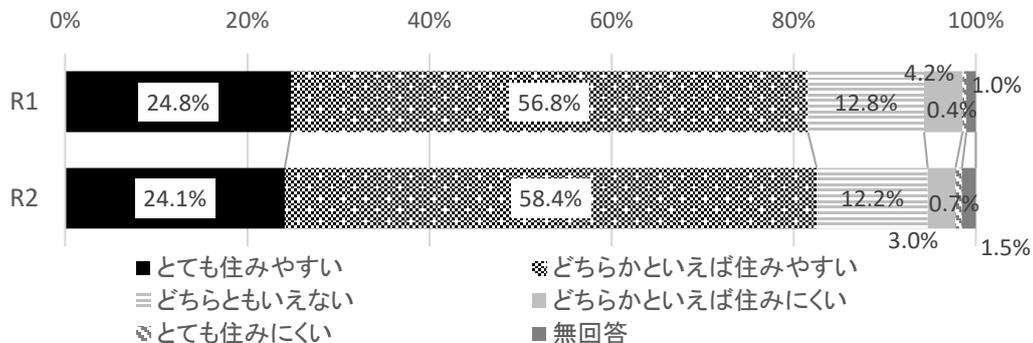
問 10 あなたは、毎日の生活のなかで、ひたちなか市の住み心地をどのように感じていますか。
[1つに〇]

- ひたちなか市の住み心地について、「とても住みやすい」と回答した方は 24.1%となっており、前回調査（R1）の 24.8%に比べ 0.7%減少している。一方で「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と回答した方の合計は 82.5%と 0.9%増加している。
- 「どちらかといえば住みにくい」、「とても住みにくい」と回答した方の合計は 3.7%で前回調査 4.6%と比べ減少している。

総数	1,655	100.0%
とても住みやすい	399	24.1%
どちらかといえば住みやすい	967	58.4%
どちらともいえない	202	12.2%
どちらかといえば住みにくい	50	3.0%
とても住みにくい	12	0.7%
無回答	25	1.5%



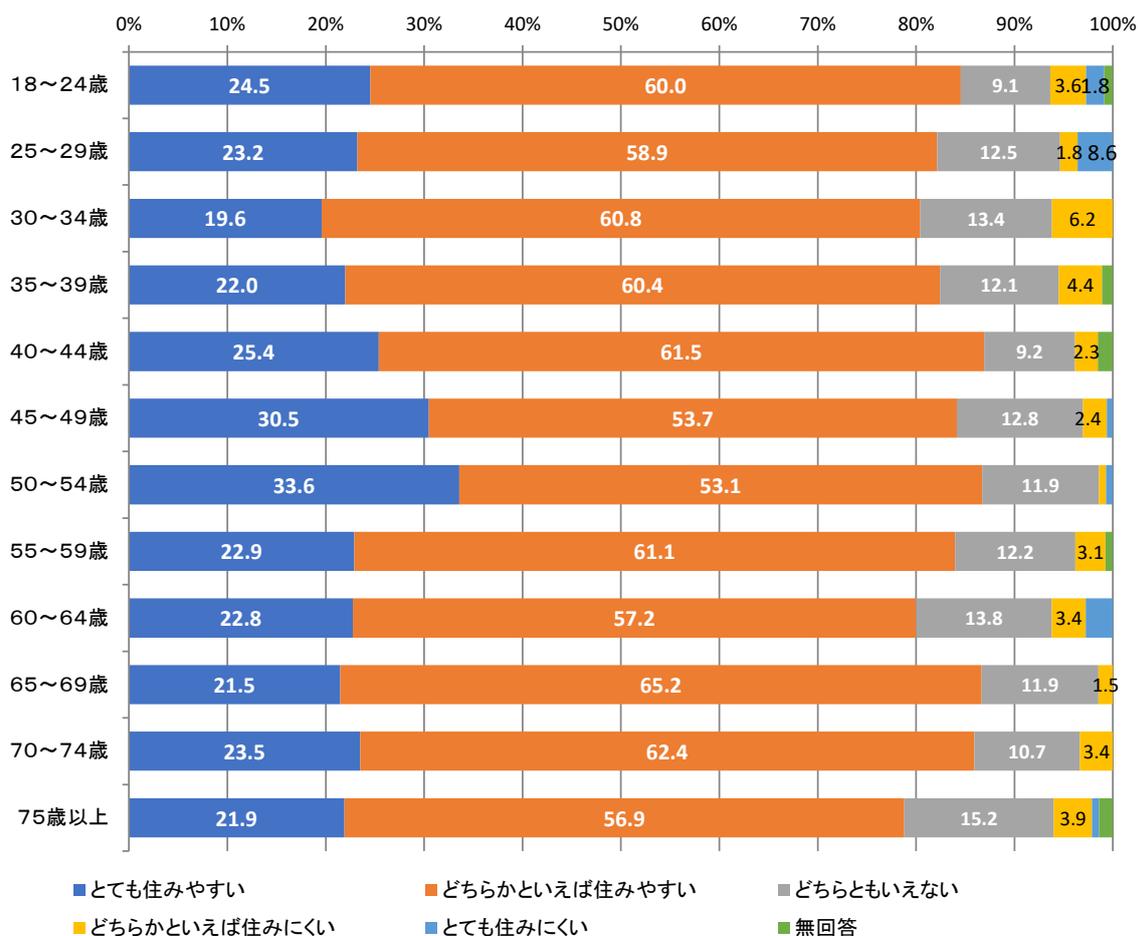
【前回調査（R1）との比較】



【年齢別、居住地域別（学校区）の住み心地（クロス分析）について】

■年齢別の住み心地への回答割合

%	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
総数	24.1%	58.4%	12.2%	3.0%	0.7%	1.5%
18～24歳	24.5%	60.0%	9.1%	3.6%	1.8%	0.9%
25～29歳	23.2%	58.9%	12.5%	1.8%	3.6%	0.0%
30～34歳	19.6%	60.8%	13.4%	6.2%	0.0%	0.0%
35～39歳	22.0%	60.4%	12.1%	4.4%	0.0%	1.1%
40～44歳	25.4%	61.5%	9.2%	2.3%	0.0%	1.5%
45～49歳	30.5%	53.7%	12.8%	2.4%	0.6%	0.0%
50～54歳	33.6%	53.1%	11.9%	0.7%	0.7%	0.0%
55～59歳	22.9%	61.1%	12.2%	3.1%	0.0%	0.8%
60～64歳	22.8%	57.2%	13.8%	3.4%	2.8%	0.0%
65～69歳	21.5%	65.2%	11.9%	1.5%	0.0%	0.0%
70～74歳	23.5%	62.4%	10.7%	3.4%	0.0%	0.0%
75歳以上	21.9%	56.9%	15.2%	3.9%	0.7%	1.4%



※前回調査（R1）との比較

%	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい
総数	-0.7%	1.7%	-0.6%	-1.2%	0.3%
18～24歳	2.1%	1.4%	-8.2%	1.9%	1.8%
25～29歳	-3.3%	5.9%	-1.8%	-4.3%	3.6%
30～34歳	-9.0%	10.0%	-0.9%	-0.2%	0.0%
35～39歳	-3.0%	-0.9%	4.1%	-1.3%	0.0%
40～44歳	-10.2%	11.1%	1.0%	-1.8%	0.0%
45～49歳	6.0%	-7.9%	3.0%	-0.4%	-0.1%
50～54歳	10.2%	-11.8%	3.9%	-3.0%	0.7%
55～59歳	-4.4%	3.8%	4.0%	-4.2%	0.0%
60～64歳	-2.9%	4.1%	-2.1%	-1.0%	1.9%
65～69歳	1.2%	3.5%	-1.7%	-2.3%	-0.8%
70～74歳	0.8%	4.1%	-1.5%	-1.6%	-0.6%
75歳以上	-0.9%	4.4%	-4.2%	0.8%	-0.1%

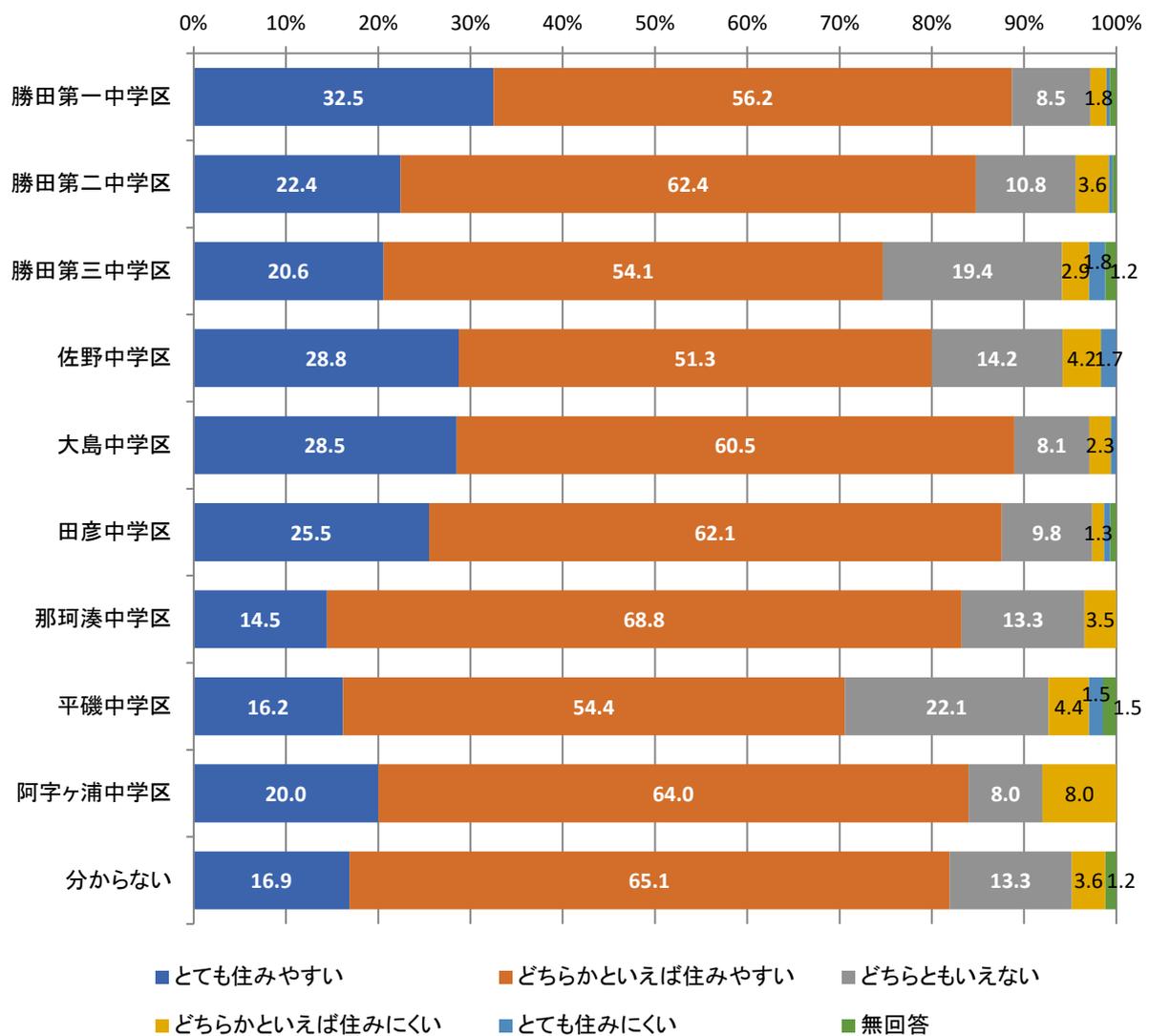
- 10%以上減少*
- 5%以上減少*
- 5%以上増加*
- 10%以上増加*

※住み心地への想いの増減

- 年齢別のひたちなか市の住み心地では、「50～54歳」の年代で「とても住みやすい」と回答した方が最も多く、33.6%となっている。一方で、「どちらかといえば住みにくい」、「とても住みにくい」と回答した方の割合が多いのは「30～34歳」と「60～64歳」が6.2%で最も多くなっている。
- 前回調査（R1）との比較では「40～44歳」の年代で「とても住みやすい」が減少し「どちらかといえば住みやすい」が増加、「50～54歳」の年代で、「どちらかといえば住みやすい」が減少し、「とても住みやすい」が増加している。

■学校区別の住み心地への回答割合

%	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
総数	24.1%	58.4%	12.2%	3.0%	0.7%	1.5%
勝田第一中学区	32.5%	56.2%	8.5%	1.8%	0.4%	0.7%
勝田第二中学区	22.4%	62.4%	10.8%	3.6%	0.4%	0.4%
勝田第三中学区	20.6%	54.1%	19.4%	2.9%	1.8%	1.2%
佐野中学区	28.8%	51.3%	14.2%	4.2%	1.7%	0.0%
大島中学区	28.5%	60.5%	8.1%	2.3%	0.6%	0.0%
田彦中学区	25.5%	62.1%	9.8%	1.3%	0.7%	0.7%
那珂湊中学区	14.5%	68.8%	13.3%	3.5%	0.0%	0.0%
平磯中学区	16.2%	54.4%	22.1%	4.4%	1.5%	1.5%
阿字ヶ浦中学区	20.0%	64.0%	8.0%	8.0%	0.0%	0.0%
分からない	16.9%	65.1%	13.3%	3.6%	0.0%	1.2%

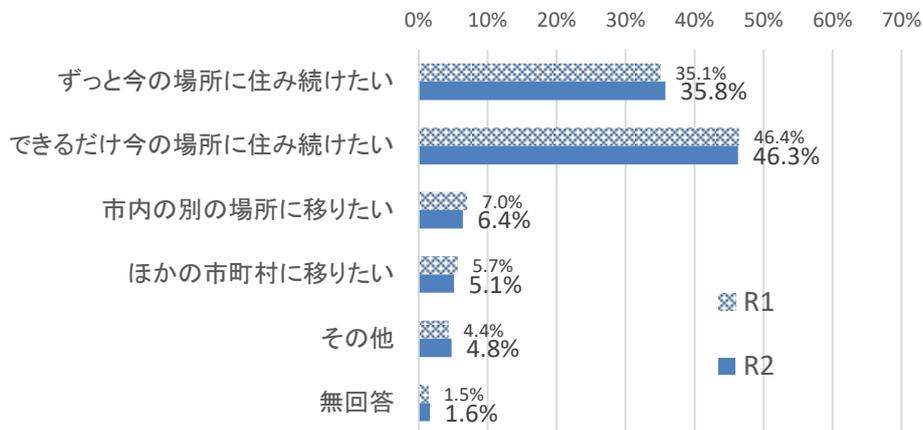


• 学校区別のひたちなか市の住み心地では、「とても住みやすい」との回答割合が最も多かったのは「勝田第一中学区」で32.5%、「佐野中学区」が28.8%で次点となっている。

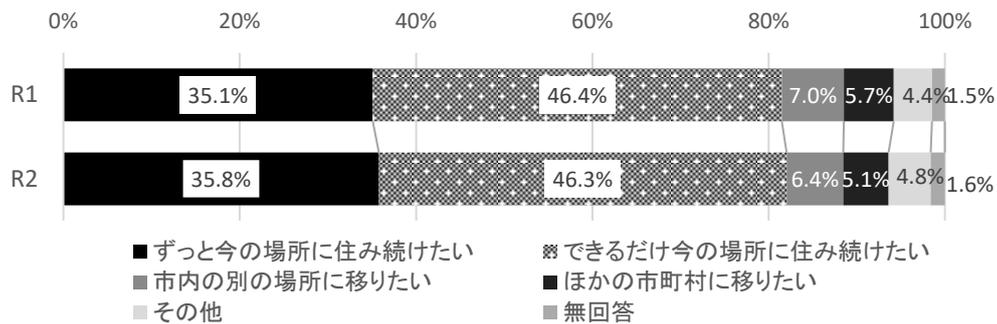
問 11 あなたは、ひたちなか市への定住についてどのように感じていますか。[1つに〇]

- ひたちなか市への定住意向について、「ずっと今の場所に住み続けたい」と回答した方は 35.8% となっており、前回調査（R1）の 35.1% に比べ 0.7% 増加している。
- 「その他」の意見としては、「就職」や「定年退職後」などのタイミングで今後検討していきたいなどの回答がみられた。

総数	1,655	100.0%
ずっと今の場所に住み続けたい	592	35.8%
できるだけ今の場所に住み続けたい	766	46.3%
市内の別の場所に移りたい	106	6.4%
ほかの市町村に移りたい	85	5.1%
その他	79	4.8%
無回答	27	1.6%



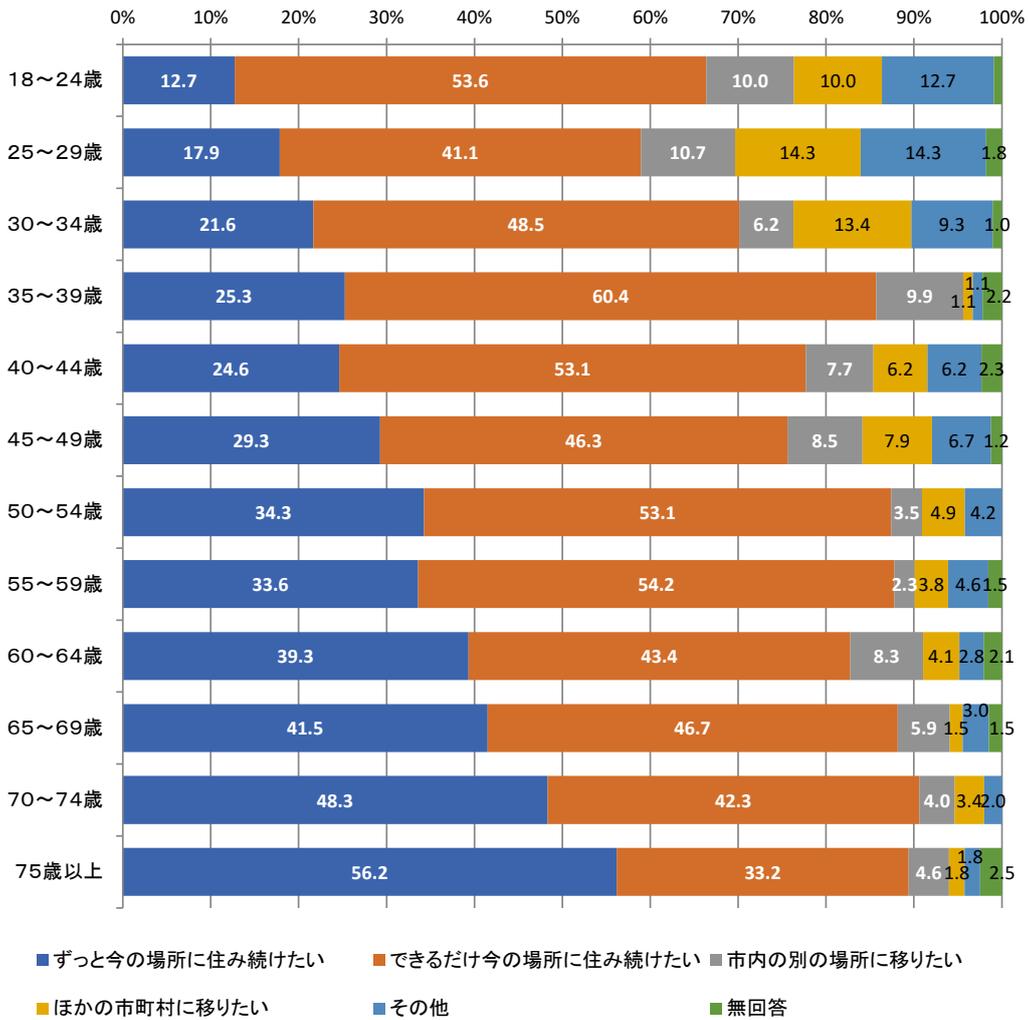
【前回調査（R1）との比較】



【年齢別、居住地域別（学校区）の定住意向（クロス分析）について】

■年齢別の定住意向への回答割合（問2と問11のクロス分析）

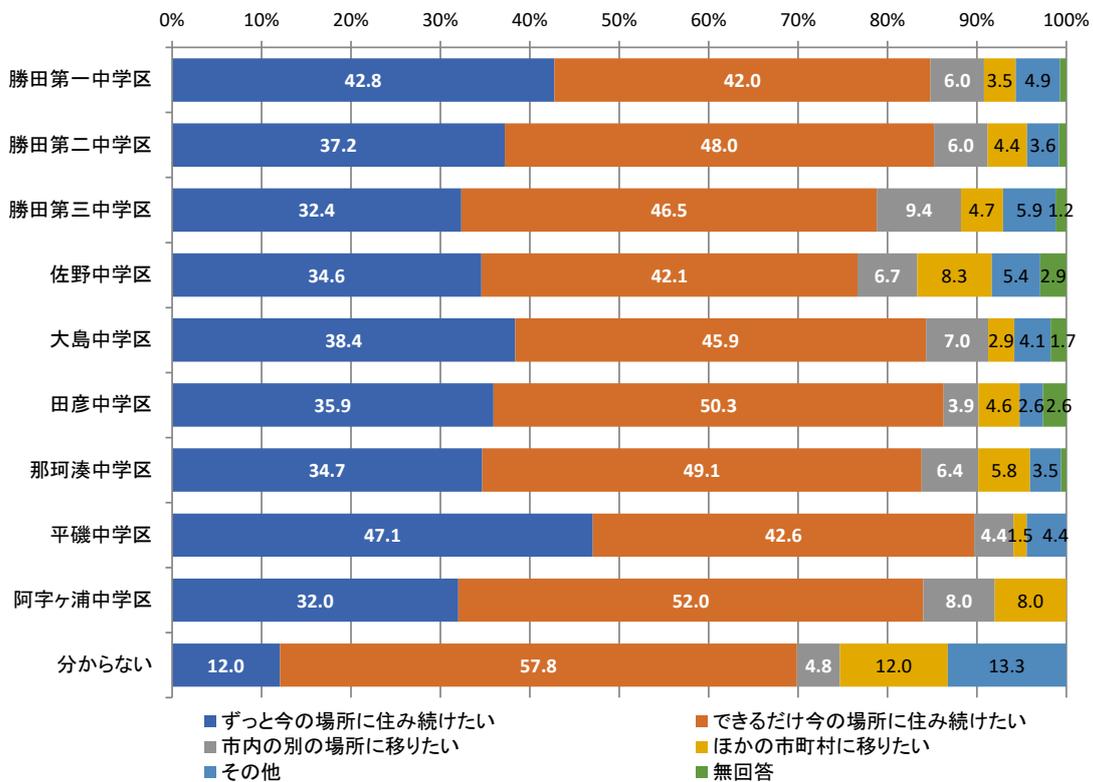
%	ずっと今の場所に住み続けたい	できるだけ今の場所に住み続けたい	市内の別の場所に移りたい	ほかの市町村に移りたい	その他	無回答
総数	35.8%	46.3%	6.4%	5.1%	4.8%	1.6%
18～24歳	12.7%	53.6%	10.0%	10.0%	12.7%	0.9%
25～29歳	17.9%	41.1%	10.7%	14.3%	14.3%	1.8%
30～34歳	21.6%	48.5%	6.2%	13.4%	9.3%	1.0%
35～39歳	25.3%	60.4%	9.9%	1.1%	1.1%	2.2%
40～44歳	24.6%	53.1%	7.7%	6.2%	6.2%	2.3%
45～49歳	29.3%	46.3%	8.5%	7.9%	6.7%	1.2%
50～54歳	34.3%	53.1%	3.5%	4.9%	4.2%	0.0%
55～59歳	33.6%	54.2%	2.3%	3.8%	4.6%	1.5%
60～64歳	39.3%	43.4%	8.3%	4.1%	2.8%	2.1%
65～69歳	41.5%	46.7%	5.9%	1.5%	3.0%	1.5%
70～74歳	48.3%	42.3%	4.0%	3.4%	2.0%	0.0%
75歳以上	56.2%	33.2%	4.6%	1.8%	1.8%	2.5%



- 年齢別の定住意向では、年代が増加するほど徐々に「ずっと今の場所に住み続けたい」の割合が増加している。「ずっと今の場所に住み続けたい」、「できるだけ今の場所に住み続けたい」の合計がもっとも低いのは「25～29歳」で59.0%となっている。一方で、「ほかの市町村に移りたい」との回答は「18～24歳」、「25～29歳」、「30～34歳」の若い世代で多くなっている。

■学校区別の定住意向への回答割合（問9と問11のクロス分析）

%	ずっと今の場所に住み続けたい	できるだけ今の場所に住み続けたい	市内の別の場所に移りたい	ほかの市町村に移りたい	その他	無回答
総数	35.8%	46.3%	6.4%	5.1%	4.8%	1.6%
勝田第一中学校区	42.8%	42.0%	6.0%	3.5%	4.9%	0.7%
勝田第二中学校区	37.2%	48.0%	6.0%	4.4%	3.6%	0.8%
勝田第三中学校区	32.4%	46.5%	9.4%	4.7%	5.9%	1.2%
佐野中学校区	34.6%	42.1%	6.7%	8.3%	5.4%	2.9%
大島中学校区	38.4%	45.9%	7.0%	2.9%	4.1%	1.7%
田彦中学校区	35.9%	50.3%	3.9%	4.6%	2.6%	2.6%
那珂湊中学校区	34.7%	49.1%	6.4%	5.8%	3.5%	0.6%
平磯中学校区	47.1%	42.6%	4.4%	1.5%	4.4%	0.0%
阿字ヶ浦中学校区	32.0%	52.0%	8.0%	8.0%	0.0%	0.0%
分からない	12.0%	57.8%	4.8%	12.0%	13.3%	0.0%

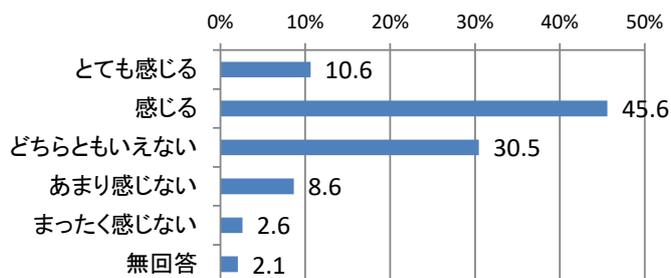


- 居住する学校区別の定住意向では、「ずっと今の場所に住み続けたい」との回答割合が最も多かったのは、「勝田第一中学校区」で42.8%、「平磯中学校区」が47.1%で続いている。

問 12 あなたは、生きがいを持って暮らしていると感じますか。[1つに〇]

- 生きがいを持って暮らしていると「とても感じる」との回答は 10.6%にとどまっており、「感じる」との回答が 45.6%で最多,「どちらとも言えない」が 30.5%で続いている。
- 男女別の回答では,「とても感じる」との回答は男性で少なくなっている。
- 年齢別の回答では,「とても感じる」,「感じる」の合計は「50～54 歳」で 60.8%と最も多く,「65～69 歳」で 46.6%と最も少ない。

総数	1,655	100.0%
とても感じる	176	10.6%
感じる	755	45.6%
どちらとも言えない	504	30.5%
あまり感じない	143	8.6%
まったく感じない	43	2.6%
無回答	34	2.1%

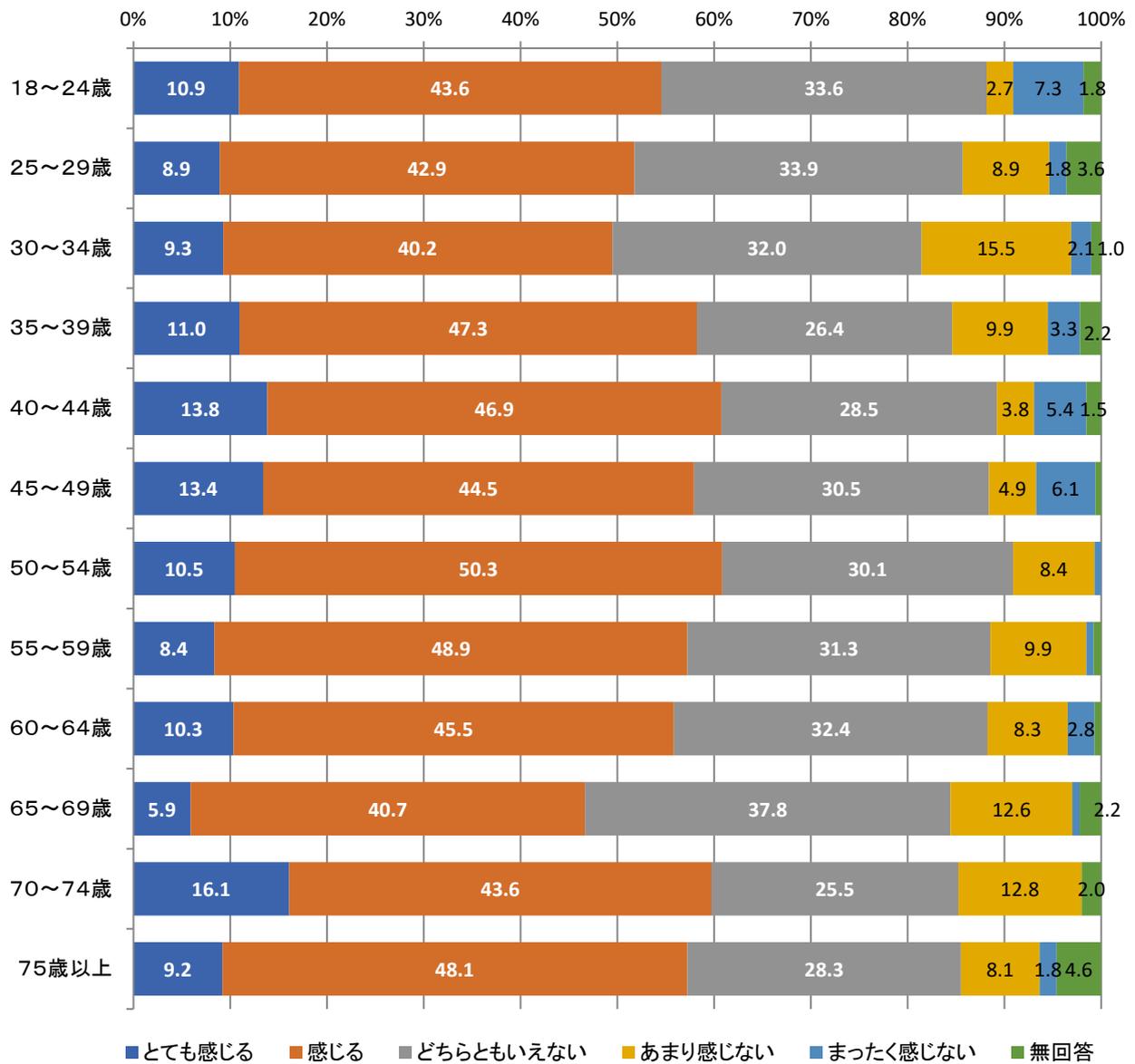


【男女別の生きがいに対する回答（クロス分析）】

%	とても感じる	感じる	どちらとも言えない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	10.6%	45.6%	30.5%	8.6%	2.6%	2.1%
男性	8.9%	48.1%	29.0%	9.4%	2.8%	1.7%
女性	12.1%	43.6%	31.9%	7.9%	2.5%	1.9%

【年齢別の生きがいに対する回答（クロス分析）】

%	とても感じる	感じる	どちらとも言えない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	10.6%	45.6%	30.5%	8.6%	2.6%	2.1%
18～24歳	10.9%	43.6%	33.6%	2.7%	7.3%	1.8%
25～29歳	8.9%	42.9%	33.9%	8.9%	1.8%	3.6%
30～34歳	9.3%	40.2%	32.0%	15.5%	2.1%	1.0%
35～39歳	11.0%	47.3%	26.4%	9.9%	3.3%	2.2%
40～44歳	13.8%	46.9%	28.5%	3.8%	5.4%	1.5%
45～49歳	13.4%	44.5%	30.5%	4.9%	6.1%	0.6%
50～54歳	10.5%	50.3%	30.1%	8.4%	0.7%	0.0%
55～59歳	8.4%	48.9%	31.3%	9.9%	0.8%	0.8%
60～64歳	10.3%	45.5%	32.4%	8.3%	2.8%	0.7%
65～69歳	5.9%	40.7%	37.8%	12.6%	0.7%	2.2%
70～74歳	16.1%	43.6%	25.5%	12.8%	0.0%	2.0%
75歳以上	9.2%	48.1%	28.3%	8.1%	1.8%	4.6%



※参考：65歳以上で生きがいを「とても感じる」、「感じる」と回答した方の割合：55.4%

65歳以上の回答者総数：567人

65歳以上の「とても感じる」の回答者数：58人

65歳以上の「感じる」の回答者数：256人

問 13 現在の、本市のまちづくりに関する取組に対する「満足度」と、今後の5年間（令和3年度から令和7年度まで）の取組に対する「充実希望度」について、各項目別に当てはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

【満足度に対する点数及び回答結果】

「とても満足」の回答を5点、「やや満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや不満」を2点、「とても不満」を1点として集計し、各項目で平均点を算出した。

No	項目	点数	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満
1	防災対策(防災力の強化・防災基盤の整備)について	3.20	3.0%	31.5%	49.8%	13.6%	2.1%
2	河川、雨水幹線の整備(冠水被害対策)について	2.93	2.9%	23.3%	43.7%	24.6%	5.6%
3	消防・救急体制について	3.47	8.3%	38.8%	46.0%	5.8%	1.1%
4	防犯対策について	3.06	2.4%	21.3%	57.9%	16.2%	2.1%
5	交通安全対策について	3.04	2.3%	24.2%	52.7%	17.0%	3.8%
6	企業誘致と雇用の創出について	2.98	1.7%	16.4%	62.9%	16.2%	2.8%
7	産業の活性化について	2.98	1.6%	17.6%	60.4%	18.0%	2.5%
8	商業振興について	2.93	2.0%	18.9%	53.1%	22.3%	3.6%
9	農業振興について	3.10	2.3%	18.3%	68.3%	9.4%	1.7%
10	水産業振興について	3.14	2.8%	19.1%	68.6%	8.3%	1.2%
11	観光振興について	3.01	3.0%	23.1%	49.4%	20.4%	4.1%
12	地域福祉(近所での見守り活動等による地域での助け合い等)について	3.10	3.3%	22.2%	58.5%	13.5%	2.5%
13	高齢者支援について	3.02	2.1%	19.2%	60.3%	15.2%	3.1%
14	障害者支援について	3.00	2.2%	13.7%	68.9%	12.2%	3.1%
15	保健医療体制や各種予防対策について	3.18	3.4%	29.8%	50.7%	13.8%	2.3%
16	生活困窮者支援について	2.98	1.4%	8.3%	78.8%	9.6%	1.8%
17	子育て支援について	2.98	1.3%	17.7%	62.9%	13.7%	4.4%
18	教育環境について	3.03	1.8%	16.8%	66.1%	12.9%	2.4%
19	青少年の健全育成について	3.04	1.4%	11.5%	78.1%	8.2%	0.9%
20	生涯学習環境(図書館、コミュニティセンター等)について	3.11	2.9%	22.3%	60.7%	11.8%	2.4%
21	スポーツ振興について	3.15	2.1%	18.5%	72.3%	6.3%	0.8%
22	芸術・文化振興について	3.09	1.9%	15.5%	73.6%	8.0%	1.0%
23	良好な居住環境の整備について	3.01	2.3%	20.5%	56.1%	18.3%	2.8%
24	道路の整備について	2.78	2.3%	19.4%	40.7%	29.4%	8.1%
25	安全安心な水の安定供給について	3.41	7.6%	35.0%	49.3%	6.9%	1.3%
26	下水道の整備について	3.01	4.5%	24.2%	47.1%	15.8%	8.4%
27	公園・緑地の整備について	3.13	5.0%	24.7%	51.5%	15.7%	3.1%
28	環境保全対策について	3.12	2.1%	18.2%	70.2%	8.3%	1.2%
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	3.32	5.5%	34.3%	48.7%	10.1%	1.5%
30	公共交通機関(バスや鉄道等)について	2.81	2.9%	16.4%	46.6%	26.8%	7.3%
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	3.08	2.2%	15.2%	73.1%	7.5%	1.9%
32	市の魅力発信による交流の促進について	2.96	1.7%	11.0%	71.5%	13.0%	2.7%
33	男女共同参画の推進について	3.05	1.2%	8.7%	84.7%	4.2%	1.2%
34	市政情報の発信について	3.14	2.9%	19.6%	67.3%	8.7%	1.5%
35	市民意見の市政への反映について	2.94	1.4%	11.0%	70.8%	14.1%	2.7%
36	効率的な市役所の運営について	3.02	2.3%	16.8%	64.3%	14.0%	2.6%
	平均点	3.06					

【充実希望度に対する点数及び回答結果】

「特に優先して充実すべき」の回答を5点、「充実すべき」を4点、「現状程度でよい」を3点、「それほど力を入れなくてよい」を2点、「優先順位を下げるべき」を1点として集計し、各項目で平均点を算出した。

No	項目	点数	特に優先して充実すべき	充実すべき	現状程度でよい	それほど力を入れなくてよい	優先順位を下げるべき
1	防災対策(防災力の強化・防災基盤の整備)について	3.78	13.8%	52.6%	31.8%	1.5%	0.3%
2	河川、雨水幹線の整備(冠水被害対策)について	3.87	18.3%	52.3%	27.9%	1.1%	0.3%
3	消防・救急体制について	3.57	10.8%	36.7%	51.5%	1.0%	0.1%
4	防犯対策について	3.74	12.2%	50.8%	35.8%	0.9%	0.3%
5	交通安全対策について	3.67	11.7%	44.8%	42.5%	0.8%	0.2%
6	企業誘致と雇用の創出について	3.61	9.6%	44.6%	43.6%	1.9%	0.3%
7	産業の活性化について	3.66	9.2%	48.9%	40.5%	1.2%	0.2%
8	商業振興について	3.68	10.3%	49.1%	39.3%	0.9%	0.3%
9	農業振興について	3.45	6.2%	35.5%	56.0%	2.0%	0.3%
10	水産業振興について	3.42	4.5%	35.1%	58.8%	1.5%	0.2%
11	観光振興について	3.71	13.8%	46.6%	36.8%	2.3%	0.5%
12	地域福祉(近所での見守り活動等による地域での助け合い等)について	3.58	9.9%	40.2%	47.8%	1.5%	0.5%
13	高齢者支援について	3.73	15.1%	45.8%	36.7%	2.0%	0.5%
14	障害者支援について	3.70	14.0%	43.3%	41.4%	0.7%	0.5%
15	保健医療体制や各種予防対策について	3.71	13.3%	44.8%	41.3%	0.5%	0.1%
16	生活困窮者支援について	3.43	6.3%	36.0%	54.0%	2.3%	1.4%
17	子育て支援について	3.75	16.8%	43.8%	37.9%	1.1%	0.5%
18	教育環境について	3.72	14.2%	44.7%	40.2%	0.6%	0.3%
19	青少年の健全育成について	3.50	7.8%	36.5%	54.3%	1.3%	0.2%
20	生涯学習環境(図書館、コミュニティセンター等)について	3.45	6.4%	34.9%	56.6%	1.7%	0.5%
21	スポーツ振興について	3.29	3.3%	26.1%	67.7%	2.3%	0.6%
22	芸術・文化振興について	3.30	3.6%	26.2%	67.5%	2.4%	0.3%
23	良好な居住環境の整備について	3.61	8.9%	45.1%	44.8%	0.9%	0.3%
24	道路の整備について	3.76	14.9%	48.6%	34.8%	1.0%	0.6%
25	安全安心な水の安定供給について	3.46	8.4%	30.8%	59.5%	0.9%	0.3%
26	下水道の整備について	3.61	14.0%	35.5%	48.7%	1.3%	0.5%
27	公園・緑地の整備について	3.48	7.1%	37.0%	53.2%	2.1%	0.7%
28	環境保全対策について	3.41	4.9%	32.9%	61.1%	0.9%	0.2%
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	3.46	6.6%	34.7%	57.0%	1.5%	0.2%
30	公共交通機関(バスや鉄道等)について	3.63	11.4%	42.8%	43.8%	1.7%	0.3%
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	3.13	2.4%	18.2%	71.1%	6.5%	1.8%
32	市の魅力発信による交流の促進について	3.37	6.0%	29.6%	61.2%	2.3%	0.9%
33	男女共同参画の推進について	3.18	2.0%	20.1%	73.2%	3.2%	1.4%
34	市政情報の発信について	3.30	3.2%	26.2%	68.4%	1.8%	0.3%
35	市民意見の市政への反映について	3.48	7.1%	35.4%	56.0%	1.3%	0.2%
36	効率的な市役所の運営について	3.53	8.7%	36.5%	53.5%	1.0%	0.2%
	平均点	3.55					

- ・「とても満足」と回答する割合が多い上位3項目は「3 消防・救急体制について」、「25 安全安心な水の安定供給について」、「29 ごみ処理対策やリサイクルの推進について」となっている。(前回調査と変化なし)
- ・「特に優先して充実すべき」と回答する割合が多い上位3項目は「2 河川、雨水幹線の整備(冠水被害対策)につい」、「17 子育て支援について」、「24 道路の整備について」となっている。
- ・その他に取り組みべき事項として、「コロナ対策」、「空き屋対策」、「取り組み項目を減らすべき」等の意見が挙がっていた。

【点数化による評価】

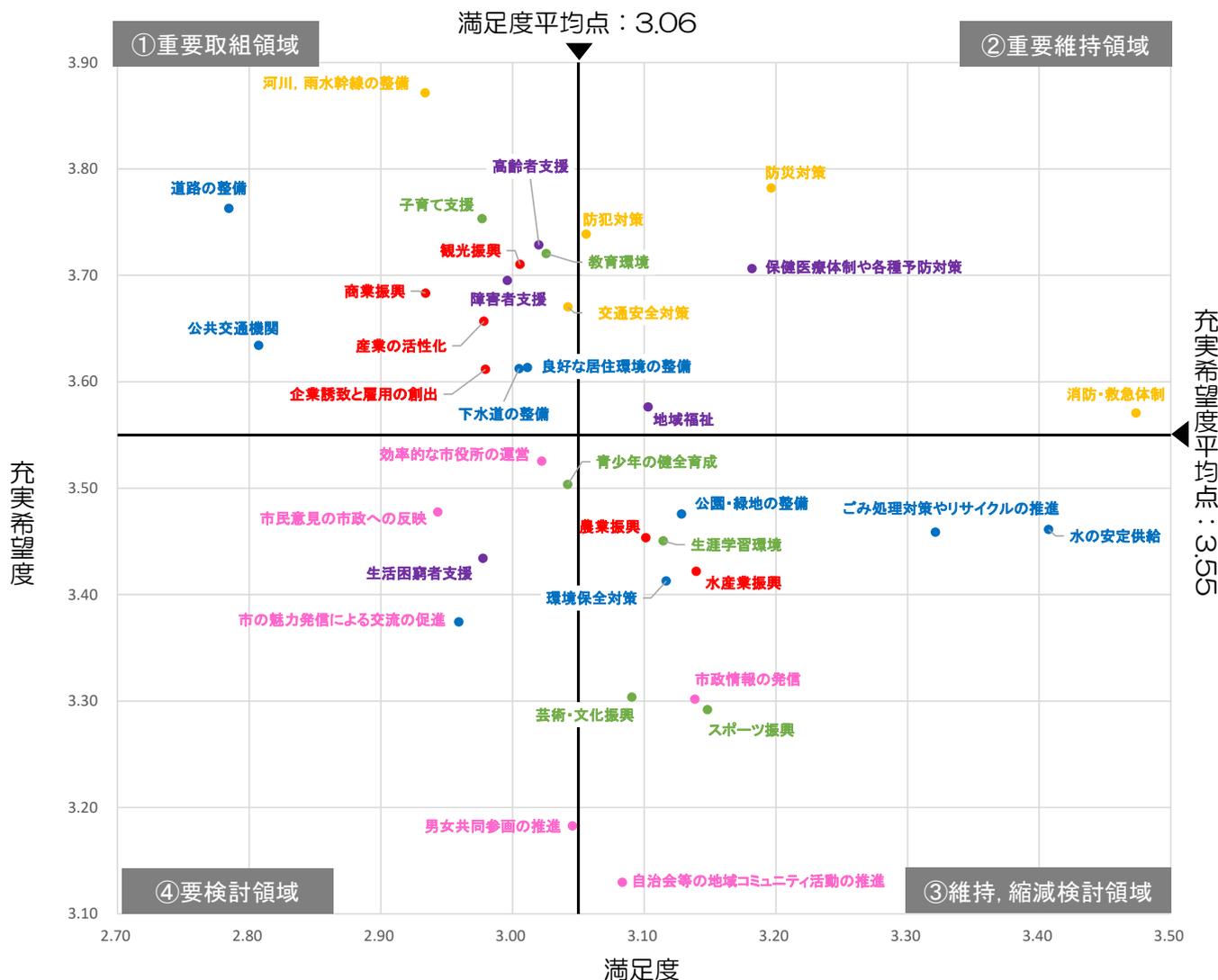
問 13 で調査した、本市のまちづくりに関する取組への市民の評価について、算出した点数を基に、横軸に「満足度」、縦軸に「充実希望度」を取りグラフ化した。

※項目の分類について

分類	領域について	説明
①重要取組領域	「満足度」が低く、「充実希望度」が高い	重点的に取り組みを進める必要がある項目。
②重要維持領域	「満足度」も「充実希望度」も高い	引き続き重点的に維持していく項目。
③維持・縮減領域	「満足度」が高く、「充実希望度」が低い	現状の維持或いは、取り組みの縮減を検討していく項目。
④要検討領域	「満足度」も「充実希望度」も低い	市民ニーズを再認識し、必要に応じて大きく改善する必要がある項目。

ひたちなか市第3次総合計画基本構想の章毎に項目を色分け

- 1. 災害に強く安全安心に暮らせるまちづくり
- 2. 多様な産業が発展しにぎわいあふれるまちづくり
- 3. ともに支えあい末永く健やかに暮らせるまちづくり
- 4. こどもたちがのびのびと成長し豊かな人間性が育まれるまちづくり
- 5. やすらぎと潤いにあふれ快適に暮らせるまちづくり
- 6. 市民とともに歩む人と人がつながるまちづくり



※前回調査（R1）との点数の比較

No	項目	R2 増減 (R2-R1)		R2点数		R1点数	
		満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度
1	防災対策について	0.01	-0.03	3.20	3.78	3.19	3.81
2	河川, 雨水幹線の整備について	-0.09	0.07	2.93	3.87	3.02	3.80
3	消防・救急体制について	-0.07	-0.01	3.47	3.57	3.54	3.58
4	防犯対策について	-0.03	-0.05	3.06	3.74	3.09	3.79
5	交通安全対策について	0.01	-0.11	3.04	3.67	3.03	3.78
6	企業誘致と雇用の創出について	0.02	-0.07	2.98	3.61	2.96	3.68
7	産業の活性化について	0.01	-0.02	2.98	3.66	2.97	3.68
8	商業振興について	0.04	0.01	2.93	3.68	2.89	3.67
9	農業振興について	0.01	-0.02	3.10	3.45	3.09	3.47
10	水産業振興について	0.03	-0.03	3.14	3.42	3.11	3.45
11	観光振興について	0.00	0.00	3.01	3.71	3.00	3.71
12	地域福祉について	-0.03	-0.05	3.10	3.58	3.13	3.63
13	高齢者支援について	0.00	-0.01	3.02	3.73	3.02	3.74
14	障害者支援について	-0.01	0.03	3.00	3.70	3.01	3.67
15	保健医療体制や各種予防対策について	-0.01	0.02	3.18	3.71	3.19	3.69
16	生活困窮者支援について	-0.02	0.03	2.98	3.43	3.00	3.40
17	子育て支援について	-0.03	-0.01	2.98	3.75	3.00	3.76
18	教育環境について	-0.06	0.07	3.03	3.72	3.09	3.65
19	青少年の健全育成について	-0.02	-0.05	3.04	3.50	3.06	3.55
20	生涯学習環境について	-0.03	-0.04	3.11	3.45	3.14	3.49
21	スポーツ振興について	-0.04	-0.03	3.15	3.29	3.19	3.33
22	芸術・文化振興について	-0.01	-0.06	3.09	3.30	3.10	3.37
23	良好な居住環境の整備について	-0.01	-0.06	3.01	3.61	3.02	3.67
24	道路の整備について	-0.06	-0.01	2.78	3.76	2.85	3.77
25	安全安心な水の安定供給について	0.00	-0.10	3.41	3.46	3.40	3.57
26	下水道の整備について	-0.02	-0.05	3.01	3.61	3.02	3.66
27	公園・緑地の整備について	0.03	-0.01	3.13	3.48	3.10	3.49
28	環境保全対策について	0.02	-0.07	3.12	3.41	3.09	3.48
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	-0.05	-0.05	3.32	3.46	3.37	3.51
30	公共交通機関(バスや鉄道等)について	0.04	-0.12	2.81	3.63	2.77	3.75
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	-0.03	-0.04	3.08	3.13	3.11	3.17
32	市の魅力発信による交流の促進について	-0.02	-0.06	2.96	3.37	2.98	3.43
33	男女共同参画の推進について	-0.01	-0.03	3.05	3.18	3.05	3.22
34	市政情報の発信について	0.01	-0.03	3.14	3.30	3.13	3.34
35	市民意見の市政への反映について	0.02	-0.03	2.94	3.48	2.93	3.51
36	効率的な市役所の運営について	-0.01	0.01	3.02	3.53	3.03	3.52
平均点				3.06	3.55	3.07	3.58

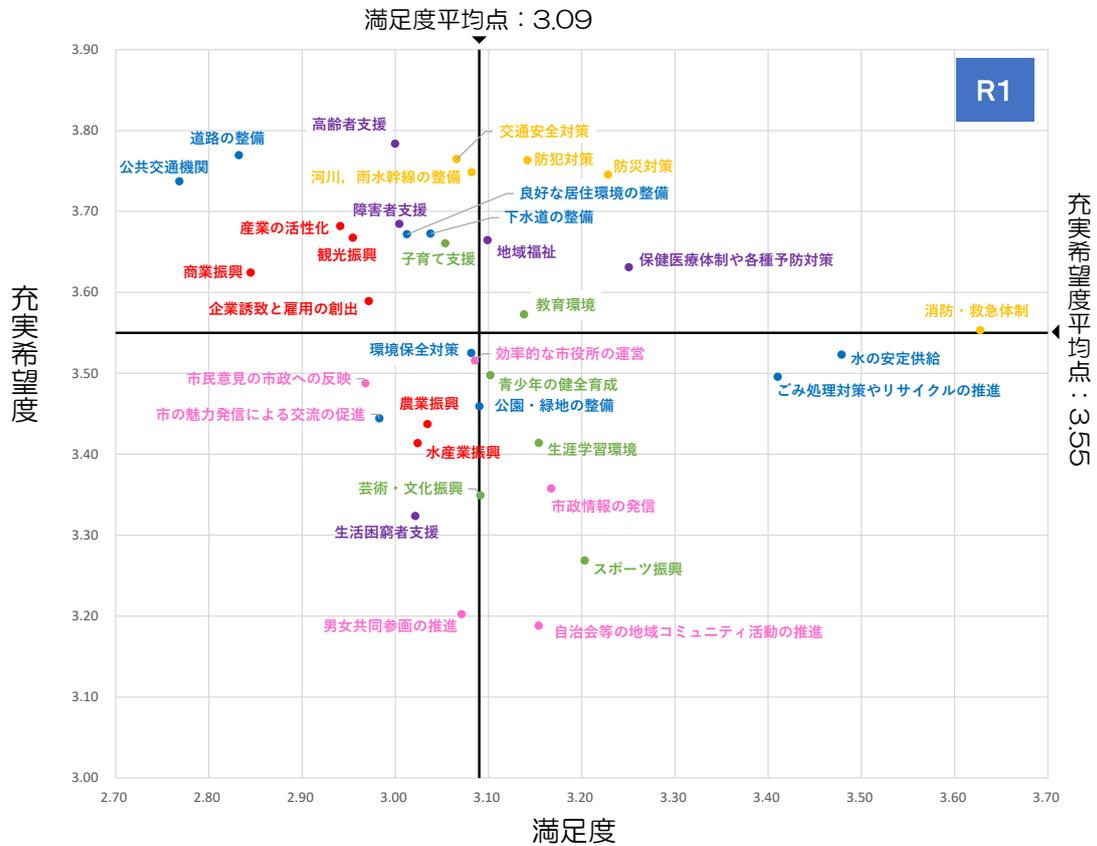
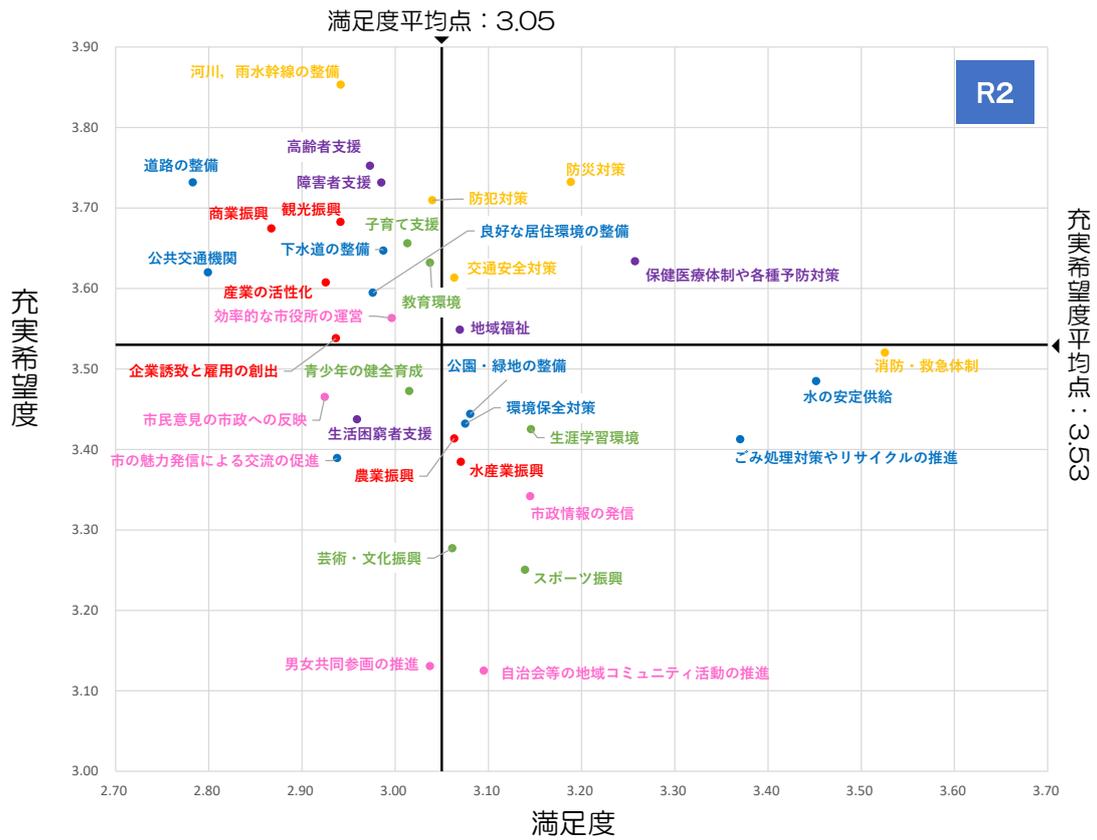
増加が最大の数値
 減少が最大の数値

- 前回調査との比較では「河川, 雨水幹線の整備について」で, 満足度が最も減少し, 充実希望度が最も増加して項目となっている。

※参考：属性別の施策評価について



■ 高齢世帯（65歳以上の高齢者と同居する世帯）の施策評価



※前回調査（R1）との点数の比較（子育て世帯の施策評価）

No	項目	R2 増減 (R2-R1)		R2点数		R1点数	
		満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度
1	防災対策について	-0.03	-0.04	3.18	3.81	3.22	3.86
2	河川、雨水幹線の整備について	-0.12	0.07	2.91	3.90	3.03	3.83
3	消防・救急体制について	-0.05	-0.03	3.44	3.59	3.49	3.62
4	防犯対策について	0.03	-0.08	3.07	3.74	3.04	3.83
5	交通安全対策について	0.03	-0.11	3.02	3.72	2.99	3.83
6	企業誘致と雇用の創出について	0.05	-0.10	3.03	3.58	2.98	3.69
7	産業の活性化について	0.04	0.00	3.07	3.63	3.03	3.63
8	商業振興について	0.09	0.01	3.08	3.65	2.99	3.64
9	農業振興について	0.04	0.02	3.20	3.45	3.16	3.43
10	水産業振興について	0.02	0.01	3.24	3.43	3.22	3.42
11	観光振興について	0.07	0.00	3.10	3.71	3.03	3.71
12	地域福祉について	-0.05	0.01	3.18	3.61	3.23	3.60
13	高齢者支援について	0.00	-0.02	3.07	3.68	3.07	3.70
14	障害者支援について	0.00	-0.01	3.05	3.64	3.04	3.65
15	保健医療体制や各種予防対策について	-0.09	0.04	3.07	3.81	3.16	3.76
16	生活困窮者支援について	-0.01	-0.03	3.02	3.33	3.03	3.37
17	子育て支援について	-0.04	0.02	2.91	3.99	2.95	3.97
18	教育環境について	-0.05	0.08	2.97	3.91	3.03	3.83
19	青少年の健全育成について	0.00	-0.07	3.04	3.54	3.04	3.62
20	生涯学習環境について	-0.05	-0.05	3.12	3.50	3.17	3.55
21	スポーツ振興について	-0.05	-0.08	3.15	3.26	3.20	3.34
22	芸術・文化振興について	0.03	-0.06	3.15	3.25	3.12	3.31
23	良好な居住環境の整備について	0.02	-0.10	3.08	3.58	3.06	3.69
24	道路の整備について	-0.03	-0.02	2.82	3.75	2.85	3.77
25	安全安心な水の安定供給について	0.04	-0.09	3.42	3.41	3.38	3.50
26	下水道の整備について	0.00	-0.04	3.08	3.53	3.08	3.57
27	公園・緑地の整備について	0.06	-0.03	3.15	3.51	3.09	3.54
28	環境保全対策について	0.00	-0.09	3.15	3.36	3.15	3.45
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	-0.09	0.00	3.27	3.46	3.36	3.46
30	公共交通機関(バスや鉄道等)について	0.06	-0.16	2.86	3.56	2.80	3.72
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	-0.02	-0.06	3.07	3.05	3.09	3.11
32	市の魅力発信による交流の促進について	-0.01	-0.09	3.00	3.33	3.01	3.42
33	男女共同参画の推進について	0.01	-0.03	3.06	3.15	3.05	3.18
34	市政情報の発信について	0.02	-0.03	3.15	3.27	3.13	3.29
35	市民意見の市政への反映について	0.02	-0.03	2.96	3.48	2.94	3.50
36	効率的な市役所の運営について	-0.01	0.01	3.03	3.49	3.04	3.48
平均点				3.09	3.55	3.09	3.58

増加が最大の数値
 減少が最大の数値

- 前回調査との比較では「子育て支援について」満足度が減少している。充実希望度では、「公共交通機関について」で最も希望度が減少しており、「教育環境について」の充実希望が増加している。

※前回調査（R1）との点数の比較（高齢世帯の施策評価）

No	項目	R2 増減 (R2-R1)		R2 点数		R1 点数	
		満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度
1	防災対策について	-0.04	-0.01	3.19	3.73	3.23	3.75
2	河川, 雨水幹線の整備について	-0.14	0.11	2.94	3.85	3.08	3.75
3	消防・救急体制について	-0.10	-0.03	3.53	3.52	3.63	3.55
4	防犯対策について	-0.10	-0.05	3.04	3.71	3.14	3.76
5	交通安全対策について	0.00	-0.15	3.06	3.61	3.07	3.76
6	企業誘致と雇用の創出について	-0.04	-0.05	2.94	3.54	2.97	3.59
7	産業の活性化について	-0.02	-0.07	2.93	3.61	2.94	3.68
8	商業振興について	0.02	0.05	2.87	3.67	2.84	3.62
9	農業振興について	0.03	-0.02	3.06	3.41	3.03	3.44
10	水産業振興について	0.05	-0.03	3.07	3.38	3.02	3.41
11	観光振興について	-0.01	0.02	2.94	3.68	2.95	3.67
12	地域福祉について	-0.03	-0.12	3.07	3.55	3.10	3.66
13	高齢者支援について	-0.03	-0.03	2.97	3.75	3.00	3.78
14	障害者支援について	-0.02	0.05	2.99	3.73	3.00	3.68
15	保健医療体制や各種予防対策について	0.01	0.00	3.26	3.63	3.25	3.63
16	生活困窮者支援について	-0.06	0.11	2.96	3.44	3.02	3.32
17	子育て支援について	-0.04	0.00	3.01	3.66	3.05	3.66
18	教育環境について	-0.10	0.06	3.04	3.63	3.14	3.57
19	青少年の健全育成について	-0.09	-0.03	3.02	3.47	3.10	3.50
20	生涯学習環境について	-0.01	0.01	3.15	3.43	3.15	3.41
21	スポーツ振興について	-0.06	-0.02	3.14	3.25	3.20	3.27
22	芸術・文化振興について	-0.03	-0.07	3.06	3.28	3.09	3.35
23	良好な居住環境の整備について	-0.04	-0.08	2.98	3.59	3.01	3.67
24	道路の整備について	-0.05	-0.04	2.78	3.73	2.83	3.77
25	安全安心な水の安定供給について	-0.03	-0.04	3.45	3.48	3.48	3.52
26	下水道の整備について	-0.05	-0.03	2.99	3.65	3.04	3.67
27	公園・緑地の整備について	-0.01	-0.02	3.08	3.44	3.09	3.46
28	環境保全対策について	-0.01	-0.09	3.08	3.43	3.08	3.53
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	-0.04	-0.08	3.37	3.41	3.41	3.50
30	公共交通機関(バスや鉄道等)について	0.03	-0.12	2.80	3.62	2.77	3.74
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	-0.06	-0.06	3.10	3.13	3.15	3.19
32	市の魅力発信による交流の促進について	-0.05	-0.05	2.94	3.39	2.98	3.44
33	男女共同参画の推進について	-0.03	-0.07	3.04	3.13	3.07	3.20
34	市政情報の発信について	-0.02	-0.02	3.14	3.34	3.17	3.36
35	市民意見の市政への反映について	-0.04	-0.02	2.92	3.47	2.97	3.49
36	効率的な市役所の運営について	-0.09	0.05	3.00	3.56	3.09	3.52
		平均点		3.05	3.53	3.09	3.55

 増加が最大の数値
 減少が最大の数値

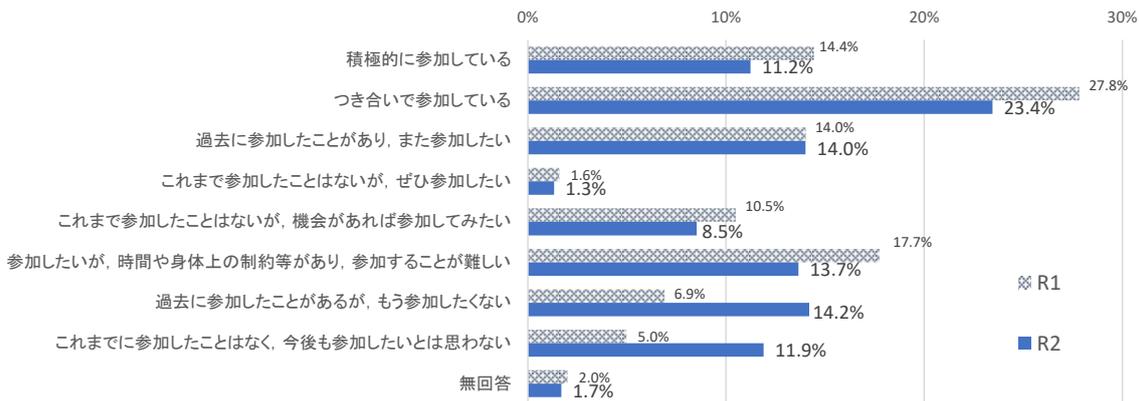
- ・前回調査との比較では「高齢者支援について」満足度が減少している。充実希望度では、「交通安全対策について」最も希望度が減少しており、「河川, 雨水幹線の整備について」, 「生活困窮者支援について」の充実希望が増加している。

(3) 地域活動・住民参加について

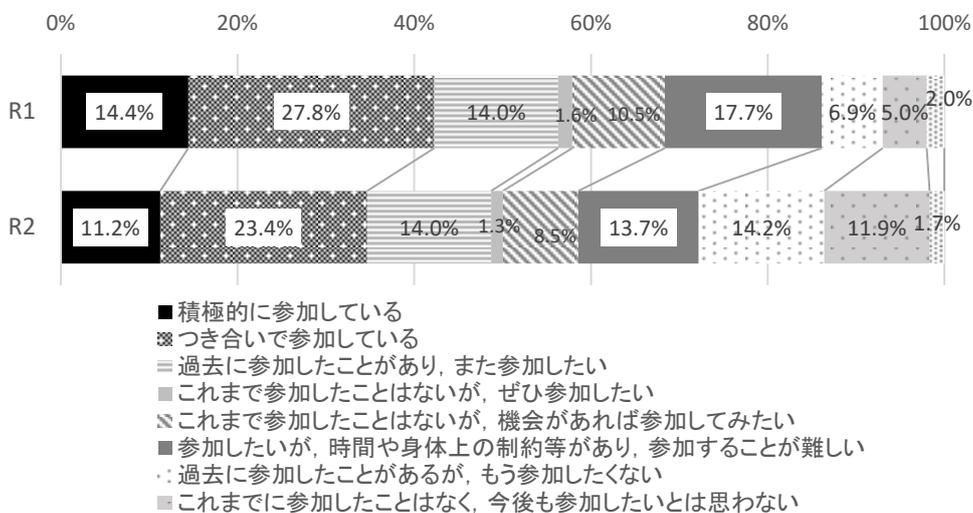
問 14 あなたは、社会活動（地域コミュニティや自治会、子ども会などの地域活動、奉仕活動など）にどの程度参加していますか。[1つに〇]

- ・社会活動への参加について、「積極的に参加している」は11.2%で前回調査（R1）に比べ3.2%減少しており、「つき合いで参加している」との回答も23.4%で前回から4.4%減少している。
- ・一方で、「過去に参加したことがあるが、もう参加したくない」、「これまでに参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」の合計は14.2%と大きく増加し26.1%となっている。

総数	1,655	100.0%
積極的に参加している	186	11.2%
つき合いで参加している	388	23.4%
過去に参加したことがあるが、また参加したい	232	14.0%
これまで参加したことはないが、ぜひ参加したい	22	1.3%
これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい	141	8.5%
参加したいが、時間や身体上の制約等があり、参加することが難しい	226	13.7%
過去に参加したことがあるが、もう参加したくない	235	14.2%
これまでに参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	197	11.9%
無回答	28	1.7%



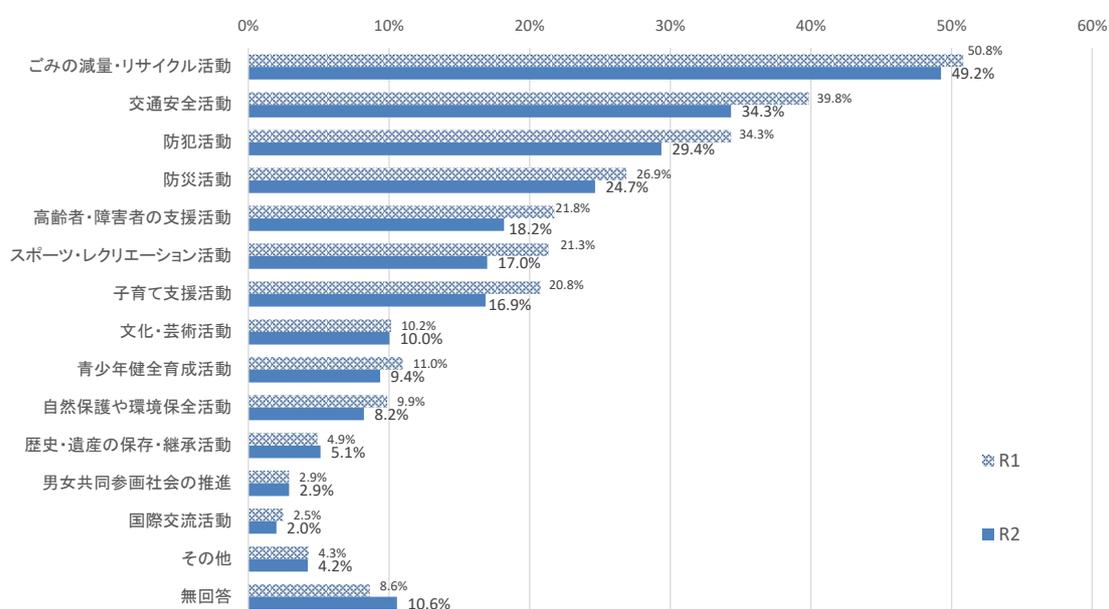
【前回調査（R1）との比較】



問 15 ひたちなか市では、平成22年4月に「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」を制定し、市民、議会、行政がお互いに連携協力するまちづくりを進めています。地域づくりにおいて、地域の市民が主体となって活動が行われていると感じるのはどのような分野だと思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- 全体の49.2%が「ごみの減量・リサイクル活動」と回答しており、「交通安全活動」が34.3%、「防犯活動」が29.4%で続いている。
- 前回調査（R1）とほぼ同じ傾向となっているが、各項目の回答率は減少している。
- 「その他」の回答では、「活動が行われていると感じない」、「わからない」等の意見が挙がっていた。

総数	1,655	100.0%
ごみの減量・リサイクル活動	815	49.2%
交通安全活動	568	34.3%
防犯活動	486	29.4%
防災活動	408	24.7%
高齢者・障害者の支援活動	301	18.2%
スポーツ・レクリエーション活動	281	17.0%
子育て支援活動	279	16.9%
文化・芸術活動	166	10.0%
青少年健全育成活動	155	9.4%
自然保護や環境保全活動	136	8.2%
歴史・遺産の保存・継承活動	85	5.1%
男女共同参画社会の推進	48	2.9%
国際交流活動	33	2.0%
その他	70	4.2%
無回答	175	10.6%



※参考：市民が主体となって地域福祉が行われていると感じる人の割合：28.2%

高齢者・障害者の支援活動，子育て支援活動で市民が主体と感じている人/回答者総数

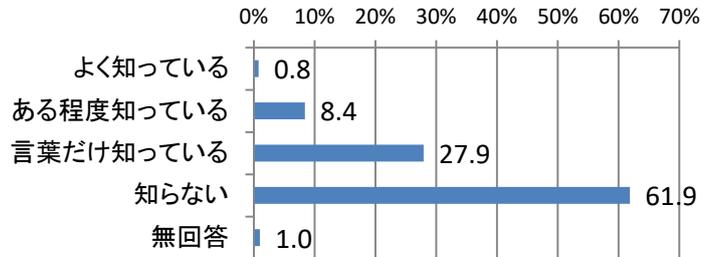
高齢者・障害者の支援活動，子育て支援活動で市民が主体と感じている回答者数：467人

回答者総数：1,655人

問 16 あなたは、「まちづくり市民会議」を知っていますか。[1つに〇]

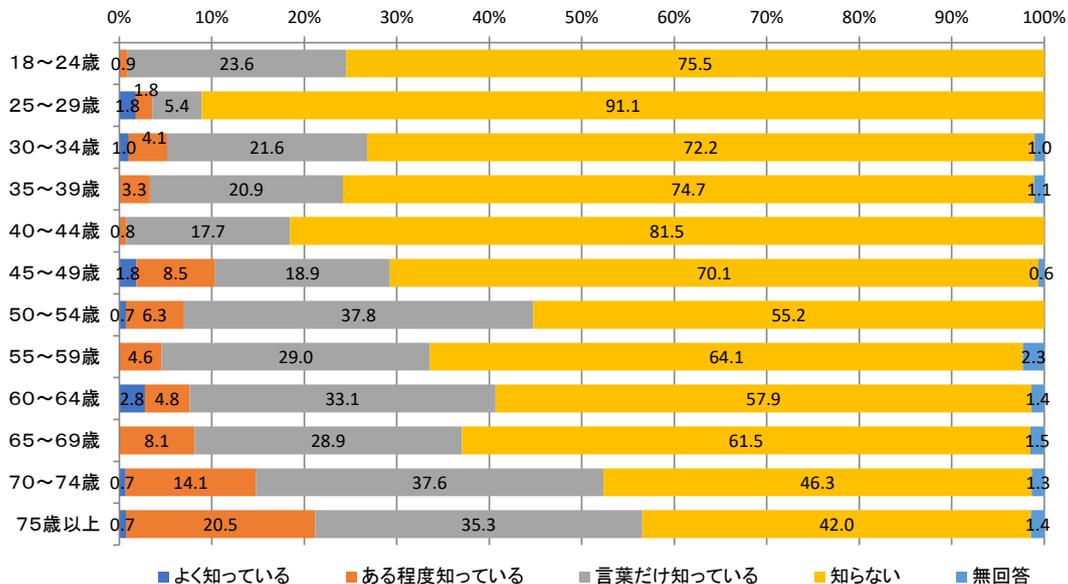
- まちづくり市民会議を「よく知っている」、「ある程度知っている」と回答した方の合計は 9.2%となっており、最も多かったのは「知らない」の 61.9%となっている。
- 年齢別の回答結果では、「知らない」との回答が最も少ないのは「75歳以上」で 42.0%となっており、一方で最も「知らない」の回答が多いのは「25～29歳」で 91.1%となっている。

総数	1,655	100.0%
よく知っている	13	0.8%
ある程度知っている	139	8.4%
言葉だけ知っている	462	27.9%
知らない	1,024	61.9%
無回答	17	1.0%



【年齢別の「まちづくり市民会議」の認知度（クロス分析）】

%	よく知っている	ある程度知っている	言葉だけ知っている	知らない	無回答
総数	0.8%	8.4%	27.9%	61.9%	1.0%
18～24歳	0.0%	0.9%	23.6%	75.5%	0.0%
25～29歳	1.8%	1.8%	5.4%	91.1%	0.0%
30～34歳	1.0%	4.1%	21.6%	72.2%	1.0%
35～39歳	0.0%	3.3%	20.9%	74.7%	1.1%
40～44歳	0.0%	0.8%	17.7%	81.5%	0.0%
45～49歳	1.8%	8.5%	18.9%	70.1%	0.6%
50～54歳	0.7%	6.3%	37.8%	55.2%	0.0%
55～59歳	0.0%	4.6%	29.0%	64.1%	2.3%
60～64歳	2.8%	4.8%	33.1%	57.9%	1.4%
65～69歳	0.0%	8.1%	28.9%	61.5%	1.5%
70～74歳	0.7%	14.1%	37.6%	46.3%	1.3%
75歳以上	0.7%	20.5%	35.3%	42.0%	1.4%

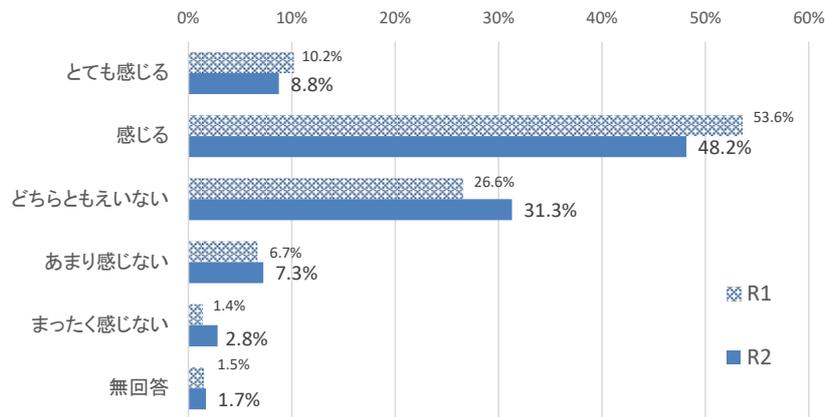


(4) ひたちなか市への誇りや愛着について

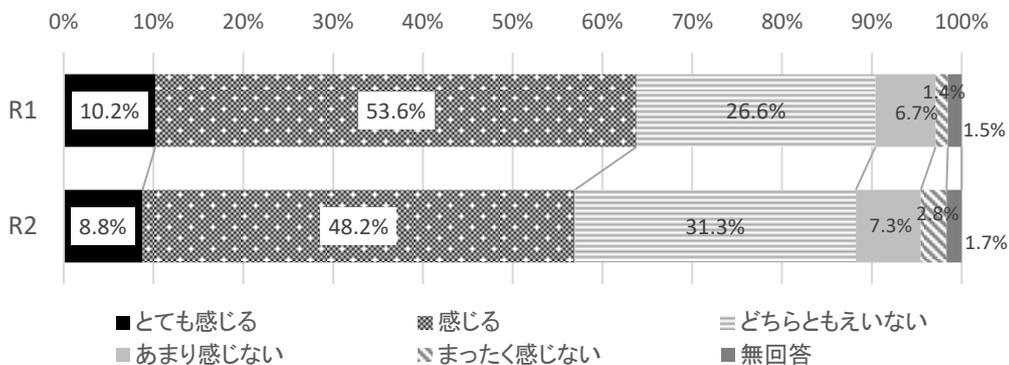
問 17 あなたは、ひたちなか市に誇りや愛着を感じますか。[1つに〇]

- ひたちなか市への誇りや愛着について、「とても感じる」と回答した人は 8.8%となっており、前回調査（R1）と比べ 1.4%減少しており、「とても感じる」と「感じる」の合計も 57.0%と前回に比べ 6.8%減少している。
- 年齢別の回答結果では、「とても感じる」は「18～24 歳」で最多となっており、「60～64 歳」が 12.4%で続いている。一方で「まったく感じない」と「あまり感じない」の合計は「25～29 歳」が 21.4%で最多となっている。
- 居住学校区別の回答結果では、「とても感じる」は「田彦中学区」で最多となっている。

総数	1,655	100.0%
とても感じる	145	8.8%
感じる	797	48.2%
どちらともえない	518	31.3%
あまり感じない	120	7.3%
まったく感じない	47	2.8%
無回答	28	1.7%

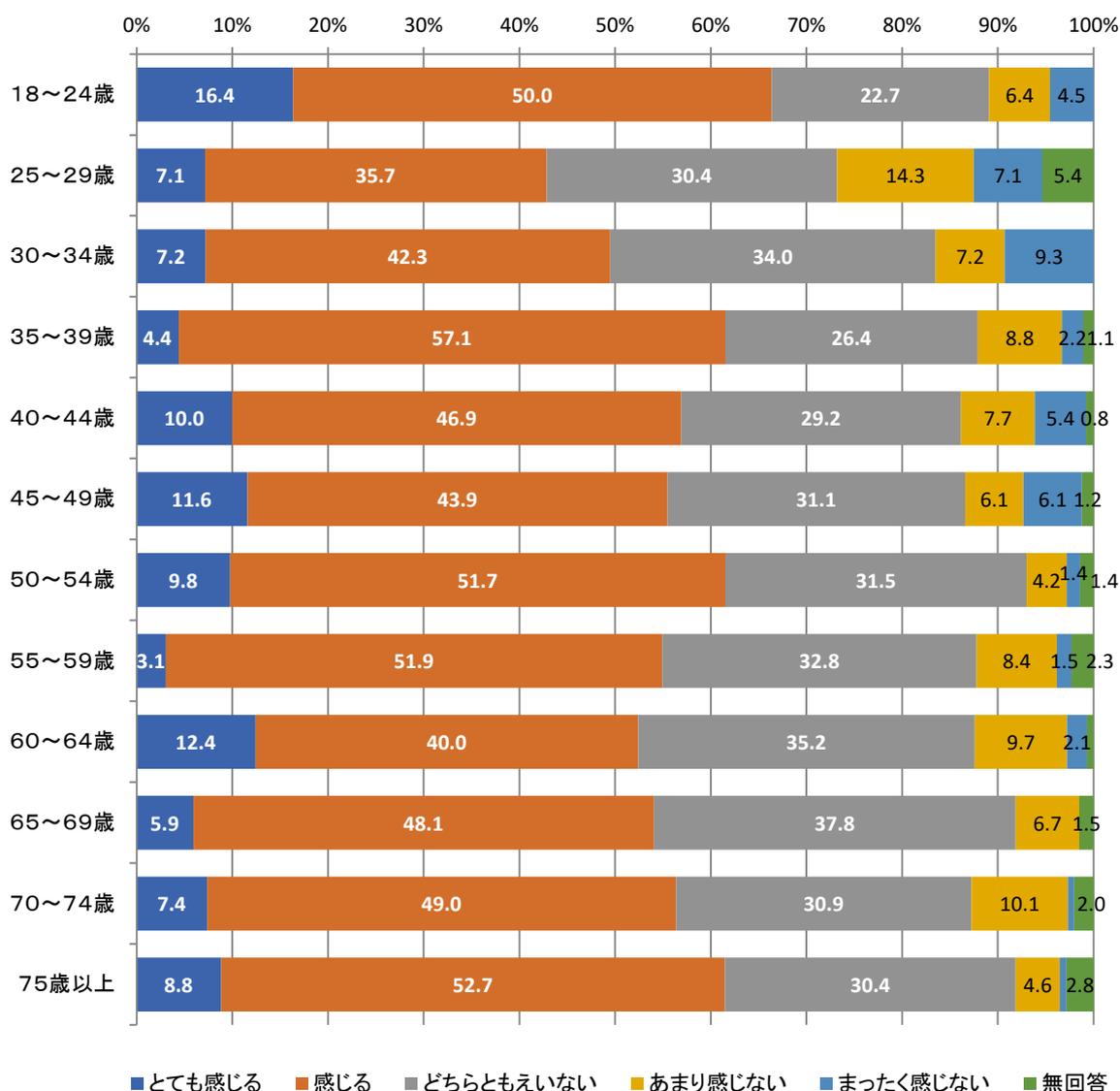


【前回調査（R1）との比較】



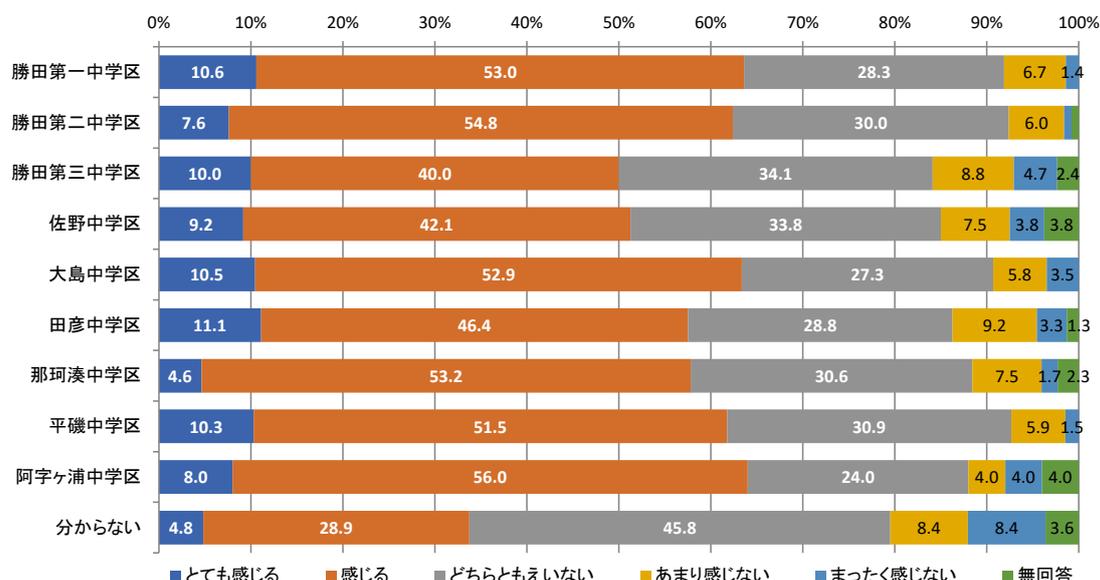
【年齢別の市への誇りや愛着への回答結果】

%	とても感じる	感じる	どちらとも えない	あまり感 じない	まったく感 じない	無回答
総数	8.8%	48.2%	31.3%	7.3%	2.8%	1.7%
18～24歳	16.4%	50.0%	22.7%	6.4%	4.5%	0.0%
25～29歳	7.1%	35.7%	30.4%	14.3%	7.1%	5.4%
30～34歳	7.2%	42.3%	34.0%	7.2%	9.3%	0.0%
35～39歳	4.4%	57.1%	26.4%	8.8%	2.2%	1.1%
40～44歳	10.0%	46.9%	29.2%	7.7%	5.4%	0.8%
45～49歳	11.6%	43.9%	31.1%	6.1%	6.1%	1.2%
50～54歳	9.8%	51.7%	31.5%	4.2%	1.4%	1.4%
55～59歳	3.1%	51.9%	32.8%	8.4%	1.5%	2.3%
60～64歳	12.4%	40.0%	35.2%	9.7%	2.1%	0.7%
65～69歳	5.9%	48.1%	37.8%	6.7%	0.0%	1.5%
70～74歳	7.4%	49.0%	30.9%	10.1%	0.7%	2.0%
75歳以上	8.8%	52.7%	30.4%	4.6%	0.7%	2.8%



【学校区別の市への誇りや愛着への回答結果】

%	とても感じる	感じる	どちらともえ いない	あまり感じ ない	まったく感じ ない	無回答
総数	8.8%	48.2%	31.3%	7.3%	2.8%	1.7%
勝田第一中学区	10.6%	53.0%	28.3%	6.7%	1.4%	0.0%
勝田第二中学区	7.6%	54.8%	30.0%	6.0%	0.8%	0.8%
勝田第三中学区	10.0%	40.0%	34.1%	8.8%	4.7%	2.4%
佐野中学区	9.2%	42.1%	33.8%	7.5%	3.8%	3.8%
大島中学区	10.5%	52.9%	27.3%	5.8%	3.5%	0.0%
田彦中学区	11.1%	46.4%	28.8%	9.2%	3.3%	1.3%
那珂湊中学区	4.6%	53.2%	30.6%	7.5%	1.7%	2.3%
平磯中学区	10.3%	51.5%	30.9%	5.9%	1.5%	0.0%
阿字ヶ浦中学区	8.0%	56.0%	24.0%	4.0%	4.0%	4.0%
分からない	4.8%	28.9%	45.8%	8.4%	8.4%	3.6%



※年齢別の市への誇りや愛着への回答結果の比較 (R1→R2 の増減)

%	とても感じる	感じる	どちらともえ いない	あまり感じ ない	まったく感じ ない
総数	-1.5%	-5.4%	4.7%	0.6%	1.5%
18～24歳	4.3%	-5.2%	-1.4%	-0.5%	2.8%
25～29歳	-3.1%	-13.3%	3.8%	2.0%	5.1%
30～34歳	-7.1%	-2.2%	5.4%	-2.3%	6.1%
35～39歳	-5.8%	9.4%	-4.3%	0.8%	-0.1%
40～44歳	-8.2%	-2.7%	2.0%	4.4%	4.6%
45～49歳	2.5%	-12.0%	4.5%	-1.6%	5.4%
50～54歳	1.0%	-6.6%	6.7%	-1.6%	0.7%
55～59歳	-5.1%	-8.1%	11.9%	0.2%	-1.2%
60～64歳	6.2%	-17.5%	8.6%	1.7%	2.1%
65～69歳	-1.6%	-1.5%	5.4%	-0.9%	-1.5%
70～74歳	-1.8%	-2.5%	2.0%	2.7%	-1.2%
75歳以上	-1.8%	-3.6%	6.4%	0.4%	-0.4%

- 10%以上減少※
- 5%以上減少※
- 5%以上増加※
- 10%以上増加※

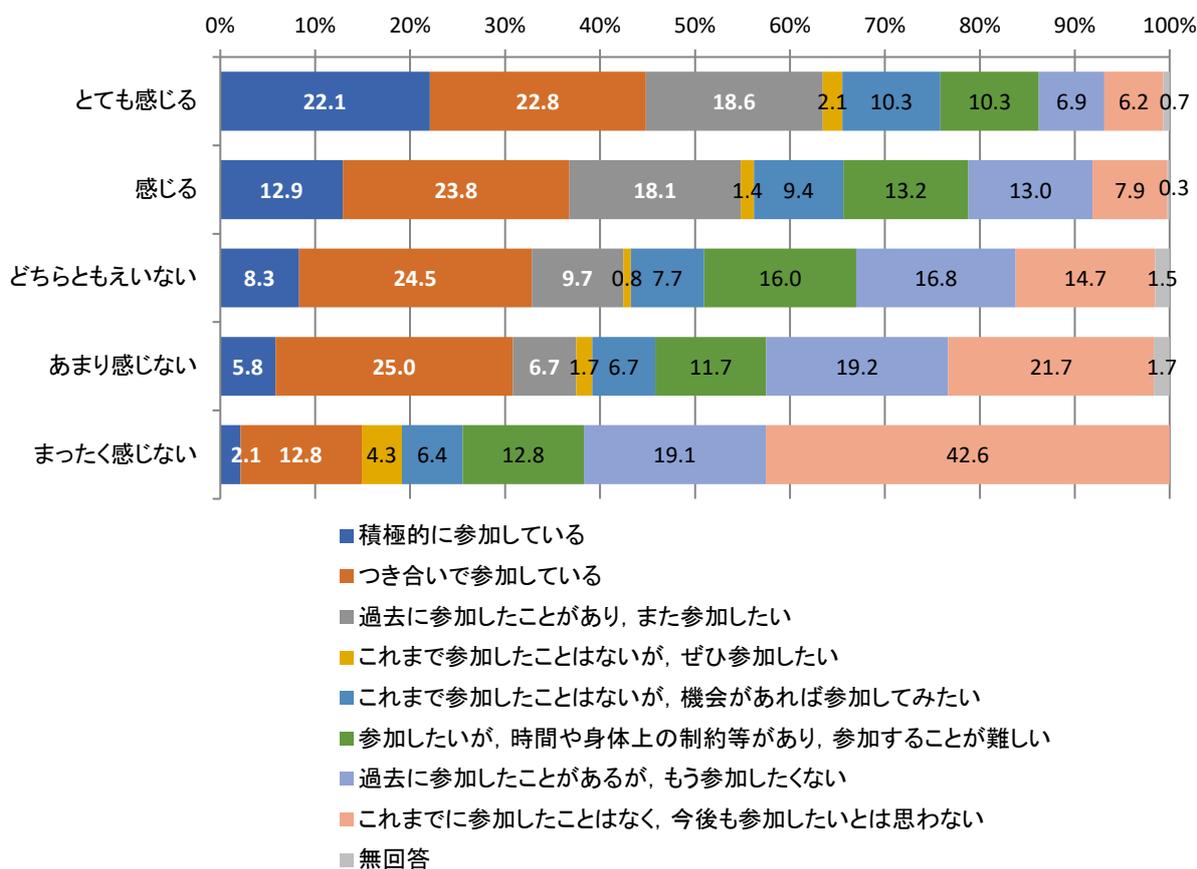
※誇りや愛着への想いの増減

・昨年度調査 (R1) との年齢別の回答の比較では、60歳未満の年代で市への誇りや愛着への想いの減少が見られ、特に「25～29歳」で減少が大きい。

【市への誇りや愛着の回答別の社会活動への参加に対する回答割合】

%	積極的に参加している	つき合いで参加している	過去に参加したことがあり、また参加したい	これまで参加したことはないが、ぜひ参加したい	これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい	参加したいが、時間や身体上の制約等があり、参加することが難しい	過去に参加したことがあるが、もう参加したくない	これまでに参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	無回答
総数	11.2%	23.4%	14.0%	1.3%	8.5%	13.7%	14.2%	11.9%	1.7%
とても感じる	22.1%	22.8%	18.6%	2.1%	10.3%	10.3%	6.9%	6.2%	0.7%
感じる	12.9%	23.8%	18.1%	1.4%	9.4%	13.2%	13.0%	7.9%	0.3%
どちらともえない	8.3%	24.5%	9.7%	0.8%	7.7%	16.0%	16.8%	14.7%	1.5%
あまり感じない	5.8%	25.0%	6.7%	1.7%	6.7%	11.7%	19.2%	21.7%	1.7%
まったく感じない	2.1%	12.8%	0.0%	4.3%	6.4%	12.8%	19.1%	42.6%	0.0%

・市への誇りや愛着を「とても感じる」と回答した方の22.1%が「積極的に参加している」と回答しており、市への誇りや愛着を感じるほど、社会活動へ積極的に参加している割合が高くなっている傾向がある。



問 18 あなたは、ひたちなか市について、友人、知人にどの程度おすすめできますか。次の項目について、あなたの考えに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

【NPS（ネットプロモータースコア）による分析結果】

ひたちなか市についての各項目について、周囲の人にすすめる可能性を0点～10点の11段階で答えてもらい、市に対する愛着の度合いを点数化。マーケティングの視点で評価を実施した。

【算出方法】 NPS＝推奨者の割合（％）－批判者の割合（％）

項目	←アンケート用紙より一部抜粋										
	おすすめできる					▲	おすすめできない				
1. 全般的によいまちであること	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
2. 買い物・遊びなどで訪れること	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

推奨者
中立者
批判者

※NPS 参考値(出展:NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社)
 銀行:業界平均値 -46.5 トップ-24.5 自動車:業界平均値 -25.2 トップ-0.3
 トラベル:業界平均値 -14.2 トップ-3.4 等

項目	NPS	推奨者	中立者	批判者	無回答	前回調査 (R1)
		10-9	8-7	6-0		
1. 全般的によいまちであること	-13.0	19.0%	43.8%	32.0%	5.1%	-26.2
2. 買い物・遊びなどで訪れること	-28.5	15.8%	33.8%	44.4%	6.0%	-40.7
3. 住むこと	-9.4	22.5%	40.2%	32.0%	5.3%	-18.7
4. 働くこと	-42.4	10.7%	29.2%	53.1%	7.1%	-45.6
5. 子育てすること	-40.5	10.3%	30.7%	50.8%	8.3%	-47.3
6. 仕事後の時間を楽しむこと	-59.3	6.1%	20.9%	65.4%	7.6%	-65.7
7. いろいろな人と交友を深めること	-62.2	5.5%	19.3%	67.7%	7.5%	-68.9
8. 趣味や教養を深めること	-62.4	5.3%	19.5%	67.7%	7.4%	-67.5
9. デートすること	-62.1	5.3%	17.8%	67.4%	9.5%	-65.5

■ひたちなか市 NPS について 結果まとめ

- ひたちなか市の各項目のNPSでは、「3 住むこと」が-9.4と最も高くなっている。
- 前回調査(R1)に比べ、すべての項目でNPSの数値が増加している。
- 市への愛着別の回答結果から、市への愛着を感じている人ほどNPSスコアが高くなっている。
- 「その他」の意見としては、おすすめできる項目として「災害が少ない」や「観光」等が挙げられていた。

【市への誇りや愛着の回答別のNPS（クロス分析）】

項目	NPS	市への愛着別 NPS の算出				
		とても感じる (総数 145)	感じる (総数 797)	どちらとも いえない (総数 518)	あまり感じ ない (総数 120)	まったく感 じない (総数 47)
1. 全般的によいまちであること	-13.0	59.3	8.9	-46.3	-70.8	-89.4
2. 買い物・遊びなどで訪れること	-28.5	15.2	-16.2	-49.8	-58.3	-72.3
3. 住むこと	-9.4	57.9	12.7	-44.2	-60.8	-76.6
4. 働くこと	-42.4	0.0	-28.7	-64.9	-75.8	-78.7
5. 子育てすること	-40.5	5.5	-24.3	-65.8	-79.2	-91.5
6. 仕事後の時間を楽しむこと	-59.3	-20.0	-52.6	-75.1	-79.2	-85.1
7. いろいろな人と交友を深めること	-62.2	-22.1	-56.7	-76.1	-83.3	-91.5
8. 趣味や教養を深めること	-62.4	-21.4	-57.0	-75.7	-86.7	-91.5
9. デートすること	-62.1	-26.9	-57.2	-73.7	-81.7	-95.7

※市への愛着別の回答割合の比較（R1 → R2 の増減）

項目	市への愛着別 NPS の増減				
	とても感じる	感じる	どちらとも いえない	あまり感じ ない	まったく感 じない
1. 全般的によいまちであること	30.2	22.2	12.7	5.5	5.6
2. 買い物・遊びなどで訪れること	17.2	16.9	11.2	19.0	22.7
3. 住むこと	18.0	19.4	6.7	9.3	8.4
4. 働くこと	8.1	10.2	0.6	3.6	1.3
5. 子育てすること	17.7	13.7	6.4	-5.0	3.5
6. 仕事後の時間を楽しむこと	20.5	9.3	4.6	6.4	14.9
7. いろいろな人と交友を深めること	21.8	8.9	6.8	4.3	8.5
8. 趣味や教養を深めること	16.4	6.9	6.6	2.0	3.5
9. デートすること	10.3	5.2	5.0	3.9	-0.7

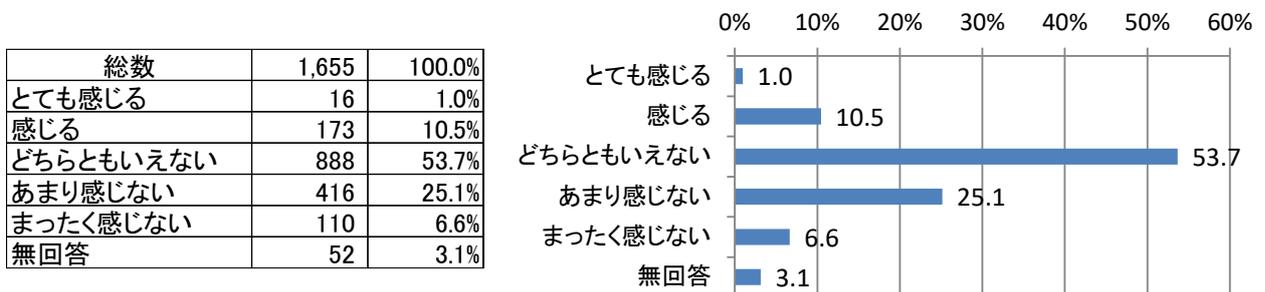
 NPS が 15 以上増加

- 前回調査との比較では市への愛着をととても感じると回答した方の NPS が大きく増加しており、全体の回答結果では市への誇りや愛着を感じるとの回答割合は減少しているが、市への誇りや愛着を感じている層の NPS が大きく増加していることから、全体の NPS は前回に比べ増加していると考えられる。

(5) まちづくりの達成度について

問 19 あなたは、ひたちなか市は、ライフステージ（年齢に伴い変化する生活）に応じた働く場の選択肢や働き方の多様性が充実していると感じますか。〔1つに〇〕

- ひたちなか市のライフステージに応じた働く場の選択肢や働き方の多様性の充実について、「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は全体の 11.5%となっており、「どちらともいえない」が 53.7%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は 31.7%となっている。
- 男女別の回答割合は全体とほぼ同じ傾向となっており、年齢別の回答では「40～44 歳」で「まったく感じない」「あまり感じない」の合計が 40.0%と最も高く、「45～49 歳」が 37.8%で続いている。

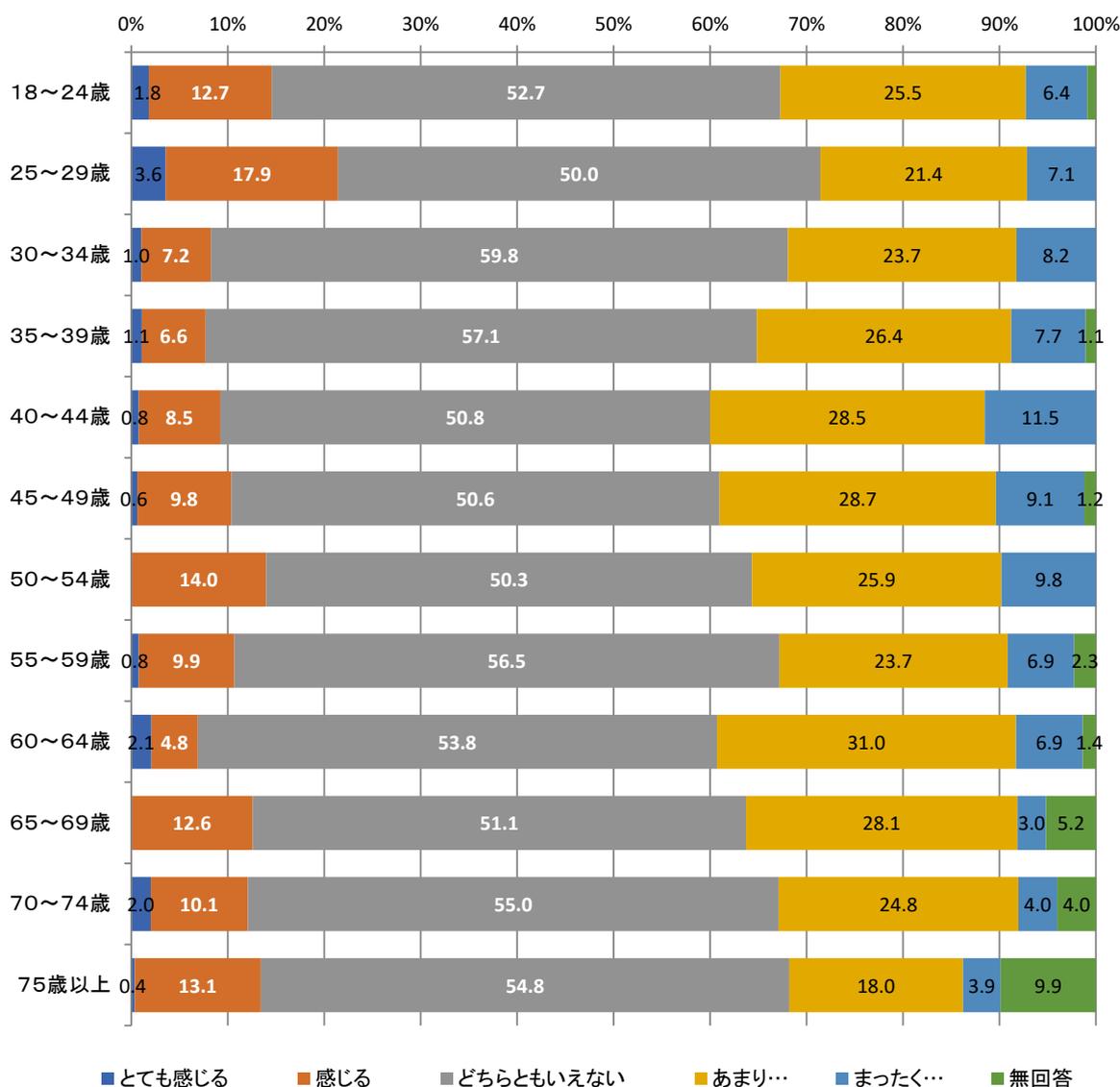


【男女別のライフステージに応じた働く場の選択肢や働き方の多様性への回答割合（クロス分析）】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	1.0%	10.5%	53.7%	25.1%	6.6%	3.1%
男性	0.9%	10.9%	54.3%	23.9%	7.8%	2.2%
女性	1.0%	10.1%	53.6%	25.8%	5.9%	3.6%

【年齢別のライフステージに応じた働く場の選択肢や働き方の多様性への回答割合（クロス分析）】

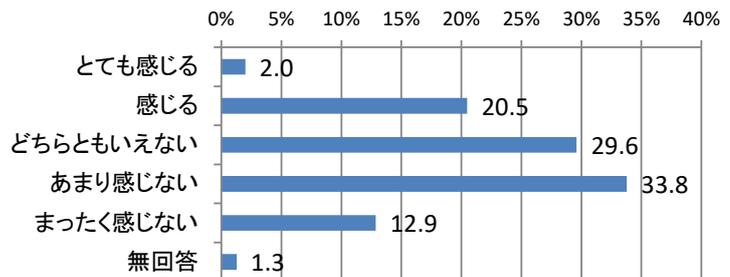
%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	1.0%	10.5%	53.7%	25.1%	6.6%	3.1%
18～24歳	1.8%	12.7%	52.7%	25.5%	6.4%	0.9%
25～29歳	3.6%	17.9%	50.0%	21.4%	7.1%	0.0%
30～34歳	1.0%	7.2%	59.8%	23.7%	8.2%	0.0%
35～39歳	1.1%	6.6%	57.1%	26.4%	7.7%	1.1%
40～44歳	0.8%	8.5%	50.8%	28.5%	11.5%	0.0%
45～49歳	0.6%	9.8%	50.6%	28.7%	9.1%	1.2%
50～54歳	0.0%	14.0%	50.3%	25.9%	9.8%	0.0%
55～59歳	0.8%	9.9%	56.5%	23.7%	6.9%	2.3%
60～64歳	2.1%	4.8%	53.8%	31.0%	6.9%	1.4%
65～69歳	0.0%	12.6%	51.1%	28.1%	3.0%	5.2%
70～74歳	2.0%	10.1%	55.0%	24.8%	4.0%	4.0%
75歳以上	0.4%	13.1%	54.8%	18.0%	3.9%	9.9%



問 20 あなたは、ひたちなか市は、鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすいまちだと感じますか。[1つに○]

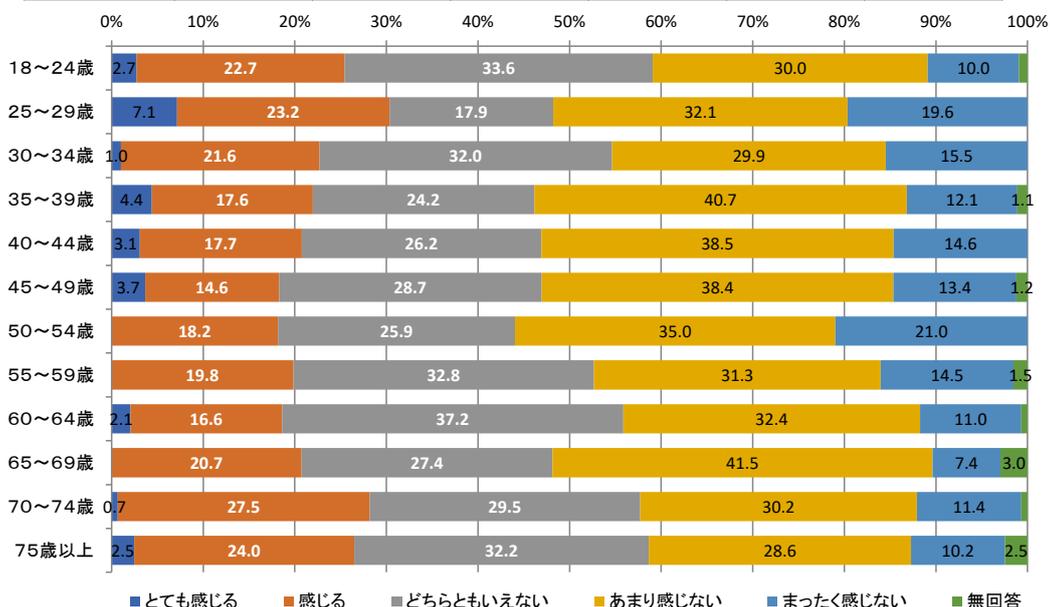
- ・ひたちなか市は公共交通機関が利用しやすいまちだと、「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は全体の 22.5%となっており、「どちらともいえない」が 29.6%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は 46.7%となっている。
- ・「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は年齢別では、「50～54 歳」で 56.0%と最も高く、地区別では「阿字ヶ浦中学区」が 68.0%と最も高くなっている。

総数	1,655	100.0%
とても感じる	33	2.0%
感じる	339	20.5%
どちらともいえない	490	29.6%
あまり感じない	559	33.8%
まったく感じない	213	12.9%
無回答	21	1.3%



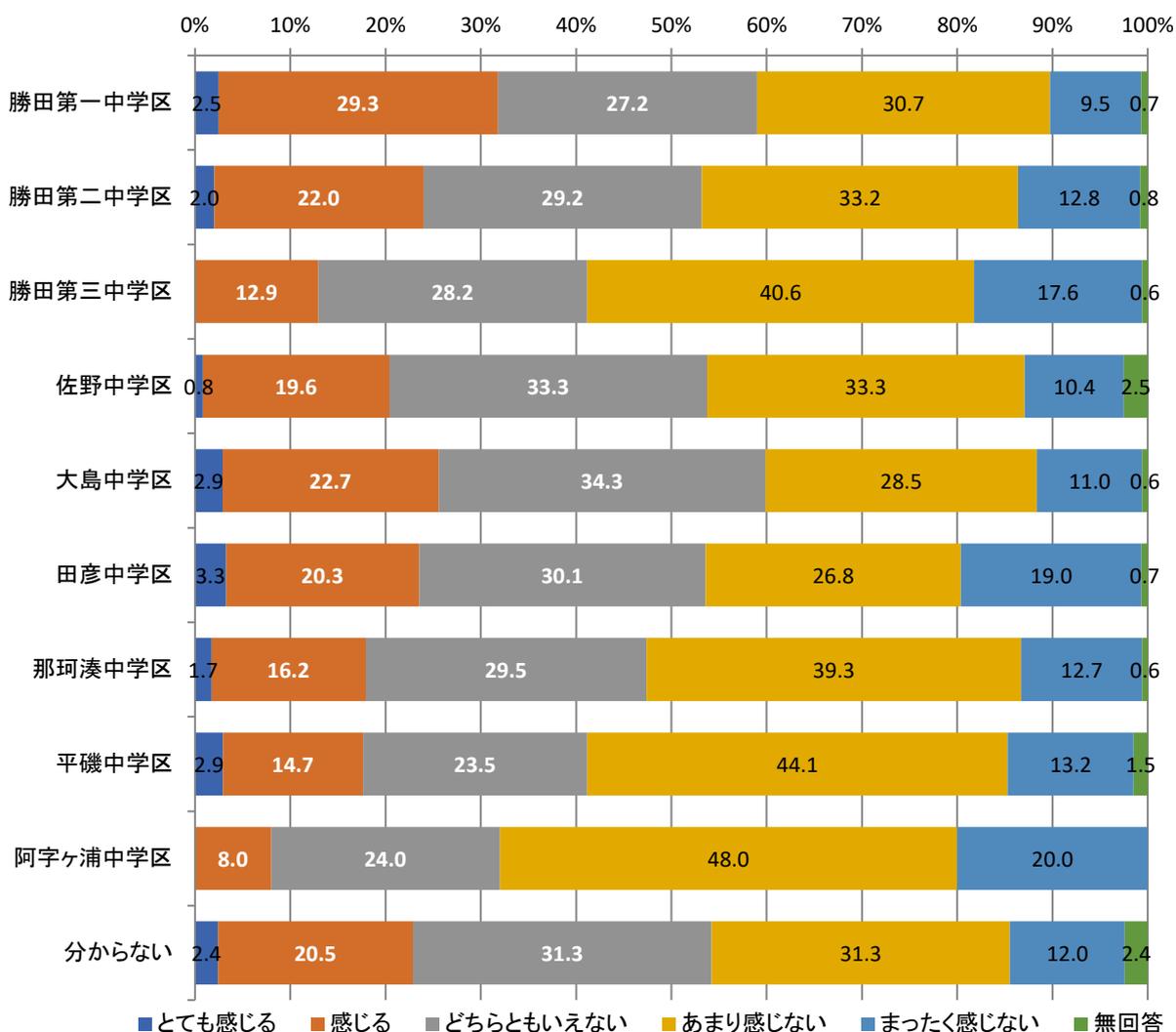
【年齢別の回答割合（クロス分析）】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	2.0%	20.5%	29.6%	33.8%	12.9%	1.3%
18～24歳	2.7%	22.7%	33.6%	30.0%	10.0%	0.9%
25～29歳	7.1%	23.2%	17.9%	32.1%	19.6%	0.0%
30～34歳	1.0%	21.6%	32.0%	29.9%	15.5%	0.0%
35～39歳	4.4%	17.6%	24.2%	40.7%	12.1%	1.1%
40～44歳	3.1%	17.7%	26.2%	38.5%	14.6%	0.0%
45～49歳	3.7%	14.6%	28.7%	38.4%	13.4%	1.2%
50～54歳	0.0%	18.2%	25.9%	35.0%	21.0%	0.0%
55～59歳	0.0%	19.8%	32.8%	31.3%	14.5%	1.5%
60～64歳	2.1%	16.6%	37.2%	32.4%	11.0%	0.7%
65～69歳	0.0%	20.7%	27.4%	41.5%	7.4%	3.0%
70～74歳	0.7%	27.5%	29.5%	30.2%	11.4%	0.7%
75歳以上	2.5%	24.0%	32.2%	28.6%	10.2%	2.5%



【地区別の回答割合（クロス分析）】

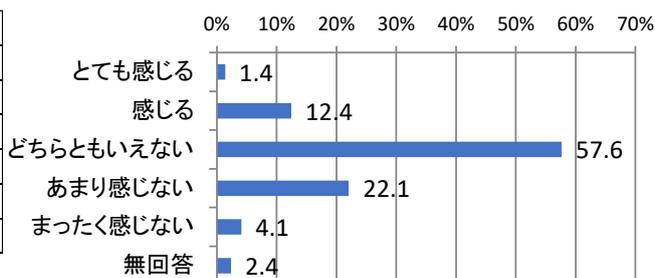
%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	2.0%	20.5%	29.6%	33.8%	12.9%	1.3%
勝田第一中学区	2.5%	29.3%	27.2%	30.7%	9.5%	0.7%
勝田第二中学区	2.0%	22.0%	29.2%	33.2%	12.8%	0.8%
勝田第三中学区	0.0%	12.9%	28.2%	40.6%	17.6%	0.6%
佐野中学区	0.8%	19.6%	33.3%	33.3%	10.4%	2.5%
大島中学区	2.9%	22.7%	34.3%	28.5%	11.0%	0.6%
田彦中学区	3.3%	20.3%	30.1%	26.8%	19.0%	0.7%
那珂湊中学区	1.7%	16.2%	29.5%	39.3%	12.7%	0.6%
平磯中学区	2.9%	14.7%	23.5%	44.1%	13.2%	1.5%
阿字ヶ浦中学区	0.0%	8.0%	24.0%	48.0%	20.0%	0.0%
分からない	2.4%	20.5%	31.3%	31.3%	12.0%	2.4%



問 21 あなたは、ひたちなか市は、障害のある人に対する差別や偏見がない「共生社会」が実現されていると感じますか [1つに○]

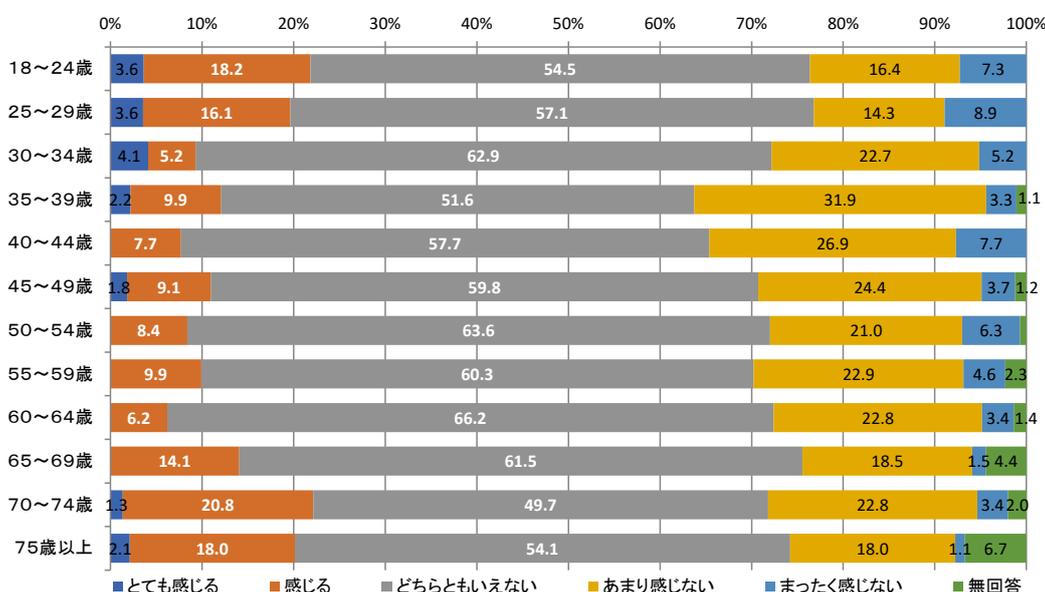
- ひたちなか市の「共生社会」が実現について、「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は全体の 13.8%となっており、「どちらともいえない」が 57.6%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は 26.2%となっている。
- 年齢別の回答では、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は「35～39 歳」が 35.2%で最も高く、「40～44 歳」が 34.6%で続いている。

総数	1,655	100.0%
とても感じる	23	1.4%
感じる	206	12.4%
どちらともいえない	954	57.6%
あまり感じない	365	22.1%
まったく感じない	68	4.1%
無回答	39	2.4%



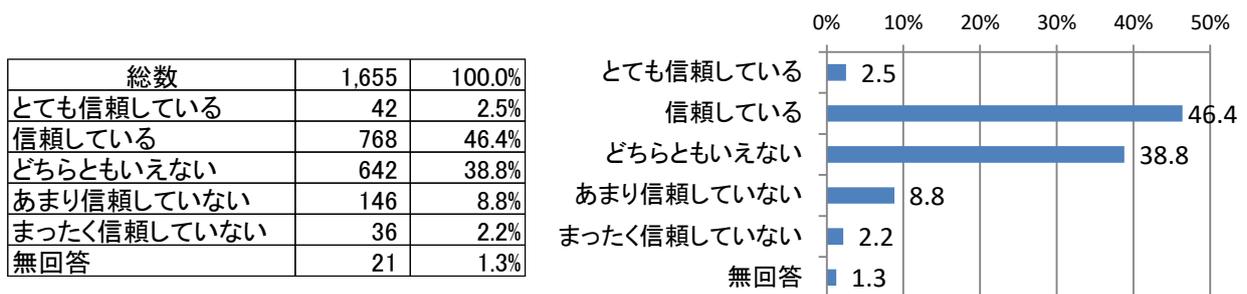
【年齢別の回答割合 (クロス分析)】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	1.4%	12.4%	57.6%	22.1%	4.1%	2.4%
18～24歳	3.6%	18.2%	54.5%	16.4%	7.3%	0.0%
25～29歳	3.6%	16.1%	57.1%	14.3%	8.9%	0.0%
30～34歳	4.1%	5.2%	62.9%	22.7%	5.2%	0.0%
35～39歳	2.2%	9.9%	51.6%	31.9%	3.3%	1.1%
40～44歳	0.0%	7.7%	57.7%	26.9%	7.7%	0.0%
45～49歳	1.8%	9.1%	59.8%	24.4%	3.7%	1.2%
50～54歳	0.0%	8.4%	63.6%	21.0%	6.3%	0.7%
55～59歳	0.0%	9.9%	60.3%	22.9%	4.6%	2.3%
60～64歳	0.0%	6.2%	66.2%	22.8%	3.4%	1.4%
65～69歳	0.0%	14.1%	61.5%	18.5%	1.5%	4.4%
70～74歳	1.3%	20.8%	49.7%	22.8%	3.4%	2.0%
75歳以上	2.1%	18.0%	54.1%	18.0%	1.1%	6.7%



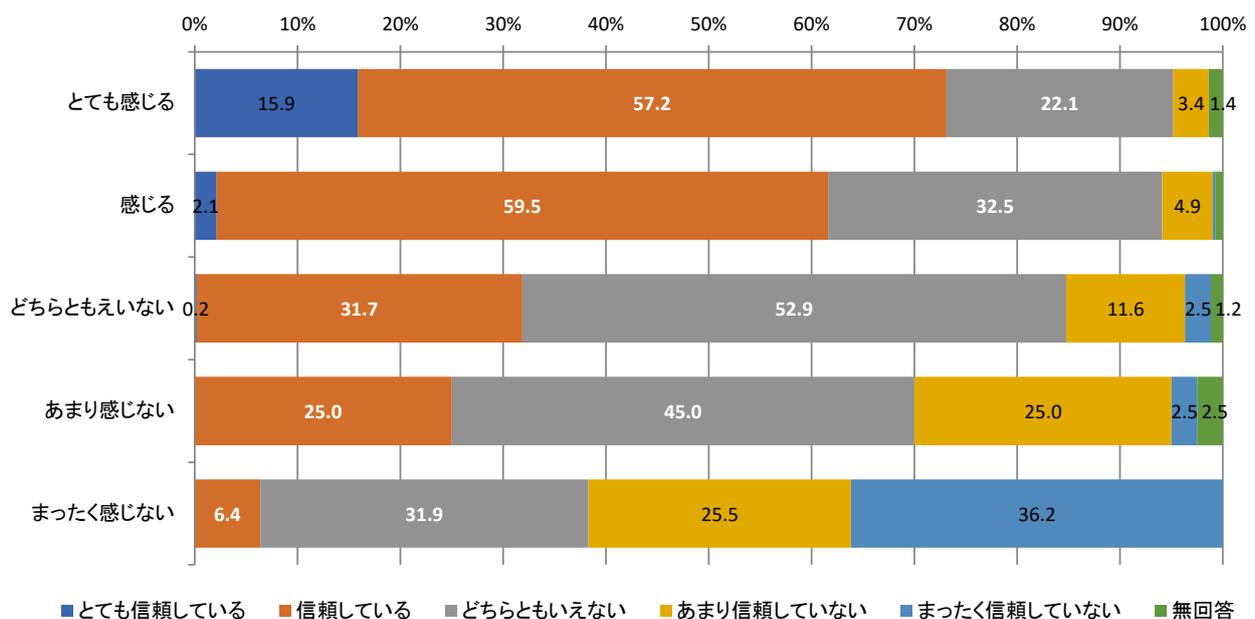
問22 あなたは、ひたちなか市の行政（市役所）について信頼していますか。[1つに〇]

- ・ひたちなか市の行政への信頼について、「とても信頼している」、「信頼している」と回答した方の合計は全体の48.9%となっており、「どちらともいえない」が38.8%、「まったく信頼していない」、「あまり信頼していない」の合計は11.0%となっている。
- ・年齢別の回答では「まったく信頼していない」、「あまり信頼していない」の合計は「35～39歳」が18.7%で最も大きく、「30～34歳」が14.4%で続いている。
- ・市への誇りや愛着を感じているほど行政への信頼も高くなっている。



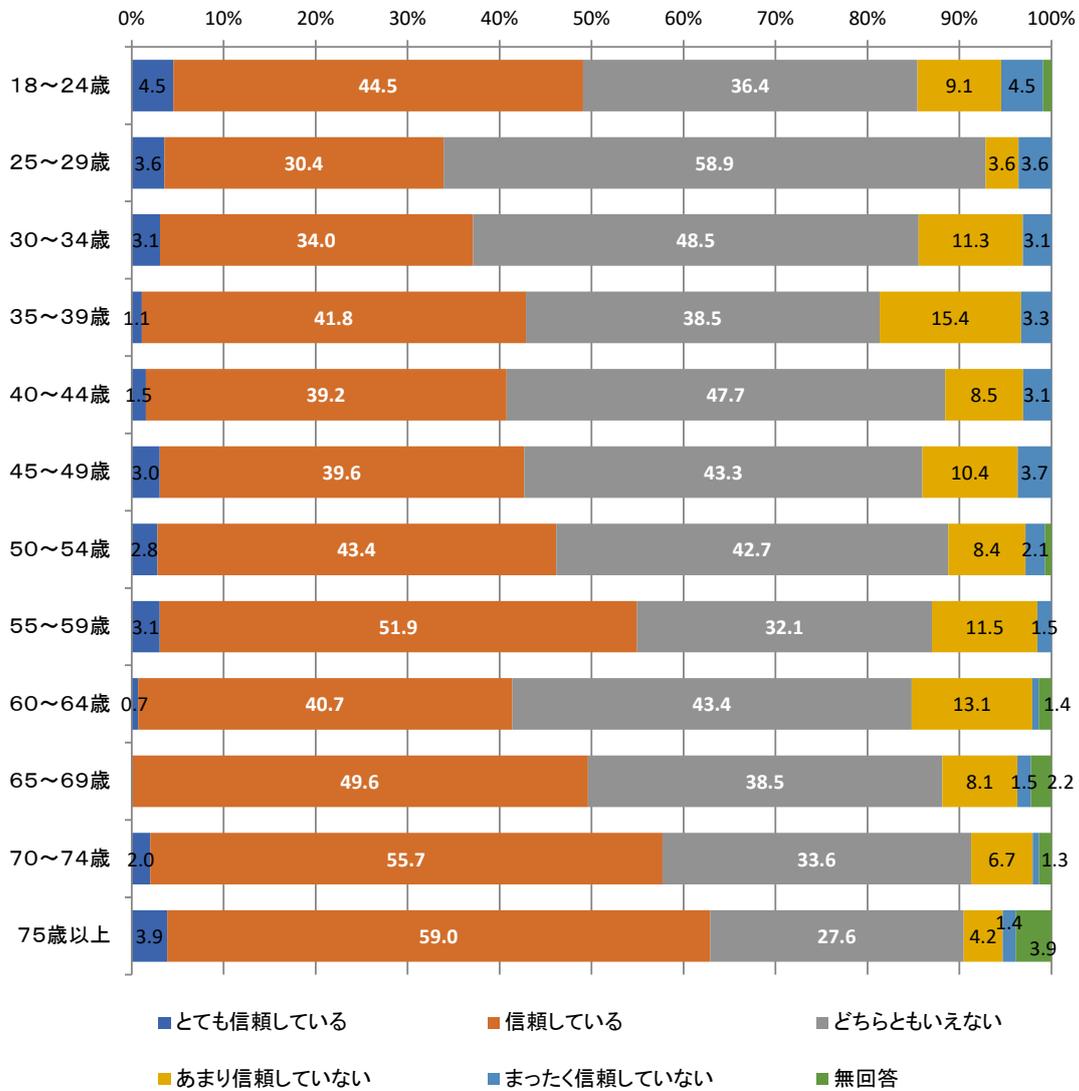
【市への誇りや愛着別の回答割合（クロス分析）】

%	とても信頼している	信頼している	どちらともいえない	あまり信頼していない	まったく信頼していない	無回答
総数	2.5%	46.4%	38.8%	8.8%	2.2%	1.3%
とても感じる	15.9%	57.2%	22.1%	3.4%	0.0%	1.4%
感じる	2.1%	59.5%	32.5%	4.9%	0.3%	0.8%
どちらともいえない	0.2%	31.7%	52.9%	11.6%	2.5%	1.2%
あまり感じない	0.0%	25.0%	45.0%	25.0%	2.5%	2.5%
まったく感じない	0.0%	6.4%	31.9%	25.5%	36.2%	0.0%



【年齢別の回答割合（クロス分析）】

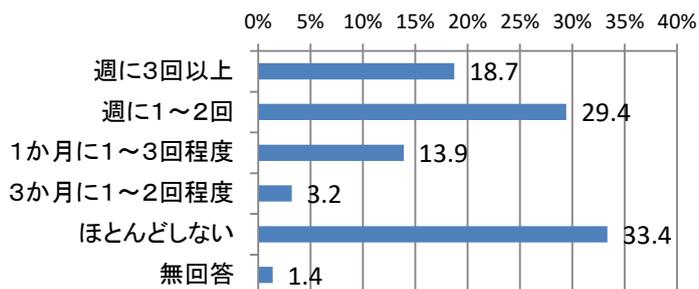
%	とても信頼している	信頼している	どちらともいえない	あまり信頼していない	まったく信頼していない	無回答
総数	2.5%	46.4%	38.8%	8.8%	2.2%	1.3%
18～24歳	4.5%	44.5%	36.4%	9.1%	4.5%	0.9%
25～29歳	3.6%	30.4%	58.9%	3.6%	3.6%	0.0%
30～34歳	3.1%	34.0%	48.5%	11.3%	3.1%	0.0%
35～39歳	1.1%	41.8%	38.5%	15.4%	3.3%	0.0%
40～44歳	1.5%	39.2%	47.7%	8.5%	3.1%	0.0%
45～49歳	3.0%	39.6%	43.3%	10.4%	3.7%	0.0%
50～54歳	2.8%	43.4%	42.7%	8.4%	2.1%	0.7%
55～59歳	3.1%	51.9%	32.1%	11.5%	1.5%	0.0%
60～64歳	0.7%	40.7%	43.4%	13.1%	0.7%	1.4%
65～69歳	0.0%	49.6%	38.5%	8.1%	1.5%	2.2%
70～74歳	2.0%	55.7%	33.6%	6.7%	0.7%	1.3%
75歳以上	3.9%	59.0%	27.6%	4.2%	1.4%	3.9%



問23 あなたは、どれくらい運動をしていますか。[1つに〇]

- 日々の運動について、「ほとんどしない」との回答が33.4%で最も多く、「週に1～2回」が29.4%、「週に3回以上」が18.7%で続いている。
- 男女別の回答では、「週に3回以上」の運動をしているのは男性が22.6%と女性より多く、「ほとんどしない」は女性が39.1%と男性より多くなっている。
- 年齢別の回答では、「ほとんどしない」の回答は「50～54歳」46.9%で最も高く、「40～44歳」が45.4%で続いている。

	総数	割合
週に3回以上	310	18.7%
週に1～2回	487	29.4%
1か月に1～3回程度	230	13.9%
3か月に1～2回程度	53	3.2%
ほとんどしない	552	33.4%
無回答	23	1.4%

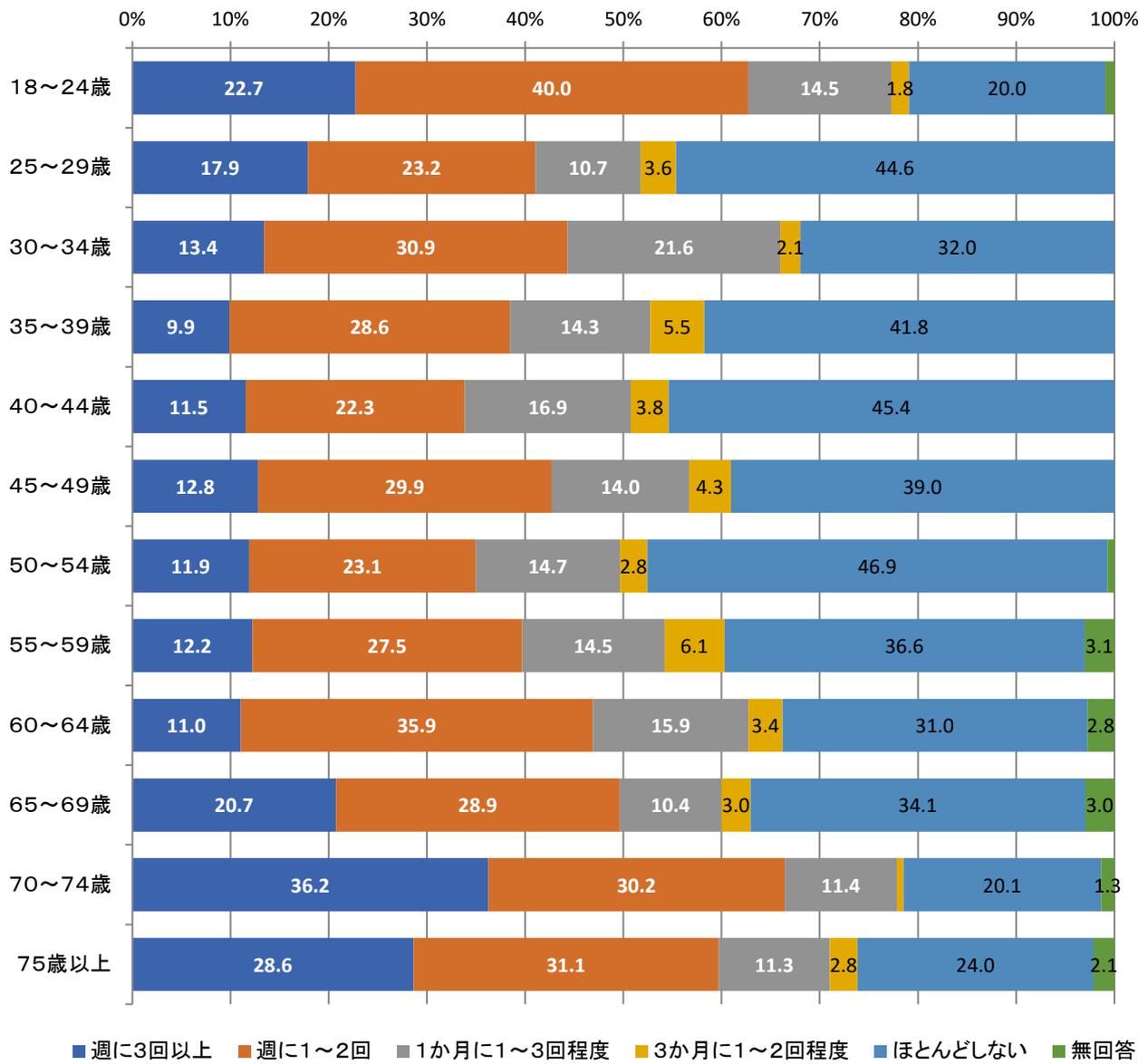


【男女別の回答割合（クロス分析）】

%	週に3回以上	週に1～2回	1か月に1～3回程度	3か月に1～2回程度	ほとんどしない	無回答
総数	18.7%	29.4%	13.9%	3.2%	33.4%	1.4%
男性	22.6%	30.5%	15.1%	4.4%	26.3%	1.1%
女性	15.2%	28.9%	13.1%	2.3%	39.1%	1.5%

【年齢別の回答割合（クロス分析）】

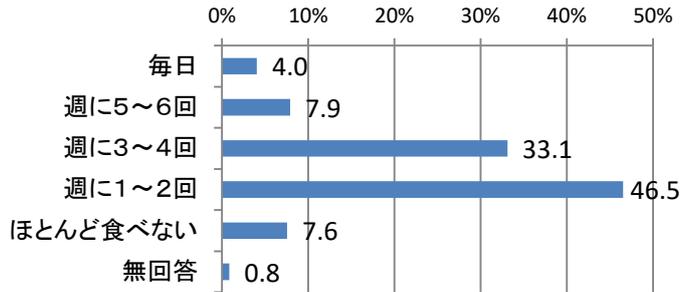
%	週に3回以上	週に1～2回	1か月に1～3回程度	3か月に1～2回程度	ほとんどしない	無回答
総数	18.7%	29.4%	13.9%	3.2%	33.4%	1.4%
18～24歳	22.7%	40.0%	14.5%	1.8%	20.0%	0.9%
25～29歳	17.9%	23.2%	10.7%	3.6%	44.6%	0.0%
30～34歳	13.4%	30.9%	21.6%	2.1%	32.0%	0.0%
35～39歳	9.9%	28.6%	14.3%	5.5%	41.8%	0.0%
40～44歳	11.5%	22.3%	16.9%	3.8%	45.4%	0.0%
45～49歳	12.8%	29.9%	14.0%	4.3%	39.0%	0.0%
50～54歳	11.9%	23.1%	14.7%	2.8%	46.9%	0.7%
55～59歳	12.2%	27.5%	14.5%	6.1%	36.6%	3.1%
60～64歳	11.0%	35.9%	15.9%	3.4%	31.0%	2.8%
65～69歳	20.7%	28.9%	10.4%	3.0%	34.1%	3.0%
70～74歳	36.2%	30.2%	11.4%	0.7%	20.1%	1.3%
75歳以上	28.6%	31.1%	11.3%	2.8%	24.0%	2.1%



問 24 あなたは、週にどの程度、自宅で魚介類を食べる機会がありますか。[1つに〇]

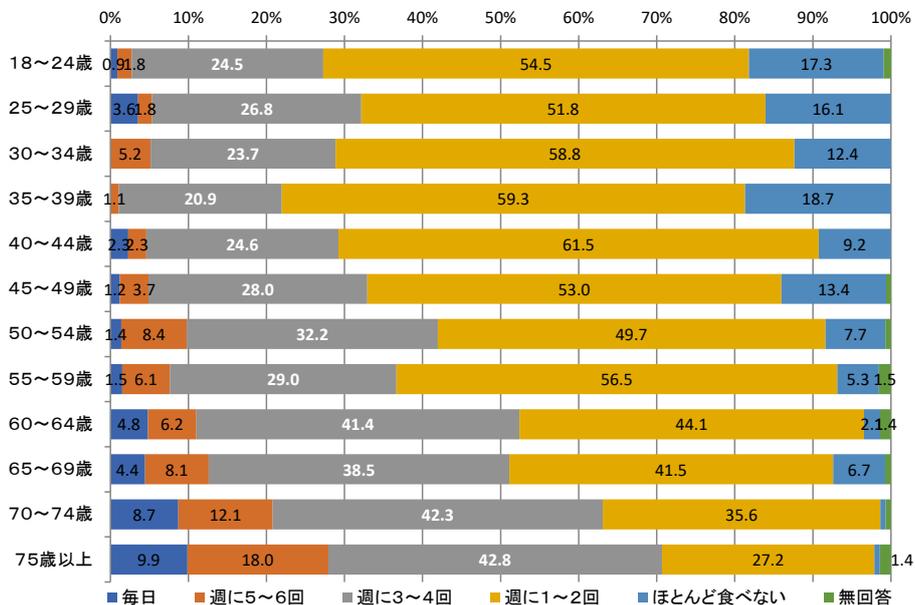
- 自宅で魚介類を食べる機会について、「週に1～2回」が最も多く46.5%、「週に3～4回」が33.1%、「週に5～6回」が7.9%で続いている。
- 年齢別の回答では、「ほとんど食べない」との回答は「35～39歳」で最も多く、39歳未満で高い傾向にある。地区別の回答では「阿字ヶ浦中学校」で「毎日」、「ほとんど食べない」共に最も多くなっている。

総数	1,655	100.0%
毎日	67	4.0%
週に5～6回	131	7.9%
週に3～4回	548	33.1%
週に1～2回	770	46.5%
ほとんど食べない	125	7.6%
無回答	14	0.8%



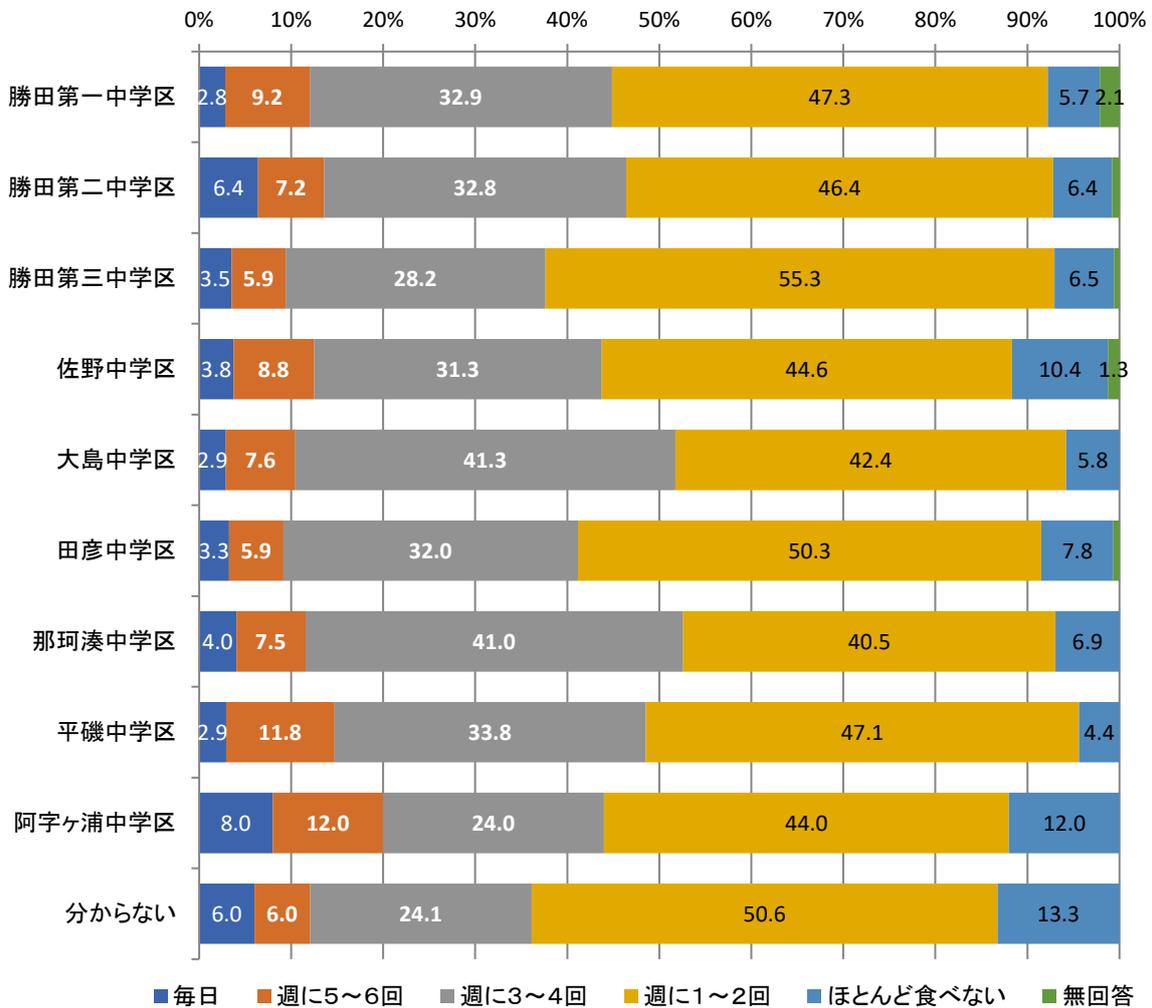
【年齢別の回答割合（クロス分析）】

%	毎日	週に5～6回	週に3～4回	週に1～2回	ほとんど食べない	無回答
総数	4.0%	7.9%	33.1%	46.5%	7.6%	0.8%
18～24歳	0.9%	1.8%	24.5%	54.5%	17.3%	0.9%
25～29歳	3.6%	1.8%	26.8%	51.8%	16.1%	0.0%
30～34歳	0.0%	5.2%	23.7%	58.8%	12.4%	0.0%
35～39歳	0.0%	1.1%	20.9%	59.3%	18.7%	0.0%
40～44歳	2.3%	2.3%	24.6%	61.5%	9.2%	0.0%
45～49歳	1.2%	3.7%	28.0%	53.0%	13.4%	0.6%
50～54歳	1.4%	8.4%	32.2%	49.7%	7.7%	0.7%
55～59歳	1.5%	6.1%	29.0%	56.5%	5.3%	1.5%
60～64歳	4.8%	6.2%	41.4%	44.1%	2.1%	1.4%
65～69歳	4.4%	8.1%	38.5%	41.5%	6.7%	0.7%
70～74歳	8.7%	12.1%	42.3%	35.6%	0.7%	0.7%
75歳以上	9.9%	18.0%	42.8%	27.2%	0.7%	1.4%



【地区別の回答割合（クロス分析）】

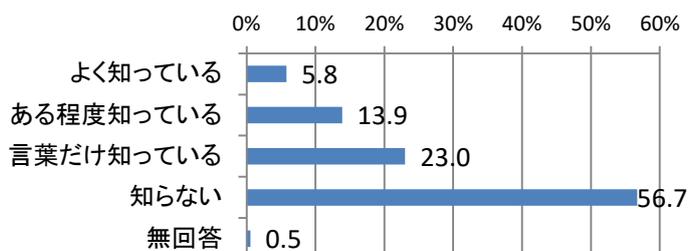
%	毎日	週に5～6回	週に3～4回	週に1～2回	ほとんど食べない	無回答
総数	4.0%	7.9%	33.1%	46.5%	7.6%	0.8%
勝田第一中学区	2.8%	9.2%	32.9%	47.3%	5.7%	2.1%
勝田第二中学区	6.4%	7.2%	32.8%	46.4%	6.4%	0.8%
勝田第三中学区	3.5%	5.9%	28.2%	55.3%	6.5%	0.6%
佐野中学区	3.8%	8.8%	31.3%	44.6%	10.4%	1.3%
大島中学区	2.9%	7.6%	41.3%	42.4%	5.8%	0.0%
田彦中学区	3.3%	5.9%	32.0%	50.3%	7.8%	0.7%
那珂湊中学区	4.0%	7.5%	41.0%	40.5%	6.9%	0.0%
平磯中学区	2.9%	11.8%	33.8%	47.1%	4.4%	0.0%
阿字ヶ浦中学区	8.0%	12.0%	24.0%	44.0%	12.0%	0.0%
分からない	6.0%	6.0%	24.1%	50.6%	13.3%	0.0%



問 25 あなたは、「地域包括支援センター（おとしより相談センター）」を知っていますか。
[1つに〇]

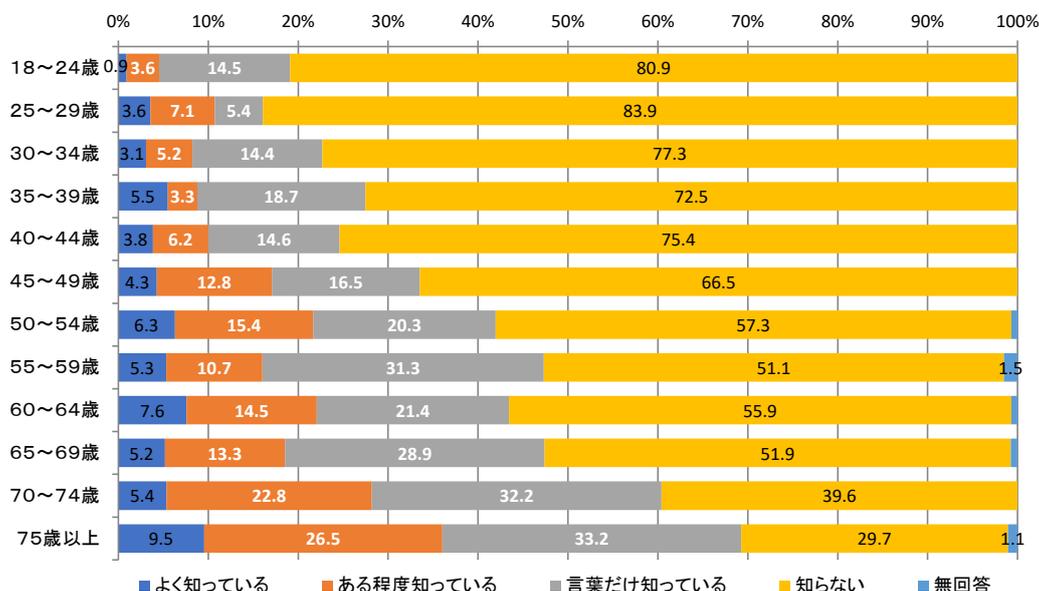
- ・ひたちなか市の「地域包括支援センター（おとしより相談センター）」の認知度について、「知らない」との回答が56.7%で最も多く、「言葉だけ知っている」が23.0%で続いている。
- ・年齢別の回答では、「25～29歳」で「知らない」との回答が83.9%で最も多く、若年層で認知度が低くなっている。地区別の回答では「知らない」は「勝田第三中学区」が60.6%と多い。

総数	1,655	100.0%
よく知っている	96	5.8%
ある程度知っている	230	13.9%
言葉だけ知っている	381	23.0%
知らない	939	56.7%
無回答	9	0.5%



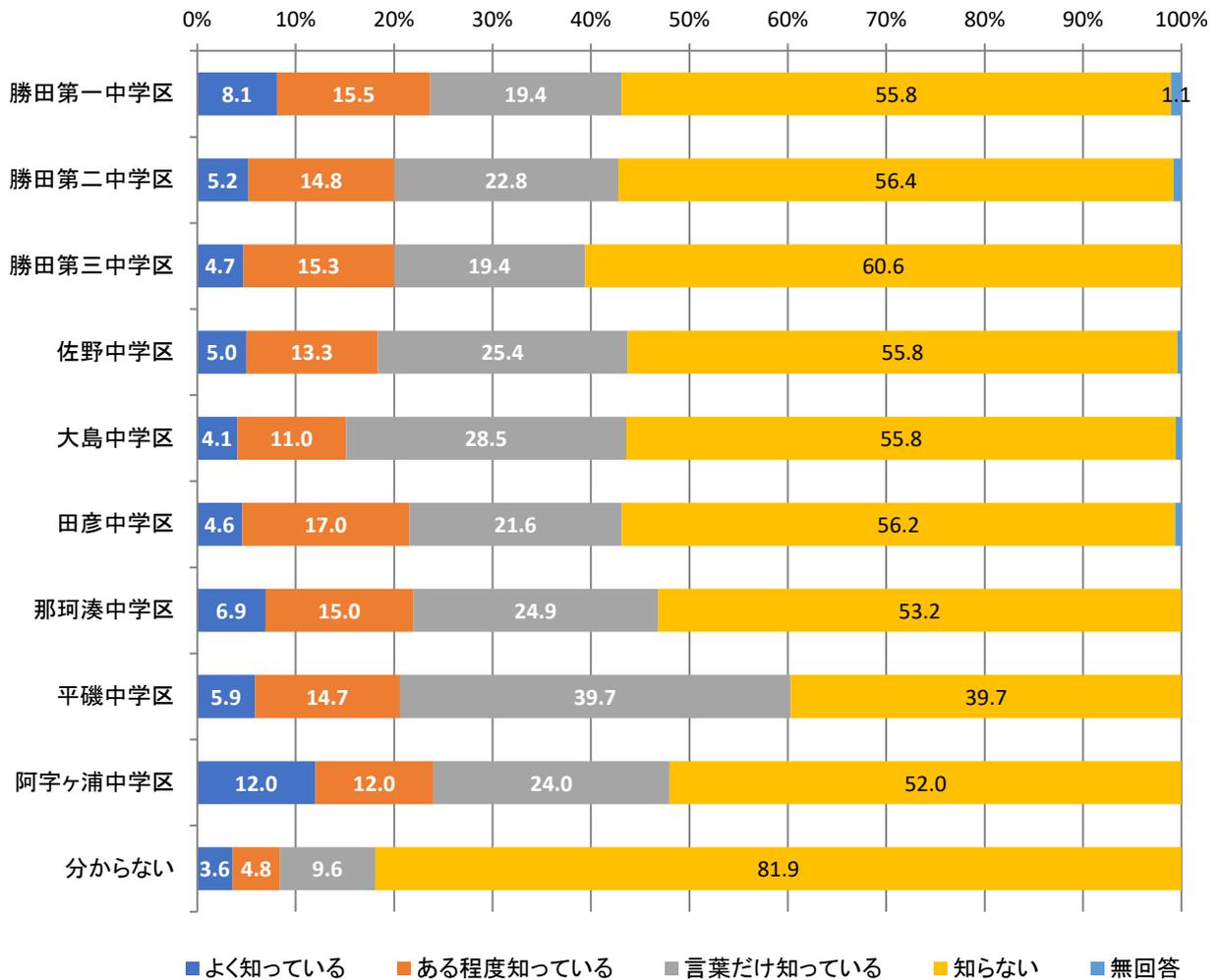
【年齢別の回答割合（クロス分析）】

%	よく知っている	ある程度知っ ている	言葉だけ知っ ている	知らない	無回答
総数	5.8%	13.9%	23.0%	56.7%	0.5%
18～24歳	0.9%	3.6%	14.5%	80.9%	0.0%
25～29歳	3.6%	7.1%	5.4%	83.9%	0.0%
30～34歳	3.1%	5.2%	14.4%	77.3%	0.0%
35～39歳	5.5%	3.3%	18.7%	72.5%	0.0%
40～44歳	3.8%	6.2%	14.6%	75.4%	0.0%
45～49歳	4.3%	12.8%	16.5%	66.5%	0.0%
50～54歳	6.3%	15.4%	20.3%	57.3%	0.7%
55～59歳	5.3%	10.7%	31.3%	51.1%	1.5%
60～64歳	7.6%	14.5%	21.4%	55.9%	0.7%
65～69歳	5.2%	13.3%	28.9%	51.9%	0.7%
70～74歳	5.4%	22.8%	32.2%	39.6%	0.0%
75歳以上	9.5%	26.5%	33.2%	29.7%	1.1%



【地区別の回答割合（クロス分析）】

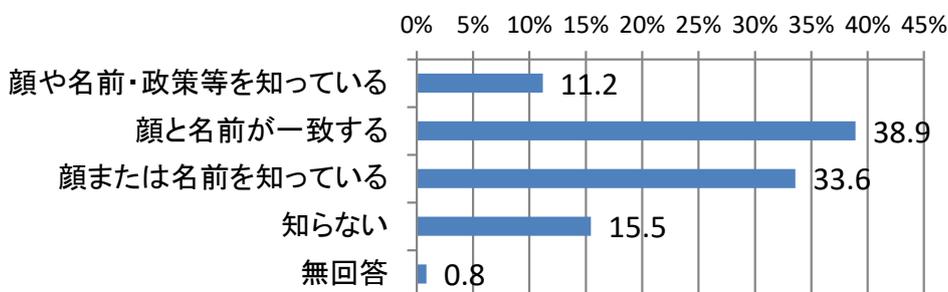
%	よく知っている	ある程度知っている	言葉だけ知っている	知らない	無回答
総数	5.8%	13.9%	23.0%	56.7%	0.5%
勝田第一中学区	8.1%	15.5%	19.4%	55.8%	1.1%
勝田第二中学区	5.2%	14.8%	22.8%	56.4%	0.8%
勝田第三中学区	4.7%	15.3%	19.4%	60.6%	0.0%
佐野中学区	5.0%	13.3%	25.4%	55.8%	0.4%
大島中学区	4.1%	11.0%	28.5%	55.8%	0.6%
田彦中学区	4.6%	17.0%	21.6%	56.2%	0.7%
那珂湊中学区	6.9%	15.0%	24.9%	53.2%	0.0%
平磯中学区	5.9%	14.7%	39.7%	39.7%	0.0%
阿字ヶ浦中学区	12.0%	12.0%	24.0%	52.0%	0.0%
分からない	3.6%	4.8%	9.6%	81.9%	0.0%



問 26 あなたは、「ひたちなか市長」を知っていますか。[1つに〇]

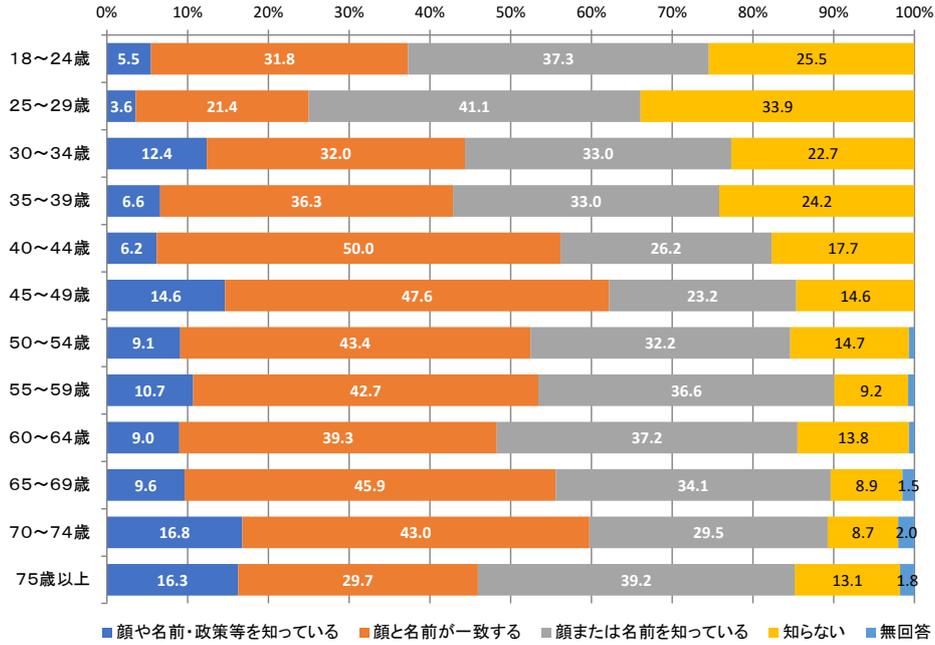
- 「ひたちなか市長」について、「顔と名前が一致する」が 38.9%で最も多く、「顔または名前を知っている」が 33.6%で続いている。
- 年齢別では「25～29歳」で「知らない」の回答が 33.9%と最も多く、39歳未満の若年層で認知度が低くなっている。
- 市長への認知が大きいほど、行政への信頼も強くなっている。

総数	1,655	100.0%
顔や名前・政策等を知っている	185	11.2%
顔と名前が一致する	644	38.9%
顔または名前を知っている	556	33.6%
知らない	256	15.5%
無回答	14	0.8%



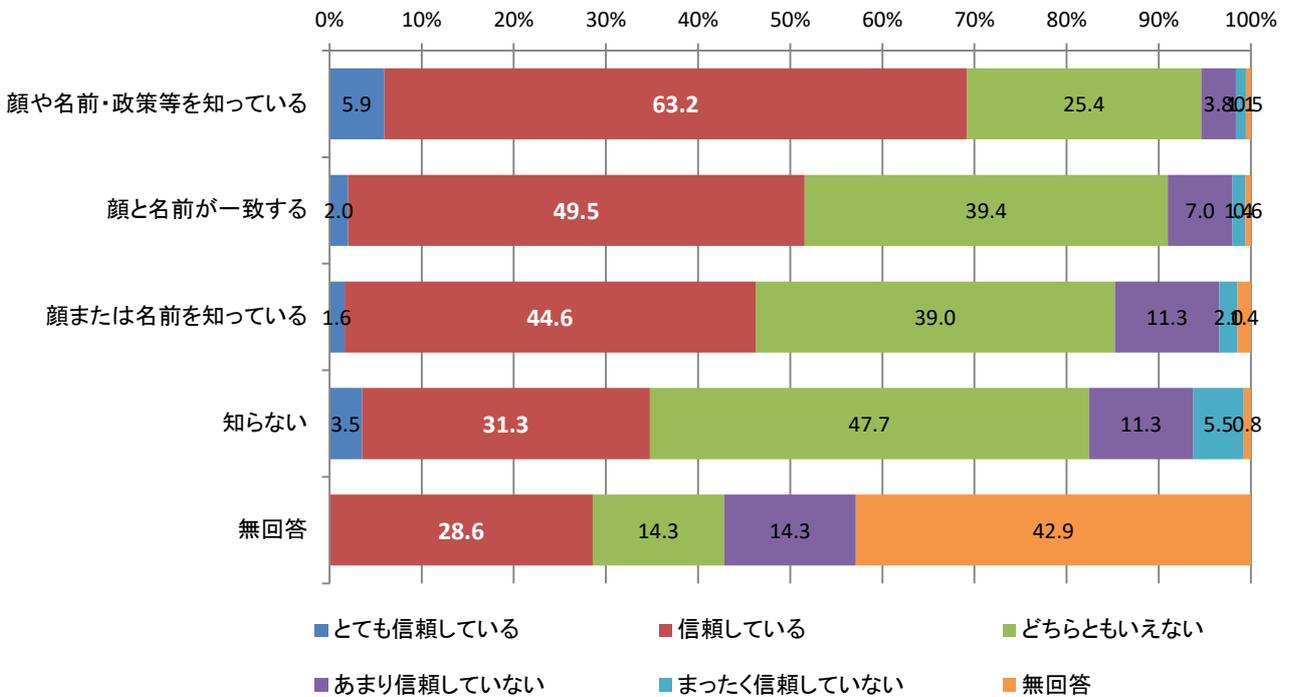
【年齢別の回答割合（クロス分析）】

%	顔や名前・政策等を知っている	顔と名前が一致する	顔または名前を知っている	知らない	無回答
総数	11.2%	38.9%	33.6%	15.5%	0.8%
18～24歳	5.5%	31.8%	37.3%	25.5%	0.0%
25～29歳	3.6%	21.4%	41.1%	33.9%	0.0%
30～34歳	12.4%	32.0%	33.0%	22.7%	0.0%
35～39歳	6.6%	36.3%	33.0%	24.2%	0.0%
40～44歳	6.2%	50.0%	26.2%	17.7%	0.0%
45～49歳	14.6%	47.6%	23.2%	14.6%	0.0%
50～54歳	9.1%	43.4%	32.2%	14.7%	0.7%
55～59歳	10.7%	42.7%	36.6%	9.2%	0.8%
60～64歳	9.0%	39.3%	37.2%	13.8%	0.7%
65～69歳	9.6%	45.9%	34.1%	8.9%	1.5%
70～74歳	16.8%	43.0%	29.5%	8.7%	2.0%
75歳以上	16.3%	29.7%	39.2%	13.1%	1.8%



【市長の認知度別の行政への信頼について（クロス分析）】

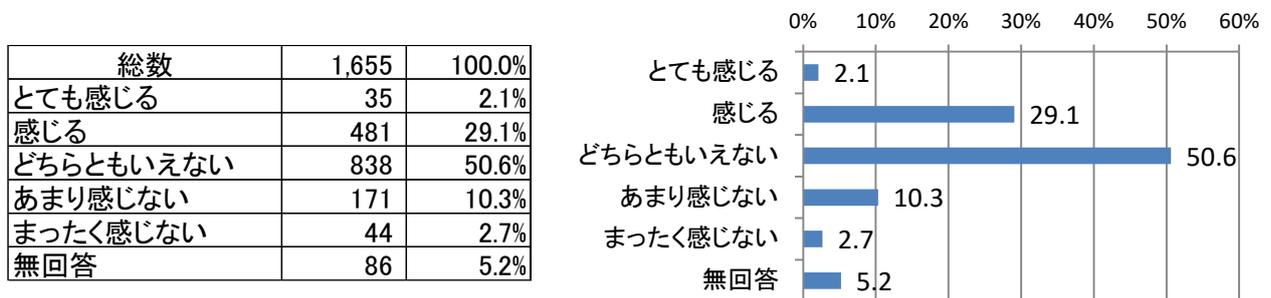
%	とても信頼している	信頼している	どちらともいえない	あまり信頼していない	まったく信頼していない	無回答
総数	2.5%	46.4%	38.8%	8.8%	2.2%	1.3%
顔や名前・政策等を知っている	5.9%	63.2%	25.4%	3.8%	1.1%	0.5%
顔と名前が一致する	2.0%	49.5%	39.4%	7.0%	1.4%	0.6%
顔または名前を知っている	1.6%	44.6%	39.0%	11.3%	2.0%	1.4%
知らない	3.5%	31.3%	47.7%	11.3%	5.5%	0.8%



(6) ひたちなか市の子育て・教育環境等のイメージについて

問27 あなたは、ひたちなか市は「子育てしやすいまち」だと感じますか。[1つに〇]

- ・ひたちなか市が「子育てしやすいまち」だと「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は31.2%、「どちらともいえない」が50.6%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は13.0%となっている。
- ・男女別の回答では女性の方が「とても感じる」、「感じる」の合計は34.2%と男性より高い。
- ・年齢別の回答では、「とても感じる」、「感じる」の合計が最も多かったのは「50～54歳」で37.8%、「75歳以上」が37.4%で続いており、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計では「30～34歳」が23.7%で最多、「40～44歳」が19.2%で続いている。



【男女別の回答割合（クロス分析）】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	2.1%	29.1%	50.6%	10.3%	2.7%	5.2%
男性	1.2%	26.5%	54.7%	10.1%	2.7%	4.8%
女性	2.9%	31.3%	47.9%	10.1%	2.6%	5.2%

【年齢別の回答割合（クロス分析）】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	2.1%	29.1%	50.6%	10.3%	2.7%	5.2%
18～24歳	0.9%	28.2%	58.2%	6.4%	4.5%	1.8%
25～29歳	3.6%	17.9%	57.1%	10.7%	7.1%	3.6%
30～34歳	2.1%	26.8%	45.4%	16.5%	7.2%	2.1%
35～39歳	3.3%	25.3%	51.6%	15.4%	3.3%	1.1%
40～44歳	3.8%	28.5%	46.2%	13.8%	5.4%	2.3%
45～49歳	4.9%	30.5%	45.7%	16.5%	1.8%	0.6%
50～54歳	2.1%	35.7%	44.1%	11.2%	3.5%	3.5%
55～59歳	0.0%	23.7%	62.6%	9.2%	1.5%	3.1%
60～64歳	1.4%	24.8%	59.3%	9.0%	1.4%	4.1%
65～69歳	1.5%	25.9%	53.3%	10.4%	2.2%	6.7%
70～74歳	0.7%	30.9%	53.7%	6.7%	0.7%	7.4%
75歳以上	2.1%	35.3%	44.2%	4.9%	0.4%	13.1%

問28 あなたがイメージする「子育てしやすく、住みたいまち」の順番に○をつけてください。
[1つに○]

- ・「子育てしやすく、住みたいまち」の1位では「ひたちなか市」が33.1%で最も選択されており、「つくば市」が23.9%で続いている。
- ・各順位の回答の合計得点でも「ひたちなか市」が最も多く2,721点、「つくば市」が1,825点、「水戸市」が1,697点で続いている。
- ・年代別の回答では、34歳未満の若い層は「つくば市」を、「35歳～44歳」は東海村を、「45歳以上」は「ひたちなか市」を1位と回答する割合が多くなっており、「30～34歳」が最も「ひたちなか市」の回答割合が低かった。

「1位」の回答を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として市町村別に得点を集計し、各項目で平均点（総数：1655）を算出した。

市町村	得点	平均得点 得点÷総数	回答割合
			1位
ひたちなか市	2,721	1.64	33.1%
つくば市	1,825	1.10	23.9%
水戸市	1,697	1.03	10.5%
東海村	1,278	0.77	15.7%
日立市	532	0.32	3.4%
那珂市	522	0.32	2.1%

【年齢別の1位の市町村の回答割合（クロス分析）】

%	ひたちなか市	水戸市	那珂市	東海村	日立市	つくば市	無回答
総数	33.1%	10.5%	2.1%	15.7%	3.4%	23.9%	11.4%
18～24歳	28.2%	20.0%	2.7%	18.2%	0.0%	28.2%	2.7%
25～29歳	23.2%	14.3%	3.6%	14.3%	8.9%	26.8%	8.9%
30～34歳	20.6%	11.3%	1.0%	17.5%	5.2%	38.1%	6.2%
35～39歳	24.2%	11.0%	1.1%	24.2%	9.9%	19.8%	9.9%
40～44歳	29.2%	11.5%	1.5%	30.0%	2.3%	19.2%	6.2%
45～49歳	27.4%	11.0%	2.4%	25.0%	2.4%	26.2%	5.5%
50～54歳	31.5%	6.3%	2.8%	19.6%	4.2%	30.1%	5.6%
55～59歳	32.1%	14.5%	4.6%	9.9%	2.3%	31.3%	5.3%
60～64歳	31.0%	7.6%	2.8%	13.8%	5.5%	29.0%	10.3%
65～69歳	41.5%	11.1%	1.5%	8.9%	0.7%	20.7%	15.6%
70～74歳	47.0%	6.7%	0.7%	11.4%	3.4%	13.4%	17.4%
75歳以上	41.0%	9.2%	1.1%	6.7%	2.1%	16.3%	23.7%

 各年代での最多回答

問 29 あなたがイメージする「子育てしやすく、住みたいまち」に必要なと思う要素を3つ選び、順番に○をつけてください。[1つに○]

- ・「子育てしやすく、住みたいまち」に必要な要素の1位では「小児科、休日や夜間の診療などの医療体制の充実」が18.8%で最も選択されており、「所得制限のない18歳までの給付など子どもの医療費助成の充実」が11.9%で続いている。
- ・各順位の回答の合計得点でも「小児科、休日や夜間の診療などの医療体制の充実」が最も多く1,437点、「所得制限のない18歳までの給付など子どもの医療費助成の充実」が929点、「保育所や一時保育などの保育サービスの充実」が863点で続いている。

「1位」の回答を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として要素別に得点を集計し、各項目で平均点（総数：1655）を算出した。

要素	得点	平均得点 得点÷総数	回答割合
			1位
小児科、休日や夜間の診療などの医療体制の充実	1,437	0.87	18.8%
所得制限のない18歳までの給付など子どもの医療費助成の充実	929	0.56	11.9%
保育所や一時保育などの保育サービスの充実	863	0.52	8.5%
子育て中の女性が働きやすい環境の充実	748	0.45	7.3%
妊婦健康診査、育児相談など母子の健康づくりの支援の充実	698	0.42	8.2%
保育料や給食費の補助制度の充実	478	0.29	3.9%
子育てと仕事の両立や若者への理解など地域の寛容性	392	0.24	4.0%
公園など遊び場環境の充実	367	0.22	2.4%
特色ある教育プログラムなど義務教育環境(小学校、中学校)	340	0.21	3.0%
学力の高い高校や大学などの教育施設の立地	332	0.20	3.1%
子どもを連れての買い物など日常で気持ちよく暮らせる環境	323	0.20	2.4%
首都圏へのアクセス性など通学・通勤の選択肢が充実	294	0.18	1.9%
子育て世帯への住宅取得費の支援などの充実	291	0.18	2.5%
地域での見守りなどの防犯対策の充実	271	0.16	2.4%
子どもへの交通安全対策の充実	209	0.13	1.8%
子育て支援拠点(ふぁみりこや子育てサロンなど)の充実	151	0.09	0.7%
魅力ある幼児教育環境や特別支援教育の充実	133	0.08	1.1%
子どもと使用しやすい公共交通の充実(料金、車内環境など)	125	0.08	0.7%
地域での子育て支援などのコミュニティの充実	116	0.07	0.8%
その他	23	0.01	0.4%

※参考：子育て世帯（未就学児から高校生以上の学生と同居する世帯）の回答

■問 28 あなたがイメージする「子育てしやすく、住みたいまち」

「1位」の回答を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として市町村別に得点を集計し、各項目で平均点（総数：518）を算出した。

市町村	得点	平均得点 得点÷総数	回答割合 1位	全体	
				平均得点 得点÷総数	回答割合 1位
ひたちなか市	813	1.57	29.7%	1.64	33.1%
つくば市	609	1.18	24.3%	1.10	23.9%
東海村	578	1.12	24.9%	0.77	15.7%
水戸市	537	1.04	9.5%	1.03	10.5%
日立市	186	0.36	4.1%	0.32	3.4%
那珂市	176	0.34	2.7%	0.32	2.1%

■ 問 29 あなたがイメージする「子育てしやすく、住みたいまち」に必要なと思う要素

「1位」の回答を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として要素別に得点を集計し、各項目で平均点（総数：518）を算出した。

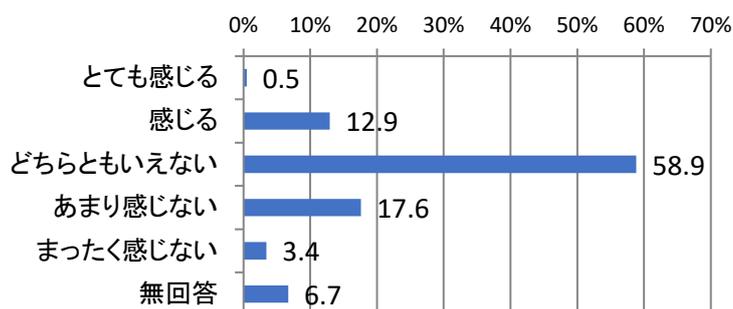
要素	得点	平均得点 得点÷総数	回答割合 1位
所得制限のない18歳までの給付など子どもの医療費助成の充実	503	0.97	22.4%
小児科、休日や夜間の診療などの医療体制の充実	485	0.94	19.9%
保育所や一時保育などの保育サービスの充実	239	0.46	7.3%
子育て中の女性が働きやすい環境の充実	221	0.43	6.9%
保育料や給食費の補助制度の充実	179	0.35	4.8%
妊婦健康診査、育児相談など母子の健康づくりの支援の充実	147	0.28	5.2%
子育て世帯への住宅取得費の支援などの充実	146	0.28	4.1%
公園など遊び場環境の充実	146	0.28	3.3%
特色ある教育プログラムなど義務教育環境（小学校、中学校）	121	0.23	1.4%
首都圏へのアクセス性など通学・通勤の選択肢が充実	121	0.23	2.3%
子育てと仕事の両立や若者への理解など地域の寛容性	111	0.21	2.9%
子どもを連れての買い物など日常で気持ちよく暮らせる環境	104	0.20	3.3%
学力の高い高校や大学などの教育施設の立地	101	0.19	2.7%
子どもへの交通安全対策の充実	69	0.13	1.4%
地域での見守りなどの防犯対策の充実	61	0.12	1.4%
魅力ある幼児教育環境や特別支援教育の充実	46	0.09	1.4%
子育て支援拠点（ふぁみりこや子育てサロンなど）の充実	37	0.07	0.6%
子どもと使用しやすい公共交通の充実（料金、車内環境など）	33	0.06	0.4%
地域での子育て支援などのコミュニティの充実	24	0.05	0.6%
その他	17	0.03	0.8%

- ・子育て世帯の回答では、「子育てしやすく、住みたいまち」として「東海村」の回答が多くなっており、必要な要素として「所得制限のない18歳までの給付など子どもの医療費助成の充実」が最も得点が高くなっている。

問 30 あなたは、ひたちなか市は「教育が充実しているまち」だと感じますか。[1つに〇]

- ・ひたちなか市が「教育が充実しているまち」だと「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は13.4%、「どちらともいえない」が58.9%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は21.0%となっている。
- ・男女別の回答でも全体の回答と同じ傾向となっている。
- ・年齢別の回答では、「とても感じる」、「感じる」の合計が最も多かったのは「18～24歳」で20.0%、「70～74歳」が18.8%で続いており、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計では「45～49歳」が27.4%で最多、「40～44歳」が26.9%で続いている。

総数	1,655	100.0%
とても感じる	8	0.5%
感じる	214	12.9%
どちらともいえない	974	58.9%
あまり感じない	291	17.6%
まったく感じない	57	3.4%
無回答	111	6.7%



【男女別の回答割合（クロス分析）】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	0.5%	12.9%	58.9%	17.6%	3.4%	6.7%
男性	0.3%	13.3%	62.2%	14.9%	3.8%	5.5%
女性	0.7%	12.8%	56.4%	19.4%	3.3%	7.5%

【年齢別の回答割合（クロス分析）】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	0.5%	12.9%	58.9%	17.6%	3.4%	6.7%
18～24歳	2.7%	17.3%	53.6%	15.5%	6.4%	4.5%
25～29歳	1.8%	16.1%	62.5%	14.3%	5.4%	0.0%
30～34歳	0.0%	7.2%	64.9%	17.5%	5.2%	5.2%
35～39歳	1.1%	8.8%	59.3%	24.2%	1.1%	5.5%
40～44歳	0.0%	8.5%	60.0%	21.5%	5.4%	4.6%
45～49歳	0.0%	10.4%	57.3%	21.3%	6.1%	4.9%
50～54歳	0.0%	16.8%	60.1%	18.2%	3.5%	1.4%
55～59歳	0.0%	9.9%	63.4%	18.3%	3.8%	4.6%
60～64歳	0.0%	9.0%	64.8%	18.6%	4.1%	3.4%
65～69歳	0.7%	11.9%	67.4%	12.6%	3.0%	4.4%
70～74歳	0.7%	18.1%	51.7%	18.1%	1.3%	10.1%
75歳以上	0.4%	17.0%	52.7%	13.4%	0.7%	15.9%

問 31 あなたがイメージする「教育が充実しており、住みたいまち」の順番に○をつけてください。
[1つに○]

- ・「教育が充実しているまち」の1位では「つくば市」が48.2%で最も選択されており、「水戸市」が20.5%で続いている。
- ・各順位の回答の合計得点でも「つくば市」が最も多く2,887点、「水戸市」が2,540点、「ひたちなか市」が1,606点で続いている。
- ・年代別の回答では、全ての年代で「つくば市」を1位と回答する割合が多くなっており、「30～34歳」が最も「ひたちなか市」の回答割合が低かった。

「1位」の回答を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として市町村別に得点を集計し、各項目で平均点（総数：1655）を算出した。

市町村	得点	平均得点 得点÷総数	回答割合
			1位
つくば市	2,887	1.74	48.2%
水戸市	2,540	1.53	20.5%
ひたちなか市	1,606	0.97	10.9%
日立市	606	0.37	1.6%
東海村	605	0.37	5.3%
那珂市	212	0.13	0.7%

【年齢別の1位の市町村の回答割合（クロス分析）】

%	ひたちなか市	水戸市	那珂市	東海村	日立市	つくば市
総数	10.9%	20.5%	0.7%	5.3%	1.6%	48.2%
18～24歳	10.0%	27.3%	0.9%	4.5%	0.9%	51.8%
25～29歳	17.9%	19.6%	1.8%	3.6%	3.6%	41.1%
30～34歳	3.1%	20.6%	0.0%	11.3%	1.0%	55.7%
35～39歳	7.7%	23.1%	1.1%	8.8%	1.1%	46.2%
40～44歳	6.9%	23.1%	0.0%	6.9%	1.5%	54.6%
45～49歳	6.1%	23.8%	0.6%	5.5%	1.2%	53.7%
50～54歳	8.4%	20.3%	0.0%	7.7%	2.8%	56.6%
55～59歳	12.2%	17.6%	1.5%	3.1%	0.8%	58.8%
60～64歳	6.9%	19.3%	0.0%	4.1%	2.8%	56.6%
65～69歳	12.6%	20.0%	0.7%	3.7%	1.5%	48.1%
70～74歳	17.4%	18.1%	0.7%	3.4%	2.7%	40.9%
75歳以上	16.6%	18.4%	1.1%	4.2%	1.1%	30.0%

 各年代での最多回答

問 32 あなたがイメージする「教育が充実しており、住みたいまち」に必要なと思う要素を3つ選び、順番に○をつけてください。[1つに○]

- 「教育が充実しており、住みたいまち」に必要な要素の1位では「教育施設の設備の充実（デジタル教材や運動設備の充実）」が13.9%で最も選択されており、「地域で子どもを育てる意識が強い（多世代交流，社会教育など）」が12.7%で続いている。
- 各順位の回答の合計得点でも「教育施設の設備の充実（デジタル教材や運動設備の充実）」が最も多く1,331点、「地域で子どもを育てる意識が強い（多世代交流，社会教育など）」が1,068点、「幼少期からの教育プログラムなどの機会の充実」が1,015点で続いている。

「1位」の回答を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として要素別に得点を集計し、各項目で平均点（総数：1655）を算出した。

要素	得点	平均得点 得点÷総数	回答割合
			1位
教育施設の設備の充実(デジタル教材や運動設備の充実)	1,331	0.80	13.9%
地域で子どもを育てる意識が強い(多世代交流, 社会教育など)	1,068	0.65	12.7%
幼少期からの教育プログラムなどの機会の充実	1,015	0.61	11.8%
多様性の理解・尊重を促す教育の充実(共生社会, LGBT, 外国人)	917	0.55	8.5%
社会教育施設の充実(図書館, 美術館等)	709	0.43	5.0%
中高一貫教育など特色ある学校の立地	674	0.41	7.3%
全年代への教育プログラムの充実(生涯学習, スポーツなど)	674	0.41	4.6%
学校の偏差値が高く, 進学に有利	585	0.35	7.2%
学校や家庭, 地域が一体となった教育の実施	554	0.33	5.6%
小中一貫の義務教育学校の立地	439	0.27	5.3%
民間の学習塾やクラブチームなど学びや体験の機会の充実	326	0.20	1.9%
その他	48	0.03	0.7%

※参考：子育て世帯（未就学児から高校生以上の学生と同居する世帯）の回答

■問31 あなたがイメージする「教育が充実しており、住みたいまち」

「1位」の回答を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として市町村別に得点を集計し、各項目で平均点（総数：518）を算出した。

市町村	得点	平均得点 得点÷総数	回答割合 1位	全体	
				平均得点 得点÷総数	回答割合 1位
つくば市	988	1.91	51.7%	1.74	48.2%
水戸市	835	1.61	21.2%	1.53	20.5%
ひたちなか市	467	0.90	8.9%	0.97	10.9%
東海村	235	0.45	7.3%	0.37	5.3%
日立市	188	0.36	2.1%	0.37	1.6%
那珂市	71	0.14	0.6%	0.13	0.7%

■問32 あなたがイメージする「教育が充実しており、住みたいまち」に必要なと思う要素

「1位」の回答を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として要素別に得点を集計し、各項目で平均点（総数：518）を算出した。

要素	得点	平均得点 得点÷総数	回答割合 1位
教育施設の設備の充実(デジタル教材や運動設備の充実)	512	0.99	18.5%
幼少期からの教育プログラムなどの機会の充実	354	0.68	13.7%
地域で子どもを育てる意識が強い(多世代交流, 社会教育など)	322	0.62	10.8%
多様性の理解・尊重を促す教育の充実(共生社会, LGBT, 外国人)	313	0.60	8.7%
学校の偏差値が高く, 進学に有利	269	0.52	11.4%
社会教育施設の充実(図書館, 美術館等)	231	0.45	5.2%
中高一貫教育など特色ある学校の立地	218	0.42	6.8%
全年代への教育プログラムの充実(生涯学習, スポーツなど)	189	0.36	3.5%
学校や家庭, 地域が一体となった教育の実施	158	0.31	5.0%
民間の学習塾やクラブチームなど学びや体験の機会の充実	149	0.29	2.9%
小中一貫の義務教育学校の立地	139	0.27	5.4%
その他	21	0.04	1.2%

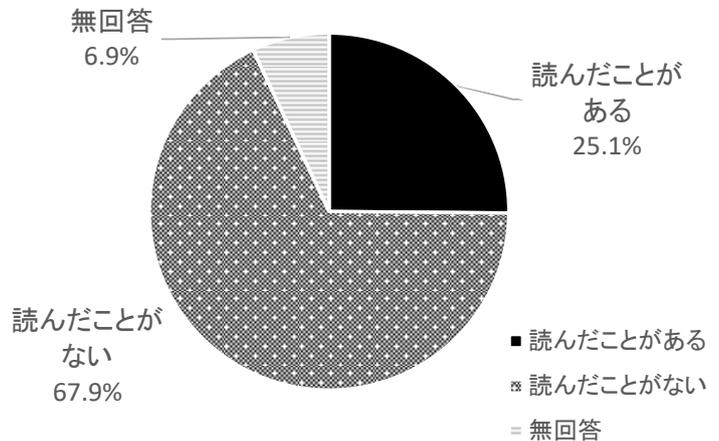
・子育て世帯の回答では、全体の回答とほぼ同じ傾向の回答結果となっており、「教育が充実しており、住みたいまち」として「つくば市」、必要な要素として「教育施設の設備の充実（デジタル教材や運動設備の充実）」が最も得点が多くなっている。

(7) 図書館の充実等について

問 33 電子書籍について、これまでに実際に読んだことがありますか。[1つに〇]

・「読んだことがある」が25.1%、「読んだことがない」が67.9%となっている。

総数	1,655	100.0%
読んだことがある	416	25.1%
読んだことがない	1,124	67.9%
無回答	115	6.9%

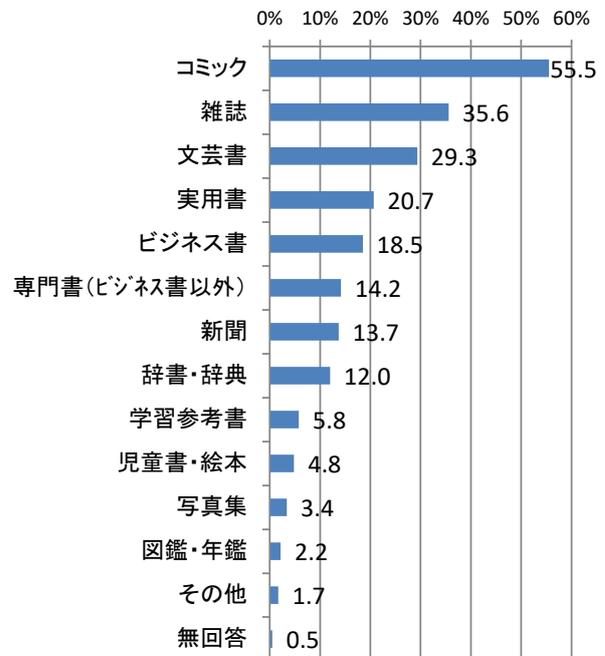


問 33 で「1. 読んだことがある」と回答した方【総数 416】への設問

問 33-1 今までにどのようなジャンルの電子書籍を読みましたか。[3つまでに〇]

・「コミック」が最も多く55.5%、「雑誌」が35.6%、「文芸書」が29.3%で続いている。

総数	416	100.0%
コミック	231	55.5%
雑誌	148	35.6%
文芸書	122	29.3%
実用書	86	20.7%
ビジネス書	77	18.5%
専門書(ビジネス書以外)	59	14.2%
新聞	57	13.7%
辞書・辞典	50	12.0%
学習参考書	24	5.8%
児童書・絵本	20	4.8%
写真集	14	3.4%
図鑑・年鑑	9	2.2%
その他	7	1.7%
無回答	2	0.5%

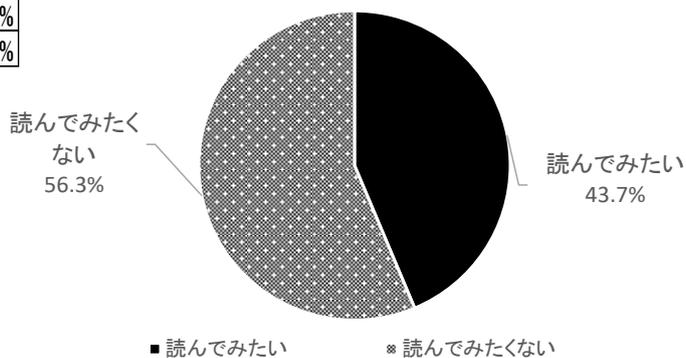


問 33 で「2. 読んだことがない」と回答した方【総数 1,124】への設問

問 33-2 今後、電子書籍を読みたいと思いますか。[1つに〇]

・「読みたい」は 42.8%、「読みたくない」が 55.2%となっている。

総数	1,124	100.0%
読みたい	481	42.8%
読みたくない	620	55.2%
無回答	23	2.0%



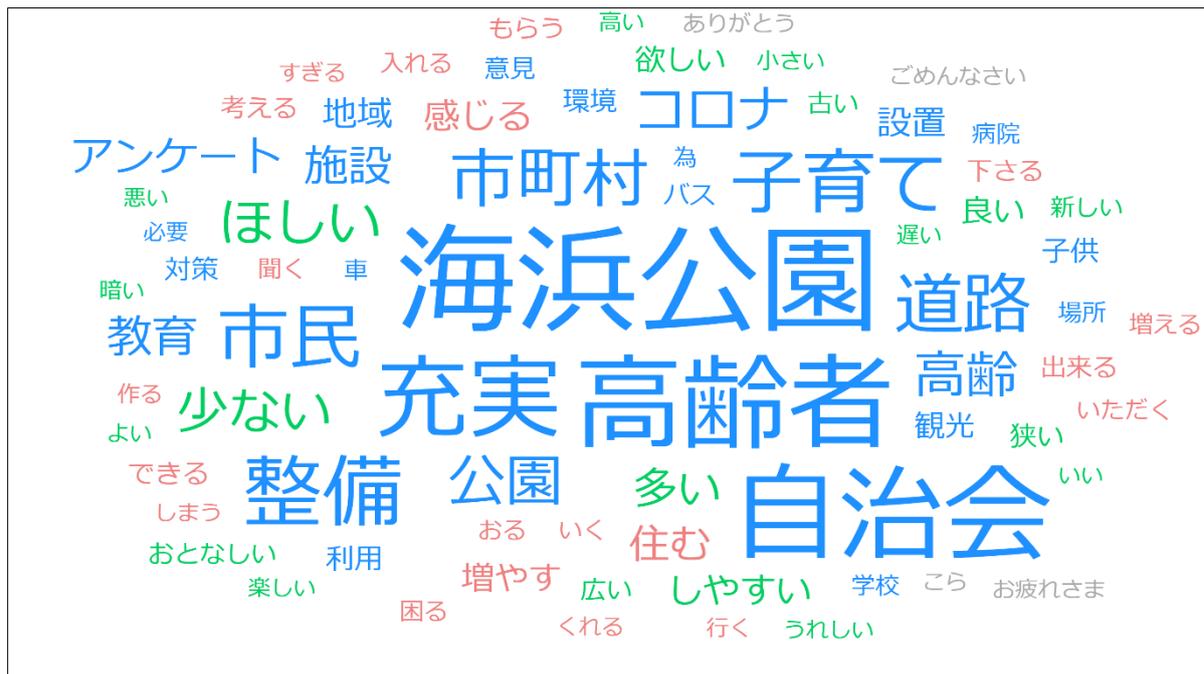
問 34 今後のひたちなか市のまちづくりに関するご意見やアイデアなどありましたら、自由にご記入ください。

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール（ <https://textmining.userlocal.jp/> ）により分析

■ワードクラウド*1

・「海浜公園」、「高齢者」、「自治会」、「子育て」、「コロナ」等の単語が特徴的に表れている。



■単語出現度

- ・「充実」、「子育て」等の単語が最も多く出現している。
- ・その他に、「高齢者」や「アンケート」、「教育」等の単語が多く出現している。

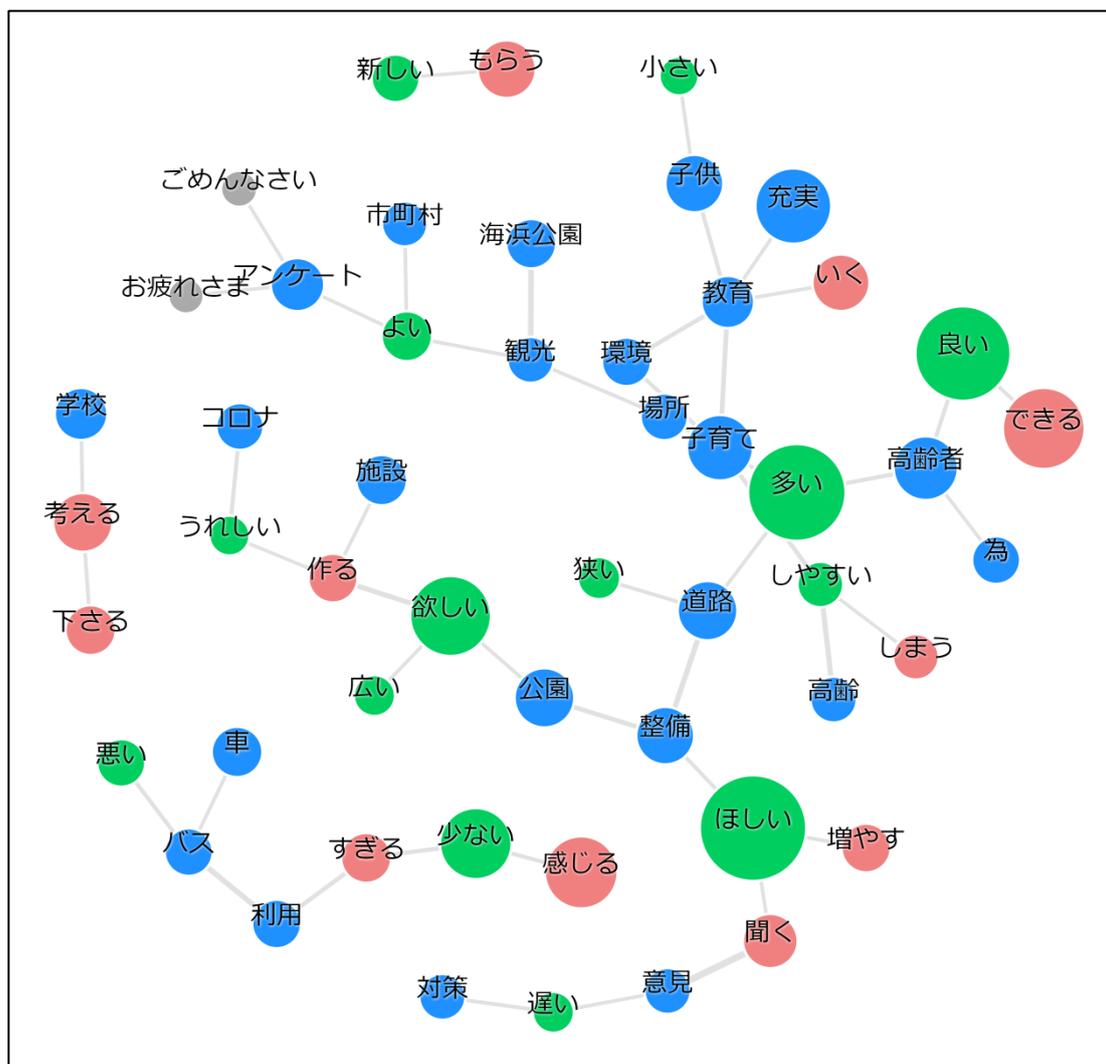
（一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語（※多い、ほしい、良い等）

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
充実	名詞	46	整備	名詞	26
子育て	名詞	35	子供	名詞	26
高齢者	名詞	33	市民	名詞	23
道路	名詞	28	アンケート	名詞	21
公園	名詞	28	教育	名詞	20

※1 ワードクラウド…出現が特徴的な単語を数値化し、その値に応じた大きさと色で図示。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。

■出現パターン※2

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「ほしい」は「聞く」や「増やす」、「道路」、「公園」との関連が多い。
- また、「子育て」は「教育」や「環境」、「充実」と、「海浜公園」は「観光」等と関連して出現している傾向がある。



■自由記述の分析 結果まとめ

○子育て環境の充実や子どもの遊び場や図書館の充実など、施設の整備に関する要望が多くなっている。その他に高齢者の増加に対する対策や、市民の意見をよく聞き、課題の対策へのスピーディーな対応等を求める意見がみられた。

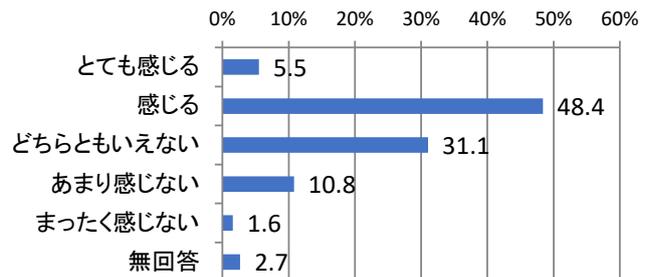
※2 出現パターン…文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図。出現数が多い語ほど大きく、また共に出現する程度が強いほど太い線で図示している。

(7) 緑の基本計画策定のためのアンケート（一部抜粋）

問 35 あなたは、ひたちなか市内の花や緑が充実していると感じますか。〔1つに〇〕

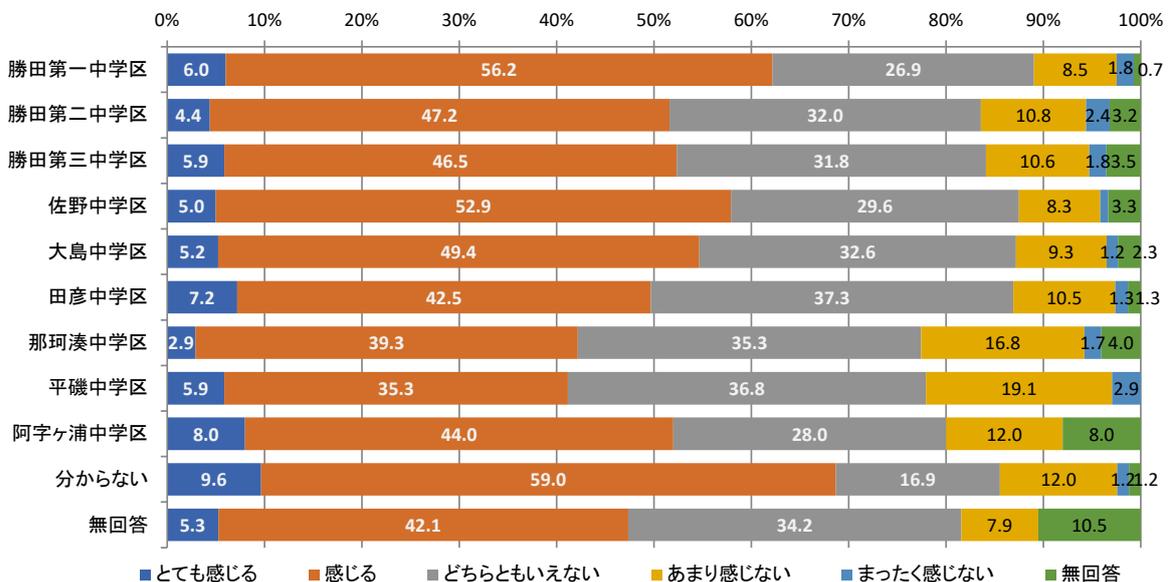
- ひたちなか市内の花や緑が充実しているかについて、「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は全体の53.9%となっており、「どちらともいえない」が31.1%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は12.4%となっている。
- 地区別の回答では、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は「平磯中学校区」が22.0%で最も高く、「那珂湊中学校区」が18.5%で続いている。

総数	1,655	100.0%
とても感じる	91	5.5%
感じる	801	48.4%
どちらともいえない	514	31.1%
あまり感じない	179	10.8%
まったく感じない	26	1.6%
無回答	44	2.7%



【地区別の回答割合（クロス分析）】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	5.5%	48.4%	31.1%	10.8%	1.6%	2.7%
勝田第一中学区	6.0%	56.2%	26.9%	8.5%	1.8%	0.7%
勝田第二中学区	4.4%	47.2%	32.0%	10.8%	2.4%	3.2%
勝田第三中学区	5.9%	46.5%	31.8%	10.6%	1.8%	3.5%
佐野中学区	5.0%	52.9%	29.6%	8.3%	0.8%	3.3%
大島中学区	5.2%	49.4%	32.6%	9.3%	1.2%	2.3%
田彦中学区	7.2%	42.5%	37.3%	10.5%	1.3%	1.3%
那珂湊中学区	2.9%	39.3%	35.3%	16.8%	1.7%	4.0%
平磯中学区	5.9%	35.3%	36.8%	19.1%	2.9%	0.0%
阿字ヶ浦中学区	8.0%	44.0%	28.0%	12.0%	0.0%	8.0%
分からない	9.6%	59.0%	16.9%	12.0%	1.2%	1.2%
無回答	5.3%	42.1%	34.2%	7.9%	0.0%	10.5%



IV 参考資料

1. まちづくり達成度等に関するアンケート調査票

まちづくり達成度等に関するアンケート

“まちづくり”は、どのくらい進展しているのか！まちづくりに活用します。

この調査は、行政評価※の一環として、業務上では把握することが難しい指標をアンケートによって取得し、その結果をまちづくりに活用するため、令和2年9月1日現在で、18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為に選んだ3,000名の方々にお願いしております。

また、あわせて、ひたちなか市の緑地や公園等の整備に関する基本方針となる「緑の基本計画」の策定に向けて、皆さまからのご意見やご提案をお聞きするものです。

市の更なる発展のために活かしてまいりますので、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年10月

ひたちなか市長 大谷 明

※ 行政評価とは、総合計画の施策が、目標に対し、どの程度達成できたのかを数値化し、その結果を“まちづくり”に反映させるためのツール（手段）です。

●調査票のご記入にあたって

- ・封書の宛名のご本人がお答えください。
(令和2年9月1日以降に市外へ転出された方につきましては、ご回答いただく必要はございません。令和2年9月1日現在の情報をもとに送付しておりますのでご容赦ください。)
- ・設問ごとの説明にしたがって、当てはまる番号に○印をつけてください。
- ・「その他」を選択された場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封いたしました返信用封筒に入れて、

令和2年10月19日(月) までに

郵便ポストに投函してください。

(返信用封筒には、切手を貼ったり、差出人の名前を書く必要はありません。)

- ・本調査によって、個人が特定されることや、ご回答の内容が皆さまの不利益となるようなことはございません。
- ・ご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

ひたちなか市企画部企画調整課(担当:齊藤, 鈴木)

電話 029-273-0111 内線1313

Eメールアドレス kikaku@city.hitachinaka.lg.jp

1 あなた自身についておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください。[1つに○]

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。[1つに○]

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |

問3 あなたは現在、就労していますか。[1つに○]

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1. 就労している（育休中・産休中等を含む） | →問3-1へ |
| 2. 就労していない（在学中，専業主婦・主夫を含む） | →問3-2へ |

問3-1は、問3で「1. 就労している」と回答した方におたずねします

問3-1 あなたのお仕事について、業種、職種、就業形態をお答えください。[1つに○]

(1) 業種	1. 農業・漁業	2. 建設業	3. 製造業
	4. 情報通信業	5. 運輸業	6. 卸売業，小売業
	7. 金融業，保険業	8. 不動産業，物品賃貸業	9. 学術研究，専門・技術サービス
	10. 宿泊業，飲食サービス業	11. 生活関連サービス業，娯楽業	12. 教育，学習支援業
	13. 医療，福祉	14. 公務	
	15. その他（ ）		
(2) 職種	1. 管理的職業	2. 専門的職業	
	3. 技術的職業	4. 事務的職業	
	5. 営業・販売の職業	6. サービスの職業	
	7. 保安の職業	8. 農・漁業の職業	
	9. 生産工程の職業	10. 輸送・機械運転の職業	
	11. 建設等の職業	12. 運搬・清掃・包装等の職業	
	13. その他（ ）		
(3) 就業 形態	1. 正規の職員・従業員	2. 契約社員	
	3. 労働者派遣事業所の派遣社員	4. パート・アルバイト	
	5. 自営業（経営者）	6. 内職	
	7. その他（ ）		

問3-2は、問3で「2. 就労していない」と回答した方におたずねします

問3-2 あなたが就労していない理由をお答えください。[3つまでに○]

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 在学中 | 2. 求職中 |
| 3. 希望の職種，待遇の仕事が見つからない | 4. 希望の時間帯に働ける仕事が見つからない |
| 5. 出産予定 | 6. 子育てで忙しい |
| 7. 看護・介護で忙しい | 8. 自身の健康上の問題 |
| 9. 家庭生活との両立が難しい | 10. パートナーの理解や協力が得られない |
| 11. 家族の理解や協力が得られない | 12. パートナーの転勤が多いため |
| 13. 経済的に困っていない | 14. 主婦・主夫業に専念したい |
| 15. その他（ ） | |

問 11 あなたは、ひたちなか市への定住についてどのように感じていますか。〔1つに○〕

1. ずっと今の場所に住み続けたい	2. できるだけ今の場所に住み続けたい
3. 市内の別の場所に移りたい	4. ほかの市町村に移りたい
5. その他〔具体的に	〕

問 12 あなたは、生きがいを持って暮らしていると感じますか。〔1つに○〕

1. とても感じる	2. 感じる	3. どちらともいえない
4. あまり感じない	5. まったく感じない	

問 13 現在の、本市のまちづくりに関する取組に対する「満足度」と、今後の5年間（令和3年度から令和7年度まで）の取組に対する「充実希望度」について、各項目別に当てはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

項目	現在の満足度					これからの充実希望度				
	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	特に優先して充実すべき	充実すべき	現状程度でよい	それほど力を入れなくてよい	優先順位を下げるべき
【回答例】 〇〇〇について	5	④	3	2	1	5	4	3	②	1
1 防災対策(防災力の強化・防災基盤の整備)について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 河川, 雨水幹線の整備(冠水被害対策)について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 消防・救急体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 防犯対策について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 交通安全対策について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 企業誘致と雇用の創出について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 産業の活性化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 商業振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 農業振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 水産業振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 観光振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 地域福祉(近所での見守り活動等による地域での助け合い等)について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 高齢者支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 障害者支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	現在の満足度					これからの充実希望度					
	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	特に優先して充実すべき	充実すべき	現状程度でよい	それほど力を入れなくてよい	優先順位を下げるべき	
15	保健医療体制や各種予防対策について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16	生活困窮者支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17	子育て支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18	教育環境について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19	青少年の健全育成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20	生涯学習環境 (図書館, コミュニティセンター等)について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21	スポーツ振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22	芸術・文化振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23	良好な居住環境の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24	道路の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25	安全安心な水の安定供給について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26	下水道の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27	公園・緑地の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28	環境保全対策について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30	公共交通機関(バスや鉄道等)について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32	市の魅力発信による交流の促進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33	男女共同参画の推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34	市政情報の発信について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35	市民意見の市政への反映について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36	効率的な市役所の運営について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

上記のほかに、取り組むべき事項等があればご記入ください。

3 地域活動・住民参加について

問 14 あなたは、社会活動（地域コミュニティや自治会、子ども会などの地域活動、奉仕活動など）にどの程度参加していますか。[1つに○]

1. 積極的に参加している
2. つき合いで参加している
3. 過去に参加したことがあり、また参加したい
4. これまで参加したことはないが、ぜひ参加したい
5. これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい
6. 参加したいが、時間や身体上の制約等があり、参加することが難しい
7. 過去に参加したことがあるが、もう参加したくない
8. これまでに参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない

問 15 ひたちなか市では、平成22年4月に「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」を制定し、市民、議会、行政がお互いに連携協力するまちづくりを進めています。地域づくりにおいて、地域の市民が主体となって活動が行われていると感じるのはどのような分野だと思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 青少年健全育成活動 | 2. 子育て支援活動 |
| 3. 交通安全活動 | 4. 防災活動 |
| 5. 防犯活動 | 6. 高齢者・障害者の支援活動 |
| 7. ごみの減量・リサイクル活動 | 8. 文化・芸術活動 |
| 9. スポーツ・レクリエーション活動 | 10. 自然保護や環境保全活動 |
| 11. 歴史・遺産の保存・継承活動 | 12. 国際交流活動 |
| 13. 男女共同参画社会の推進 | |
| 14. その他 | |

[具体的に：

]

問 16 あなたは、「まちづくり市民会議」を知っていますか。[1つに○]

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問 22 あなたは、ひたちなか市の行政（市役所）について信頼していますか。[1つに○]

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても信頼している | 2. 信頼している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり信頼していない | 5. まったく信頼していない | |

問 23 あなたは、どれくらい運動をしていますか。[1つに○]

- | | | |
|---------------|------------|---------------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1～2回 | 3. 1か月に1～3回程度 |
| 4. 3か月に1～2回程度 | 5. ほとんどしない | |

問 24 あなたは、週にどの程度、自宅で魚介類を食べる機会がありますか。[1つに○]

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. 週に5～6回 | 3. 週に3～4回 |
| 4. 週に1～2回 | 5. ほとんど食べない | |

問 25 あなたは、「地域包括支援センター（おとしより相談センター）」を知っていますか。
[1つに○]

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問 26 あなたは、「ひたちなか市長」を知っていますか。[1つに○]

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 顔や名前・政策等を知っている | 2. 顔と名前が一致する |
| 3. 顔または名前を知っている | 4. 知らない |

6 ひたちなか市の子育て・教育環境等のイメージについて

問 27 あなたは、ひたちなか市は「子育てしやすいまち」だと感じますか。[1つに○]

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. とても感じる | 2. 感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない | 5. まったく感じない | |

問 28 あなたがイメージする「子育てしやすく、住みたいまち」の順番に○をつけてください。[1つに○]

市町村	1位のまち	2位のまち	3位のまち
【回答例】〇〇市		○	
△△市	○		
□□市			○
ひたちなか市			
水戸市			
那珂市			
東海村			
日立市			
つくば市			

問 29 あなたがイメージする「子育てしやすく、住みたいまち」に必要なと思う要素を3つ選び、順番に○をつけてください。[1つに○]

要素	1 位	2 位	3 位
【回答例】○○の充実			○
△△の充実		○	
□□の充実	○		
1. 妊婦健康診査, 育児相談など母子の健康づくりの支援の充実			
2. 小児科, 休日や夜間の診療などの医療体制の充実			
3. 保育所や一時保育などの保育サービスの充実			
4. 子育て支援拠点(ふぁみりこや子育てサロンなど)の充実			
5. 魅力ある幼児教育環境や特別支援教育の充実			
6. 特色ある教育プログラムなど義務教育環境(小学校, 中学校)			
7. 学力の高い高校や大学などの教育施設の立地			
8. 所得制限のない18歳までの給付など子どもの医療費助成の充実			
9. 保育料や給食費の補助制度の充実			
10. 子育て世帯への住宅取得費の支援などの充実			
11. 子どもと使用しやすい公共交通の充実(料金, 車内環境など)			
12. 子どもを連れての買い物など日常で気持ちよく暮らせる環境			
13. 公園など遊び場環境の充実			
14. 首都圏へのアクセス性など通学・通勤の選択肢が充実			
15. 子育て中の女性が働きやすい環境の充実			
16. 子どもへの交通安全対策の充実			
17. 地域での見守りなどの防犯対策の充実			
18. 地域での子育て支援などのコミュニティの充実			
19. 子育てと仕事の両立や若者への理解など地域の寛容性			
20. その他 ()			

問 30 あなたは、ひたちなか市は「教育が充実しているまち」だと感じますか。[1つに○]

1. とても感じる	2. 感じる	3. どちらともいえない
4. あまり感じない	5. まったく感じない	

問 31 あなたがイメージする「教育が充実しており、住みたいまち」の順番に○をつけてください。
[1つに○]

市町村	1位のまち	2位のまち	3位のまち
【回答例】〇〇市	○		
△△市			○
□□市		○	
ひたちなか市			
水戸市			
那珂市			
東海村			
日立市			
つくば市			

問 32 あなたがイメージする「教育が充実しており、住みたいまち」に必要なと思う要素を3つ選び、順番に○をつけてください。[1つに○]

要素	1位	2位	3位
【回答例】〇〇の充実			○
△△の充実	○		
□□の充実		○	
1. 幼少期からの教育プログラムなどの機会の充実			
2. 地域で子どもを育てる意識が強い(多世代交流, 社会教育など)			
3. 小中一貫の義務教育学校の立地			
4. 中高一貫教育など特色ある学校の立地			
5. 学校の偏差値が高く, 進学に有利			
6. 多様性の理解・尊重を促す教育の充実(共生社会, LGBT, 外国人)			
7. 教育施設の設備の充実(デジタル教材や運動設備の充実)			
8. 全年代への教育プログラムの充実(生涯学習, スポーツなど)			
9. 学校や家庭, 地域が一体となった教育の実施			
10. 社会教育施設の充実(図書館, 美術館等)			
11. 民間の学習塾やクラブチームなど学びや体験の機会の充実			
12. その他 ()			

緑の基本計画策定のためのアンケート

(令和4年度からを計画期間とする「緑の基本計画」に関するアンケートです)

問 35 あなたは、ひたちなか市内の花や緑が充実していると感じますか。[1つに○]

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. とても感じる | 2. 感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない | 5. まったく感じない | |

問 36 あなたは、市全体の緑の量について、どう思いますか。[1つに○]

- | | | |
|----------|-----------------------|--------------|
| 1. 多くて良い | 2. 多すぎて良くない →問 36-1 へ | |
| 3. 普通 | 4. 少なくて良い →問 36-2 へ | 5. 少なすぎて良くない |

問 36-1 は、問 36 で「2. 多すぎて良くない」と回答した方におたずねします

問 36-1 どのような緑が多すぎると思いますか。[3つまでに○]

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 1. 公園の緑 | 2. 街路樹など道路の緑 | 3. 川や海沿いなど水辺の緑 |
| 4. 庭木や生垣など宅地の緑 | 5. 田畑の緑 | 6. 工場や企業地の緑 |
| 7. 神社仏閣の緑 | 8. 学校など公共公益施設の緑 | 9. 空き地の緑 |
| 10. その他 () | | |

問 36-2 は、問 36 で「4. 少なくて良い」と回答した方におたずねします

問 36-2 緑が少ない方がよいと思う1番大きな理由は何ですか。[1つに○]

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 落ち葉や害虫の発生があるから | 2. 管理に手間がかかるから |
| 3. あってもなくても変わらないから | |
| 4. その他 () | |

問 37 市の緑のうち、印象的な緑は何ですか。[3つまでに○]

- | | | |
|----------------|----------------|-----------------|
| 1. 国営ひたち海浜公園の緑 | 2. 市営公園の緑 | 3. 街路樹など道路の緑 |
| 4. 川や海沿いなど水辺の緑 | 5. 庭木や生垣など宅地の緑 | 6. 田畑の緑 |
| 7. 工場や企業地の緑 | 8. 神社仏閣の緑 | 9. 学校など公共公益施設の緑 |
| 10. その他 () | | |

問 38 市の緑のうち、特に守り育てる必要があるのはどのような緑だと思いますか。[3つまでに○]

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 1. 公園の緑 | 2. 街路樹など道路の緑 | 3. 川や海沿いなど水辺の緑 |
| 4. 庭木や生垣など宅地の緑 | 5. 田畑の緑 | 6. 工場や企業地の緑 |
| 7. 神社仏閣の緑 | 8. 学校など公共公益施設の緑 | |
| 9. その他 () | | |

問 39 あなたは、市内で緑に関する活動をしていますか。[1つに○]

1. している →問 39-1 へ 2. していない

問 39-1 は、問 39 で「1. している」と回答した方におたずねします

問 39-1 どのような活動をしていますか。[3つまでに○]

1. 公園や緑地の除草・清掃活動 2. 花壇や道路樹への植栽や緑の世話
3. 自宅での樹木や草花, 生垣の植栽
4. その他 ()

問 40 市では一定の要件を満たす生垣の植栽に対する助成制度があります。あなたは、この助成制度を知っていますか。[1つに○]

1. 知っている 2. 知らない

問 41 あなたは緑のまちづくり基金（公共施設やコミュニティセンターに募金箱設置）について知っていますか。[1つに○]

1. 知っている 2. 知らない

問 42 あなたは市内の公園を利用しますか。[1つに○]

1. よく利用する →問 42-1 へ 2. あまり利用しない →問 42-2 へ

問 42-1 は、問 42 で「1. よく利用する」と回答した方におたずねします

問 42-1 公園では主にどのようなことをしていますか。[3つまでに○]

1. 散歩や休息 2. 子どもと遊ぶ 3. ジョギング 4. グラウンドゴルフ
5. 施設利用のスポーツ（球技など） 6. 植物や昆虫などの観察
7. 文化活動（絵, 写真, 歌など） 8. 地域のイベント
9. その他 ()

問 42-2 は、問 42 で「2. あまり利用しない」と回答した方におたずねします

問 42-2 市内の公園を利用しない1番大きな理由は何ですか。[1つに○]

1. 近くに公園がないから 2. 魅力のある公園がないから
3. 公園でやりたいことがないから 4. 防犯上の不安があるから
5. その他 ()

問 43 ひたちなか市内には県内自治体第1位である約300の公園があり、そのうち約半数が500㎡以下の小規模公園です。この公園の数をどう思いますか。[1つに○]

1. もっと公園の数が必要 2. 今のままで十分 3. 統廃合を図り面積を大きくすべき

問 44 市内の公園について不満に思うところはどこですか。[3つまでに○]

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 規模が小さくて利用しづらい | 2. 樹木や雑草が適切に管理されていない |
| 3. 遊具等の設備が老朽化している | 4. 子ども向けの面白い遊具がない・少ない |
| 5. 高齢者向けの健康遊具がない・少ない | 6. 段差が多く移動しづらい |
| 7. 防犯上の問題がある（見通しが悪い，薄暗いなど） | 8. ごみが散乱している |
| 9. 犬のフン害が目立つ | 10. 球技ができない |
| 11. 車でいきたいのに駐車場がない・少ない | |
| 12. 子どもの保護者の休憩スペースがない・少ない | |
| 13. その他（ | ） |
| 14. 特にない | |

問 45 『子育てのしやすいまち』に必要な公園はどのような公園だと思いますか。[自由記述]

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、**10月19日（月）**までに
同封の返信用封筒に入れて，切手を貼らずにご投函ください。

お忙しいところご協力いただき，ありがとうございました。

ひたちなか市のまちづくりに関する情報はこちらから!!



<LINE>



<Twitter>



<Instagram>